

令和 7 (2025) 年度

大妻女子大学人間関係学部

人間関係学科

人間福祉学科

F D 活動報告書



大妻女子大学人間関係学部 F D 委員会

令和 7(2025)年度

大妻女子大学人間関係学部

人間関係学科

人間福祉学科

F D 活動報告書



大妻女子大学人間関係学部F D委員会

令和 7 年度 FD 活動報告書の刊行にあたり

本学部では、教育の質を高めるため、教職員が一致団結して取り組む FD (Faculty Development、ファカルティ・ディベロップメント) 活動を重要な柱として位置づけています。令和 7 年度においても、教育環境の向上と学生との深い相互作用を促進するため、さまざまな取り組みを展開しました。本年度の FD 活動報告書は、これらの活動の成果を集約し、次なる展開への指針を示す貴重な資料となっています。

今年度は、ポストコロナ期における教育実践が一層定着し、新たな時代に対応した教育技術の工夫や環境整備が着実に進められた一年となりました。授業は引き続き対面形式を基本としながら、学生との対話型授業を推進するとともに、生成 AI (Artificial Intelligence、人工知能) の進化に伴うデジタルツールの適正な活用についても検討を深め、新たな学びの形を具体化する取り組みが進み、卒業論文などの質の向上がみられました。これにより、学生が主体的に学び、教員と学生が共に成長できる教育空間の形成を目指しています。

さらに、人間関係学部は令和 8 年度より人間共生学部へと新たに生まれ変わりますが、既存の学生が人間関係学部生として卒業していくことを考慮し、モチベーションを低下させないための工夫も引き続き求められています。その一環として、学生参加型の授業設計を一層推進し、講義形式にとどまらず、ディスカッションやグループワーク、問題解決型の課題を活用することで、学びへの興味と主体性を引き出しています。また、学んだ内容が現実社会でどのように活用されるかを具体的に示すことで、学びの成果を実感できる仕組みの充実にも努めました。さらに、実践的なプロジェクトや体験型学習を通じて、学生自身が成長や成果を確認する機会を提供し、成果発表や成功体験を共有する場を設けることで、前向きな学びの環境づくりを進めています。こうした取り組みを人間関係学部の全教員が主体的に実施することが、何より重要であると考えています。

本年度の活動をまとめた本報告書が、本学部の教育活動のさらなる質向上への足がかりとなり、未来の教育の在り方を検討するための貴重な指針となることを願っております。この活動を支え、導いてくださったすべての関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

人間関係学部長
齊藤 豊

令和7（2025）年度 FD 活動報告書 目次および執筆担当

令和7（2025）年度 FD 活動報告書の刊行にあたり （学部長）

| | | |
|--------|---|----|
| I | 令和7（2025）年度の FD 活動 （学部 FD 委員長 代行人間福祉学科長） | 1 |
| II-1 | 授業に関するアンケート （社会学専攻 FD 委員） | 3 |
| II-2 | 授業アンケートへの対応 （人間福祉学科 FD 委員） | 7 |
| II-2-1 | 前期：授業改善アンケートへの教員の主な回答 | |
| II-2-2 | 後期：授業改善アンケートへの教員の主な回答 | |
| III | 学科・専攻における FD 活動 | 9 |
| 1 | 人間関係学科 | 9 |
| (1) | 社会学専攻 （社会学専攻 FD 委員） | 9 |
| (2) | 社会・臨床心理学専攻 （社会・臨床心理学専攻 FD 委員 代行人間関係学科長） | 10 |
| 2 | 人間福祉学科 （人間福祉学科 FD 委員） | 12 |
| IV | 保護者懇談会 （人間関係学科長・人間福祉学科長） | 14 |
| V | オフィスアワー （人間福祉学科長） | 20 |
| VI | クラス指導 （人間関係学科長） | 22 |
| VII | 人間関係学部 FD 研修会 （人間福祉学科 FD 委員） | 23 |
| VIII | 学友会代表と FD 委員会・教職員との懇談会 （学部 FD 委員長 代行人間福祉学科長） | 27 |
| IX | 非常勤講師との教育懇談会 （人間関係学科長・人間福祉学科長） | 29 |
| X | 人間関係学部における FD 活動の課題 （学部 FD 委員長 代行人間福祉学科長） | 34 |
| | 【資料編】 | |
| 01 | 【オフィスアワー・クラス指導・教員個々の FD 活動：人間関係学部専任】 | 35 |
| 02 | 【授業改善アンケート集計結果に対する授業担当者の対応】 前期 | 43 |
| 03 | 【授業改善アンケート集計結果に対する授業担当者の対応】 後期 | 49 |
| 04 | 【授業改善アンケート・カテゴリ別集計結果】 前期・後期 | 53 |

I 令和7(2025)年度人間関係学部のFD活動について

令和7年度は、全ての科目において対面授業に戻った。下記のFD活動の取り組みを行った。

1) 授業に関するアンケート

令和7年度においても、前期・後期の年2回、学生による授業改善アンケートを実施した。

2) 各学科・専攻におけるFD活動の内容の共有

教育方法に関する配慮・工夫に関しては、基本的にそれぞれの学科・専攻の専門的な判断にゆだねられるべき領域であるが、同時にある教員・ある専攻が行っている取り組みが、専門性の垣根を超えた普遍性を持つ場合もあり、参考にすべきノウハウについては、人間関係学部主催の研修会をはじめ、学内での様々な機会を利用して全教員が共有できるようにしている。今後の教育内容の向上につなげることを期待している。

3) オフィスアワーの実施

学生が事前の予約なしに気軽に教員の研究室を訪ねることができる時間帯という趣旨で、本学部では全ての専任教員がオフィスアワーを設定し、UNIPAで公開している。

4) クラス担任制度

本学部においては、ほとんどの専任教員がクラス担任として学生の指導にあたっており、このシステムが学生の教育効果を高めるうえにおいても大きな効果を発揮している。各教員が1年間のクラス担任としての活動を振り返って、今後の取り組みにつながるような提言や意見交換を行っている。

5) 学部FD研修会の実施

「研究と教育への新たな展開 ～多様な技術を活かす方法 part2～」を、対面で実施した(令和7年12月12日)。研修会の内容と参加者の意見・感想等については、本報告書の中で詳しく紹介されている。

6) 非常勤講師との教育懇談会

前期に実施している非常勤講師との教育懇談会は、オンラインで実施した。

7) 学友会代表とFD委員会・教職員との懇談会

教育の質の更なる向上に向けて、授業ならびに多摩キャンパスの設備その他について学友会代表との意見交換を行った(令和7年12月12日(金))。多摩キャンパスの全教職員において参加希望者を募り情報を共有した。

8) 各種委員会との連携

学生の教育内容・教育環境の向上のためにはFD委員会による取り組みだけでは不十分であるため、教学面の管理を担当する教務委員会および英語教育運営委員会、就学環境全般の改善を目指す学生委員会、健康面をサポートする保健管理委員会等の各種委員会が教授会・学科会議等の場で報告する事項を参考にしながら、FD活動の一層の充実をはかっている。その他、より良い授業を目指すための環境やメディアに関する設備等に関して各事務部署との連携をはかっている。

以 上

Ⅱ-1 授業に関するアンケート

1. はじめに

本学部では平成 16 年度から、専任教員および非常勤講師が担当する授業について「学生による授業評価」（以下、授業アンケート）を実施している。授業アンケートは、2 ヶ年の間にすべての担当科目を対象として実施することを原則としている。ただし卒論指導等、回答者が特定される可能性の高い科目は除外している。また、上記以外の科目でも、実施対象からはずすべきだと判断された科目の場合は、FD 委員会において審議の上、除外している。なお、令和 3 年度に実施方法の変更が 2 点なされた。まずそれまで各学部に委ねられていた実施科目の決定が全学 FD 委員会でなされるようになったこと、また、授業中に紙媒体で行う形式から、Web の UNIPA（ユニパ）を用いて、授業中以外でも回答ができるようになったことの 2 点である。

アンケート結果については、各担当教員にフィードバックされる。そして授業評価の結果について担当者の見解と、改善案について回答してもらっている。それらは本報告書並びにホームページにて公開してきた。ただし、正当な理由があれば、各担当教員はアンケートの実施や、評価結果および改善点等の回答を拒否することができる。

2. 調査目的

授業に関するアンケートは、授業の質の向上を図るとともに、学生にあった指導法を模索する一助として、全学的、組織的に行われている。

3. 調査概要

(1) 実施時期および手続

前期は、令和 7 年 7 月 7 日（月）～7 月 19 日（土）の約 2 週間に実施し、後期は、令和 7 年 12 月 8 日（月）～12 月 20 日（土）の約 2 週間に実施した。また、授業アンケートの実施にあたり、例年は、書面およびホームページ等を用い、平成 24 年度からは大学行事予定表に授業アンケート実施時期を掲載することで、4 月の段階から学生と各教員への周知を徹底してきた。行った。また、自由記述欄は学生が率直に意見を述べやすいよう無記名での回答になっている。また、調査結果は統計的に処理され、加えて、「授業内容や授業方法の改善を図るために実施するものであり、調査結果は統計的に処理され、個人が特定されるものではないこと、さらに成績に影響するものではないことが強調されている。

(2) 調査対象と回答率

前期の調査は、241 科目で実施した。調査対象者は、調査実施科目の履修者 8,055 名であった。そのうち有効回答者は 4,779 名であり、回答率は 59.3%であった。

後期の調査は、222 科目で実施した。調査対象者は、調査対象科目の履修者 7,461 名であった。そのうち有効回答者は 3,720 名であり、回答率は 49.9%であった。

前期・後期合わせて、総科目数 740 のうち 463 科目で実施した。調査対象者は、調査実施科

目の履修者 15,516 名であった。そのうち有効回答者は 8,499 名であり、回収率は 54.8%（昨年度 42.4%）であった。

（3）調査項目

調査項目については、下記の「授業改善のためのアンケート」の見本を参照すること。

令和 7 年度（〇期）大妻女子大学 「授業改善のためのアンケート」

このアンケートは、授業内容や授業方法の改善を図るためのものです。

無記名回答ですので、あなたの成績に影響することはまったくありません。率直に回答してください。

1. 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。（必須）

⑤ そう思う ④ ややそう思う ③ どちらともいえない ② あまりそう思わない ① そう思わない ①① わからない／判断しづらい／確認していない

2. 教員は学生の理解を深めるための工夫（小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など）をしたと感じることができましたか。（必須）

⑤ そう思う ④ ややそう思う ③ どちらともいえない ② あまりそう思わない ① そう思わない ①① わからない／判断しづらい

3. 授業において manaba は活用されましたか。

⑤ そう思う ④ ややそう思う ③ どちらともいえない ② あまりそう思わない ① そう思わない ①① わからない／判断しづらい

4. 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。

※オンライン上での質問や意見等も含みます。（必須）

⑤ そう思う ④ ややそう思う ③ どちらともいえない ② あまりそう思わない ① そう思わない ①① わからない／判断しづらい／発言の機会がなかった

5. この授業の授業外学修の時間（授業 1 回あたりの平均）はどの程度ですか。 ※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PC やスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。（必須）

⑤ 3 時間以上 ④ 2 時間以上 3 時間未満 ③ 1 時間以上 2 時間未満 ② 30 分以上 1 時間未満 ① 30 分未満 ①① していない

6. 課題に対する教員からのフィードバック（コメントや学習指導）は効果的でしたか（必須）

⑤ そう思う ④ ややそう思う ③ どちらともいえない ② あまりそう思わない ① そう思わない ①① わからない／判断しづらい

7. この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。（必須）

⑤ そう思う ④ ややそう思う ③ どちらともいえない ② あまりそう思わない ① そう思わない ①① わからない／判断しづらい

8. この授業の到達目標を達成しましたか。

⑤ そう思う ④ ややそう思う ③ どちらともいえない ② あまりそう思わない ① そう

思わない ○①わからない／判断しづらい

9. あなたは授業に満足しましたか。(必須) ○⑤そう思う ○④ややそう思う ○③どちらともいえない ○②あまりそう思わない ○①そう思わない ○①わからない／判断しづらい

10. 授業改善に向けたあなたの意見や要望・感想を書いてください。

【良かったところ、継続してほしいところ、改善・提案できるところ】

※授業改善に関連しないことや誹謗中傷にあたるようなことは入力しないでください。

(4) 授業アンケート結果の活用ならびに情報公開と情報保護

授業アンケート結果の活用ならびに情報公開と情報保護 授業アンケート結果の活用ならびに情報公開と情報保護については以下の通りである。① 各教員の担当科目ごとの調査結果(授業科目別集計)は、年度内に各教員に個別に通知する。② 教員は、授業アンケートの結果に対して、意見や改善策等を FD 委員会に提出する。③ ②の意見や改善策等は、FD 報告書ならびに学部ホームページ上に掲載し、一般公開する。ただし、各教員は、書面により掲載等を拒否することができる。④ 調査データの処理は外部業者に委託し、集計結果の分析およびデータ保管は FD 委員会の責任において行う。なお、教員への配布データは、各教員が自己責任において管理・廃棄等を行う。

4. 調査結果の分析

以下に、人間関係学部全体のアンケート集計結果の概要について報告する。具体的には、自由回答を除く 9 項目に関する評価平均点(5 点満点)について、今年度の結果を述べる。分析に際して、「0. わからない／判断しづらい」を除いて平均値を算出している。

① 「授業はシラバスに基づいて行われていましたか」の評価

前期授業アンケートにおける学生による本項目の評価平均値(5 点満点)は 4.71 であり、後期は 4.71 であった。前期後期ともに、4 点以上であり、概ね授業がシラバスに基づいて行われていることを示している。

② 「教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか」の評価

前期授業アンケートにおける学生による本項目の評価平均値(5 点満点)は 4.49 であり、後期は 4.52 であった。前期後期ともに、4 点以上であり、教員が工夫をしていることが示されている。

③ 授業において manaba は活用されましたか

前期授業アンケートにおける学生による本項目の評価平均値(5 点満点)は 4.31 であり、後期は 4.35 であった。前期後期ともに、4 点以上であり、manaba が非常に活用されているといえる。

④ 「質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか」の評価

前期授業アンケートにおける学生による本項目の評価平均値(5 点満点)は 4.17 であり、後期は 4.16 であった。前期後期ともに 4 点を上回っており、学生の積極的な授業参加がなされ

ていると判断できる。昨年度と同じ項目と比較すると、昨年度は前期 4.12、後期 4.11 であり、微増ながら改善がなされているといえる。

⑤ 「この授業の授業外学修の時間（授業 1 回あたりの平均）はどの程度ですか」の評価

今年度の授業アンケートにおける学生による本項目の評価平均値（5 点満点）は、前期が 2.43 であり、後期は 2.32 であった。昨年度と同じ項目と比較すると、昨年度は前期 2.46、後期 2.23 であり、ほぼ横ばいの結果となった。

⑥ 「課題に対する教員からのフィードバック（コメントや学習指導）は効果的でしたか」の評価

前期授業アンケートにおける学生による本項目の評価平均値（5 点満点）は 4.35 であり、後期は 4.39 であった。前期後期ともに 4 点を上回っており、効果的なフィードバックがなされていることを示している。昨年は前期 4.30、後期 4.28 であり若干上昇したといえる。

⑦ 「この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか」の評価

前期授業アンケートにおける学生による本項目の評価平均値（5 点満点）は 4.57 であり、後期は 4.58 であった。昨年度と同じ項目と比較すると、昨年度は前期 4.55、後期 4.49 であり、今年度は前後期ともに昨年度を上回っている。

⑧ 「この授業の到達目標を達成しましたか」の評価

今年度前期授業アンケートにおける学生による本項目の評価平均値（5 点満点）は 4.43 であり、後期は 4.42 であった。本項目は今年度から導入されているため、昨年度との比較はできない。

⑨ 「あなたは授業に満足しましたか」の評価

今年度前期授業アンケートにおける学生による本項目の評価平均値（5 点満点）は 4.48 であり、後期は 4.49 であった。昨年度と同じ項目と比較すると、昨年度は前期 4.46、後期 4.41 であり、今年度は前後期ともに昨年度を上回っている。

5. 授業アンケート調査結果の活用

例年、授業アンケート調査結果を今後の授業改善に活用することを目的とし、調査後に、授業科目別集計を各担当教員にフィードバックし、授業評価の結果について意見と改善策等（①授業の改善点、②受講生への要望、③その他（本学の施設、設備、UNIPA、manaba、Google フォームの使い勝手等、お気づきの点などあればこちらにお書きください））について自由記述による回答を求めてきた。さらに、その回答結果についても本報告書の【資料編】に掲載している。

Ⅱ－２ 授業アンケートへの対応

前期・後期と実施した「学生による授業評価アンケート」の結果を受けて、その対応として、教員が「授業の改善点」「学生への要望」を提出した。

Ⅱ－２－１ 前期授業アンケートに対する教員の回答

(1) 授業の改善点

科目全体での回答の内容は、【今まで通り維持する】5件、【引き続き努力・継続する】8件、【フィードバックの方法の検討】5件、【細やかな対応】4件、【学生のリテラシーに合わせる】4件、【グループワークの検討】3件、【理解しやすくする】2件、【小テスト導入】3件、【シラバスの内容をわかりやすく伝える】2件、その他、反転授業、双方向の授業、学生の意見の求め方を検討するという記述があった。また、データや資料を manaba に公開する、最終レポートに対する連絡や提出時期の検討、私語を注意するなどが挙げられ、【特になし】7件であった。

これまで通り維持していく等の意見がほとんどを占めたが、学生のリテラシーに応じた授業を展開するという意見も多くあり、積極的に manaba 等を活用する様子が窺えた。

(2) 学生への要望

科目全体での回答の内容は、【積極的参加】6件、【課題提出期限厳守】2件、【授業態度の改善】4件で遅刻、居眠り、途中退出、前に座ってほしい等が挙げられた。【予習等学外学習の充実】2件、その他、授業改善アンケートのための時間をとって回答率が低い、わからないときは手を挙げてほしい、公欠の時は届けてほしい、manaba に配信できないものは直接相談してほしい等が挙げられ、【特になし】は41件であった。

Ⅱ－２－２ 後期授業アンケートに対する教員の回答

(1) 授業の改善点

科目全体での回答の内容は、【引き続き維持する】14件、【学生のリテラシーに合わせる】7件、【フィードバックの方法の検討】5件、【欠席学生への資料提供】2件、【事前事後学習を具体的に伝える】5件、他は、学生が参加しやすい対応、質問できる工夫、時代に合わせてアップデートする、学生間で共有できる時間を増やす、資料の配布方法、時間の配分についてなどが挙げられ、【特になし】5件であった。

引き続き、肯定的な意見が得られるように継続するという結果であったが、前期と同様、学生のリテラシーに応じた授業を展開する内容であり、授業の特徴によって、工夫されていることが窺えた。

(2) 学生への要望

科目全体での回答の内容は、【積極的参加】6件、【わからないことは知らせて欲しい】6件、【事前事後学習をして欲しい】5件、【授業態度を改善】が4件で内容は遅刻、何のために授業

を受けているのか、計画的な欠席であった。その他、感謝している、体調管理に気を付けてほしいなどが挙げられ、【特になし】は40件であった。

Ⅲ 学科・専攻におけるFD活動

1. 人間関係学科

(1) 社会学専攻

- i 例年にならい、今年度も5月24日(土)に授業担当者懇談会を開催した。昨年度に続きZoom上での開催となった。非常勤の先生方のご意見をいただき、専攻としての取り組むべき改善作業の参考にした。毎年参加してくださる非常勤の先生もおられ、有意義な会となっている。

- ii 社会学専攻では、平成25年度から「社会学基礎セミナーⅠ」の平準化を行うことにした。共通のテキストを指定して、レジュメの作り方、図書館の利用法、テキストの輪読など、担当教員が行う授業内容を取り決めた。採点基準については、「社会学基礎セミナーⅠ」、「社会学基礎セミナーⅡ」とも、Sは1割以内、AとSの合計は5割を超えないという評価の分布の基準を設けるとともに、授業での報告を中心とした平常点と期末レポートの比重をそれぞれ50%とし、その合算によって成績評価を決めるということが確認された。

- iii 社会学専攻では、2年次の「社会調査及び演習Ⅰ・Ⅱ」の授業の一環として学生による報告会を11月27日(木)に開催した。コロナが発生した令和2年度以降は、クラウド型教育支援システムオンライン形式での開催が常態化していたが、新型コロナウイルスの終息に伴い、令和6年度より対面開催に戻した。対面開催ではライブで行う緊張感には心地よいものがあり、盛会のうちに終わった。この報告会の主たる目的は学生の発表であるが、社会学の教員が参加することになっており、他の教員が「社会調査および演習」という授業を、演習という授業をどのように行っているのかが分かる仕組みになっている。そのため、教員にとっては、次年度からの授業運営参考になるという意味で、教員のFDにとっても有意義な会となっていると考える。

(2) 社会・臨床心理学専攻

i 授業担当者懇談会の実施

例年に倣い、今年度も5月25(土)に授業担当者懇談会を実施した。実施形態は、Zoom上でのオンライン開催となった。専攻からの話題提供として「新カリキュラムについて」八城専攻主任から説明がなされた。その後、専攻教員と参加された非常勤の先生方の自己紹介を経て、参加者全員で、欠席対応、学生対応、授業の課題点や工夫などについて意見交換が行われた。

ii 複数学年合同行事の実施

学年を跨いだ交流を活性化するため、複数学年合同行事を実施した。具体的には、前期には1～3年の合同授業を7月5日(土)に実施した。また、後期には、12月6日(土)に、1年・2年の合同授業を実施した。この他に、10月21日(火)にゼミ説明会を実施し、主に3・4年生と2年生の交流の場を形成した。

さらに、後期授業終了後、1月22日(木)に行われた卒業論文の口述試験についても、1～3年生も参加できるものとした。例年通り、各学生がこれからの大学での学び・これまでの大学での学びについて触れる機会をできるだけつくり、各学年時における適切な成長・発達となるよう工夫した。

卒業論文の口述試験については、昨年確認・見直しを行い、発表順の調整を行い、より流動的で活発な学会での発表に近づけた学術的な実施となった。具体的には学会のポスターセッションと同様、各自大判で製作したポスターの前で、教員や学生に対してプレゼンテーションをし、質疑応答するというものである。そして1・2年生を含む学生投票による「卒論優秀賞学生選出部門」と教員による「卒論優秀賞教員選出部門」を選び、卒業証書授与式の際に記念品とともに表彰するという形で、学生たちの研究への動機付けを高める仕組みは継続した。なお試験後は、新3年生のゼミ生と担当教員の対面の時間を設けた。

iii 公認心理師養成科目：実習教育における活動

臨床心理学を専門とする教員(福島哲夫、古田雅明、香月菜々子、春日文、三好真、小野聡士)によって、より質の高い実習を行うために求められる事項について検討した。心理実習におけるガイドやマニュアルが機能してきていることが確認された一方で、昨年より継続して、実習先の新たな開拓、実習の実施時期や履修の枠組みなど学生の理解を深めるための対応などを協議し、今後の教育指導におけるこれら資料のアップデートが図られた。

iv 専攻新カリキュラムの発展・展開へ向けた活動

新学科構想を見据えて、新カリキュラムの実装・運用面で、学年をまたいだ交流の形成を継続できるよう、専攻会議および調整会議(参加者：専攻の教員、平均月2回以上)にて、さらにブラッシュアップを図り、今後の専攻の方針・魅力の一貫性と明瞭性を持たせる協議がなされた。また、新カリキュラム実装に向けた合同ゼミ(11/21)を実施し、融合実践科目に応用できる授業内容の検討を行い、新カリキュラムを含めた広報の広報活動を行った。

v その他

例年同様、継続的に全教員で学生対応についての課題や懸案事項を共有し、教員同士の連携を図ってきた。その結果、包括的な対応をすることができた。

2 人間福祉学科

i. 福祉実習発表会・福祉実習教育懇談会

福祉実習発表会は、国家資格取得や実習分野選択を考える機会の提供および今後のキャリアについて考えることを目的としている。発表者は、社会福祉士養成課程 4 名(分野ごとに 1 名)、介護福祉士養成課程 4 名(実習 I・II・III・IV から各 1 名)、精神保健福祉士養成課程 1 名、専門実習 3 名、合計 12 名とした。発表の方法は、あらかじめ動画撮影を行い、YouTube 動画の限定公開形式で 2025 年 12 月 1 日(月)から 2025 年 12 月 19 日(金)に公開した。公開期間の周知は、各学年の資格にかかわる科目の授業において行い、全員が試聴することを原則とした。

福祉実習教育懇談会は、本学の実習先として登録されている各施設との懇談により、実習教育の質の向上を図ることを目的として実施している。12 月 3 日(水)5 限に、オンラインミーティングツール Zoom により実施した(ジョブコーチ実習のみ別日程)。懇談会冒頭は合同で行い、その後、資格ごとの分科会に分かれて実施した。今後も、各実習施設と緊密な連携を保ちながら充実した実習教育を目指している。

ii. 国家試験対応及び受験対策講座

人間福祉学科では、社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士を養成している。1 年次から資格養成に係る指定科目を必修科目に設置し、各資格養成課程で年次ごとに国家試験を意識した教育を行っている。4 年次には、社会福祉士および介護福祉士の国家試験対策のための特別講義を開講している。

また、国家試験対応委員会を設置し、卒業時の国家試験合格を目指して、学内で実施する受験対策講座や、模擬試験を計画的に実施している。模擬試験は、原則として 3・4 年生を対象としており、3 資格それぞれ 2 回ずつ実施した。また、国家試験の手続き及び個別学習指導及びグループ指導を行っている。

iii. 複数教員が担当している科目における教員間の連携

人間福祉学科で複数教員が担当している授業科目として、1 年次必修の「社会福祉学基礎セミナー」、社会福祉士養成カリキュラムの「相談援助実習」「相談援助実習指導」「相談援助演習」、介護福祉士養成カリキュラムの「介護実習」「介護総合演習」「生活援助技術」等の科目がある。

「社会福祉学基礎セミナー I・II」は、1 年次必修科目であり、それぞれ前・後期に設置している。少人数教育を主としており、20 名以下のクラス編成として、入学して間もない学生への指導の充実と、社会福祉の基礎を学ぶことを目的としている。担当教員は、専任教員と非常勤講師で構成しているが、適時打ち合わせを行って、配布資料や指導方法を必要に応じて統一するなど、教育内容の平準化に努めている。

社会福祉士養成カリキュラムの「相談援助実習」「相談援助実習指導」「相談援助演習」は、20 名以下のクラス編成にする規定があるため、複数の教員で担当している。非常勤講師にも担当を依頼しているため、専任教員がシラバスや教育内容を取りまとめ、非常勤講師と適時打ち

合わせを行いながら実習関連教育に取り組んでいる。

介護福祉士養成カリキュラムの「介護実習」「介護総合演習」「生活援助技術」も、非常勤講師が担当する科目については、科目編成担当の専任教員が適時打ち合わせを行いながら教育の質の向上に取り組んでいる。「生活支援技術」では学生数や授業内容に応じて、助教が授業に参加している。

IV. 保護者懇談会

【人間関係学科】

令和7年度の保護者懇談会は昨年度に引き続き対面で行われた。10月25日午後2時半よりの全体会に引き続いて、社会学専攻は7127教室、社会臨床心理学専攻は7114教室で開催された。参加者は社会学専攻が保護者22名、教員5名。社会臨床心理学専攻は保護者27名、教員5名であった。専攻ごとに内容をまとめた。

<社会学専攻>

Q：娘が授業で課される課題をこなすのに、文章をたくさん書かなければならないので大変なようです。

A：1年生で、毎回課題を課す授業としては、「社会学概論Ⅰ・Ⅱ」と英語の科目があるくらいで、他の「社会学基礎セミナーⅠ・Ⅱ」や「基礎統計学Ⅰ・Ⅱ」の授業などでは、毎回課題は出ないと思われるが、高校生の時は違って、大学では、課題をこなすために文章を書くことが常に求められる。しかし、社会学専攻の学生は、文章の読解力と作成能力は高いので、慣れば、毎回の授業の課題に取り組むのが苦痛ではなくなるのではないかと。

Q：社会学専攻で取得できる就職に役立つ資格はどのようなものがあるのか。また、いつまでにどのような資格を取ると就職に役立つか。

A：現時点で、企業としては、社会調査士の資格に対して高い評価をしていないが、社会調査士の資格を取得する予定の学生が、就職活動の際に、社会調査ができることを積極的にアピールすれば、就職に役立つ資格となる場合がある。社会学の専門科目を学習して、企業の評価が高い資格を得ようとするならば、本学の大学院に進学して、専門社会調査士の資格を得ることは可能である。また、図書館司書と博物館学芸員の資格は、2～4年生にかけて、卒業に必要な単位以外の科目の授業を追加で履修して単位を取得しなければならないが、図書館と博物館の実習は学内の図書館と博物館で行うことができる。毎年、社会学専攻の学生は卒業時点で、図書館司書の資格は4,5人、博物館学芸員の資格は、2,3人が取得している。社会学専攻の卒業に必要な単位を取得して、児童福祉関連の施設や機関に正規の職員として就職すると専門職(児童相談員・社会福祉主事)の扱いとなる。他専攻・他学科とは違って、社会学専攻で取得できる資格で企業に就職する際に直接役に立つ資格はないので、就職を有利にするために資格を取得することよりも、日々の授業に励んで卒業することを優先してほしい。

Q：娘が進学を契機に親元から離れて暮らしているので、健康で学業に取り組んでいるのが心配である。

A：これまでの社会学専攻の学生を見ると、前期のうちは、一人暮らしに慣れるのが大変だと思われるが、学内で友達が何人かできれば、4年間を助け合いながら楽しく学生生活を送っているようなので、心配することはないのではないかと。しかし、クラブ・サークル活動やアルバイトに注力してしまうと学業が疎かになって、成績が悪くなるので、特に、アルバイトに割く時間は、必要最小限にしてほしい。

Q：現在、山梨の実家から通っているが、娘が一人暮らしをしたがっており、3年生から引越して一人暮らしをする人がいるかどうか聞きたい。

A：多くの場合、4年間同じところに住むケース多いようで、あまり途中から一人暮らしになったという例はきかない。

Q：就職活動の様子を聞きたい。

A：手広くさまざまな領域に応募している子は早く内定をもらっている印象があるが、ひとつの業種にこだわりをもって挑戦し続けている学生もいる。

Q：自分は理系出身なので、社会学がどのような学問なのか、よくわからない。

A：社会における様々な現象がテーマとなりうるが、社会調査などの固有のアプローチがある。自分が好きなことを学問にできる分野でもある。

Q：就職関連について

A：大妻や社会学専攻での、就職の状況について、近年の傾向を中心に説明した。また、インターンシップは3年生の夏からだが、本格的には3月から就職活動がスタートする。就職関連の情報は大妻メールやUNIPAなどを日常的に確認し、積極的に就職支援センターや支援プログラムを活用してほしい。

Q：千代田で開催されているキャリア関連の講座に多摩の学生が参加できるのか。授業を欠席することになるのか。

A：出席は可能だが、正規の授業を欠席する場合、その対応・扱いは授業の担当教員によって異なる。

Q：業界研究などはあるのか。

A：就職・キャリア支援講座にもあるが、専門科目の「現代企業論」でも業界研究に触れている。

Q：卒業論文について。

A：社会学専攻での卒業論文のスケジュールと概要について説明した。また、最近の生成AIの学術論文への利用について説明した。

<社会・臨床心理学専攻>

1年生

Q：ゼミは、希望するところに必ず入れるのでしょうか？

A：ゼミ希望調査では、8つのゼミから4つの希望を聞いております。応募数の多い場合は、人数調整が図られるため、必ずしも一番希望するゼミに入れるわけではありません。ですが、希望する4つのゼミのどれかには入れるように調整をしております。

Q：学生指導対応について、もう少し詳しく教えてください。

A：学生に対する相談の受付や指導は、manabaの個別指導コレクションやメールなどを通じて、学生本人にまず連絡をしております。その後、適宜、対面での面談や、電話、オンラインミーティングなどを活用して、学生のニーズに合った形で支援を展開しています。

Q：大学院への勉強と就職活動は、両方進めた方がよいのでしょうか？

A：大学院に行く場合は、臨床心理、または、心理学を専門とする修士課程など様々あります。

また、公認心理師を目指す際には、養成課程にある実習・演習を通じて、各学生が自身の素養や進路の意欲を決めていきます。ですので、3年次にゼミの教員と相談する事がとても大切になっていきます。場合によっては、先に就職を目指すことを提案したこともございます。

Q：学業・成績の順位は、開示されたりするのでしょうか？

A：絶対評価による GPA がベースとなりますので、順位は開示されません。

2年生

Q：大学院の学内選考はどのように実施されるのか？

A：詳しく説明して、納得いただいた。

Q：成績の順番や GPA システムについて。

A：成績の順位は公表していないが、GPA が 3.0 を超えていれば、かなり優秀であると考えていいことなどを説明。

3年生

Q：大学院に進学せずに、児童相談所に就職はできるのか？

A：学部生の時に公務員試験に合格すれば、大学院に進学しなくても児童相談所の心理職として就職可能です。

Q：大学院修了後の就職状況を教えて欲しい。

A：希望者のほぼ全員が就職できている。常勤職になるのは、6名の修了生の内、1～2名。その他は、教育相談センターなどの会計年度職員になる人が多くいます。修了直後は資格試験もあるので、あえて常勤職を選ばない傾向があります。

Q：就職活動に関する大学のサポートについて教えて欲しい。

A：3年生の10月頃から業界研究が学内でスタート、3年の2月には千代田校で企業説明会が集中して行われますので、そこに参加する学生が多くいます。そのほか、キャリアカウンセラーに相談したり、ES（エントリーシート）や面接の指導を受けることもできるサポート体制ができています。

Q：卒論の進捗状況について

A：各学生の卒論の進捗状況や今後の指導の手順などについて個別に回答し、順調に進んでいることを伝えた。

Q：進路について

A：進路決定状況もそれぞれ異なる状況であったので、各学生さんの現状を教員と保護者間で情報共有し、それぞれに合わせた見守り方を確認した。

【人間福祉学科】

1. 開催日：令和7年10月28日(土)
2. 実施内容：
 - ・14時30分～全体会（7127 教室） 学部長挨拶、学科長挨拶
 - ・15時00分～学科別懇談会（7318 教室）
 - ・保護者参加人数：33名 ・教員参加人数：15名
3. 学科全体会：学科長挨拶、教員自己紹介
 - ・教務関係：GPAについて、公欠取扱いについて
 - ・実習関係：実習の実施状況、2年生の配属試験等について
 - ・国家試験関係：受験者の動向、受験対策等について
 - ・学生生活全般：各種配慮願い、大学行事について
 - ・就職関係：就職率、進路状況、各種学内就職セミナーの紹介

※当日の保護者からの意見や感想、ならびに質問と回答を以下に示す。

◎は、質問内容

（1年生；保護者11名）

- ・学校のことを話してはくれないが、本日の保護者会に参加して、周囲の方々も同じような状況であることが把握できて安堵した。
 - ・片道の通学時間は、2時間半を要するので心配であった。何とか生活リズムを整え支障なく大学生活を過ごしている。友人もできて、楽しい様子である。
 - ・ラクロス部に所属し、マネージャーとして毎日部活動に励んでいる。充実しているようだ。
 - ・おーたんフレンズ部に所属し、イベントにも参加をして楽しい様子である。
 - ・ダンス部に所属している。授業後から千代田等（都心）に向かい、その後帰宅をするので、時間的にも、また、交通費等もかかるが、楽しそうな姿を見ると、仕方ないかと考えている。
 - ・GPAやUNIPAについて理解不足であったので、再度、娘に確認をする。
- ◎UNIPAの保護者用PWについて知らなかった。どのようにすれば利用できるのか、再度教えてほしい。
- 回答：毎年、7月頃に保護者宛に通知が届いている。再確認をしてほしい。大学のHPに「PWを忘れた方へ」があるのでそこから再設定の方法を確認してほしい。
- ◎保育士講座ならびに受験について大学在学中に取得できるのか教えてほしい。
- 回答：外部講師を依頼して講座を設けている。申し込み日時を確認の上、受講してみると良い。大学在学中に取得は可能である。
- ◎水痘に罹患して、2週間近く授業を欠席した。欠席したことが気になるが、今は元気に通っている。
- 回答：水痘は学校保健安全法で定められた感染症であるため、公欠扱いとなるので安心し

てほしい。

(2年生；保護者6名)

◎自宅が遠いが、実習先までの距離はどのようになっているか。

回答：概ね90分以内で通える先に配属するようにしているが、大学まで2時間半かけてきているような場合は、大学に通うよりも短い距離で通える実習先に配属できるようにしている。

◎実習の分野の希望が本人に合っているかどうかの適合性などはどのように決めているのか

回答：基本的に実習の配属は本人にまず希望を聞いて、そのあと担当教員と面談をして、説明をしたうえで行っている。就職希望ではない分野にあえて実習に行くことも学びになることを伝えている。

◎資格は取らない予定であるが、実習のように福祉現場を体験できる機会はあるか。

回答：ボランティアは資格の有無関係なく参加できるので、学内の掲示や社会福祉協議会のボランティアセンターの案内を授業等で行っている。

◎保育士を取りたいと考えているようだが、課外講座を受けなくても合格できるものか。実習はあるか

回答：国家試験を受験して保育士になるためには9教科の筆記試験と実技試験がある。実習はないが、筆記試験の難易度は高く勉強しなければ合格はできない。課外講座は過去問の配布をしており、そういった手間がなくなるが、自分で勉強している学生もいる。

◎企業のOG訪問について、どのようにしているか。サークルやゼミなどの先輩にいない場合はどのように探すのか。

回答：キャリア支援（就職支援）で行っている。本学は卒業生も多く、学部や学科を超えてOG訪問できる仕組みを作っている。福祉施設等のOG訪問も同様に就職支援で行っているため、学生には就職支援グループを活用するように伝えている

◎今日の保護者向け就職セミナーは何年生向けなどあるのか。準備は何年生から始めるのか。

回答：準備も範囲が広く、どのような就職先があるのかなどの企業研究は1・2年生から始めている学生もいる。エントリーシートや面接に関しては本格的になるのは3年生からであるが、インターンを受けるなど本人の志望によっても準備の開始期間は異なる

(3年生；保護者6名)

- ・参加された保護者の学生について、個々の様子を、ゼミや社会福祉実習の状況を含めて伝えた。
- ・福祉系の就職と一般企業の就職について説明する。特に、福祉系の就職については教員に相談することを勧めた。
- ・個々の学生の状況、相談について個別に対応し、成績や学校生活で保護者が気になっていることについて対応した。

(4年生；保護者10名)

- ・就職活動を通して、大妻のすごさがわかった。就職支援 G、ゼミの金先生に激励、サポートしていただいた。
 - ・一般企業に就職が決まった。のんびりしている。
 - ・進路について迷っていたが、本人が一般企業に決めた
 - ・就職支援 Gの方に就職先を紹介してもらった。4年間先生方に助けてもらって感謝している。
 - ・小学校から大学までで大妻の友達が一番よかったと言っている。就職先は自分で調べて決めていた。
 - ・本人なりに頑張っていた。4年間福祉を学んで福祉マインドが身について優しくなった。
 - ・片道2時間半かけでよく通った。国家試験の勉強が心配である。
 - ・他大学とのサークル活動に熱心に取り組んで勉強は後回しになった。
- 回答：必要に応じて、個別対応をおこなった。

以上

V オフィスアワー

今年度は、全て対面授業に戻った。オフィスアワー支援制度も、積極的に活用されてきた。このオフィスアワーを導入して22年目を迎えた。

表1. 令和7年度オフィスアワー実施要綱

| | |
|------|---|
| 活動目的 | オフィスアワーは、学生の大学生活全般にわたる相談を通じて、学生がより良いキャンパスライフを送れるように支援する組織的な活動である。 |
| 相談内容 | 学生生活全般に関わる事柄であり、特別な制約は設けない。 |
| 対象者 | 本学の学生個人又はグループとする（学部・学科・専攻は問わない） |
| 担当者 | 学生は、クラス指導主任やゼミ担当教員に限らず、人間関係学部の全専任教員（助手は除く）と相談することができる。 |
| 相談時間 | ①月曜日から金曜日までの1時限から5時限（昼休みを含む）、土曜日の1時限から2時限（昼休みを含む）のうち、原則として1コマ（90分間）を相談時間に当てる。 ②指定時間外は事前予約により相談する。 |
| 相談場所 | 原則として各専任教員の研究室とする。 |
| 実施方法 | ①教員はオフィスアワーとして設定した時間内は研究室に在室している。 ②教員は、学生が安心して相談できるように事前説明を行ない、特別なことがない限り他に漏らさないことを説明する。 |
| 周知方法 | ①教員は、毎年講義開始時にオフィスアワーの利用を学生に伝える。 ②新年度毎に「人間関係学部オフィスアワー・スケジュール一覧表」を作成し、学生への配布および学部掲示板（1階）、各共同研究室掲示板（4階）に掲示する。 |
| FD報告 | 担当教員は、オフィスアワーに関する意見・感想等を当該年度のFD報告書に掲載するため、報告書（年度末に別途配布）を提出する。 |

実施方法は、対面、メール、Zoomなどのオンラインによる利用が継続して行われている。オフィスアワーの時間帯に相談を受け一方で、授業終了後ならびにそれ以外でも相談を受け入れたという教員が多く存在していた。相談内容は、授業全般に関する事、友人関係、メンタル、進路相談、資格関連、課外活動などが多かった。以下に、各教員からの主だった意見や感想を掲げる。

- ・ 学生対応の時間として、有意義に活用している。
- ・ 前後期を通じて GPA による履修指導が必要な学生が多かった印象である。各学生が抱える問題も非常に難しいものがあった。
- ・ 3年生以上の学生は、ゼミ教員に相談をすることが多いため、クラス指導主任としての対応件数は、学年によって違いが出ると感じた。
- ・ 基本は、対面での対応としたが、内容によっては、Zoom あるいはメール対応をすることにより効率的であった。
- ・ 他学科他専攻の学生からの相談対応をした。学部としても機能していると感じた。
- ・ 面談の機会が多い学生と少ない学生との間で、教員側の情報量に大きな差があると感じた。
- ・ フィスアワーの時間帯に関係なく、直接、研究室を訪れる学生も多かった。

全体的にみると、このオフィスアワーについては、年度初めの周知が徹底しており、スムーズに運用できたという意見が多かった。多様な学生が存在するため、今後も継続してこのオフィスアワーを活用し、必要に応じて各学科で情報共有の上、学生対応を行うことが望まれる。

2025(R7)人間関係学部オフィスアワー（掲示・HP用）

| シメイ | 氏名 | 通年・前期 | 後期 |
|------------|--------|----------------|----------------|
| イトミトリ | 伊藤 美登里 | 通年：火曜昼休み | |
| イノウエ シュウイチ | 井上 修一 | 通年：水曜昼休み | |
| ウエノ ユウコ | 上野 優子 | 通年：木曜昼休み | |
| ウシヤマ ミホ | 牛山 美穂 | 前期：金曜昼休み | 後期：金曜4限 |
| オガワ ヒロシ | 小川 浩 | 通年：木曜昼休み | |
| オキ ユウヒロキ | 尾久 裕紀 | 通年：木曜昼休み | |
| カサガ アヤ | 春日 文 | 通年：月曜昼休み | |
| カヅキ ナナコ | 香月 菜々子 | 通年：火曜1限 | |
| キムシジン | 金 美辰 | 通年：木曜昼休み | |
| キムラ エリコ | 木村 絵里子 | 通年：火曜昼休み | |
| クボ タシゲル | 久保田 滋 | 通年：木曜昼休み | |
| クラノ トモミ | 藏野 ともみ | 通年：水曜3限 | |
| コタニ サトシ | 小谷 敏 | 通年：水曜2限 | |
| サイトウ ユタカ | 齊藤 豊 | 通年：水曜3限 | |
| シマズキ マサト | 嶋貫 真人 | 通年：月曜昼休み | |
| タナカ トシユキ | 田中 俊之 | 通年：金曜昼休み | |
| タナカ マサシ | 田中 優 | 通年：水曜5限 | |
| タノ マキコ | 丹野 真紀子 | 前期：木曜昼休み | 後期：水曜昼休み |
| ハラノ カオリ | 原野 かおり | 通年 水曜昼休み | |
| ヒダカ カズキ | 飛田 和樹 | 前期：火曜2限 | 後期：月曜4限 |
| フクシマ テツオ | 福島 哲夫 | 通年：水曜昼休み | |
| フルタ マサアキ | 古田 雅明 | 通年：火曜昼休み・金曜昼休み | |
| ホシカワ ツヨシ | 千川 剛史 | 通年：火曜昼休み・木曜昼休み | |
| ホリ ヒロト | 堀 洋元 | 前期：金曜昼休み | 後期：火曜昼休み |
| ホンダ シュウジ | 本田 周二 | 前期：なし [育児休業中] | 後期：木曜2限 |
| マキノ トモカズ | 牧野 智和 | 通年：金曜昼休み | |
| ミヨシ マコト | 三好 真 | 通年：木曜4限 | |
| ヤシロ カオル | 八城 薫 | 通年：火曜2限 | |
| ヤマモト マチコ | 山本 真知子 | 前期：火曜昼休み・水曜昼休み | 後期：火曜昼休み・木曜昼休み |

オフィスアワーを利用する際は、念のため、以下のような形で相談を希望する教員のメールアドレスに連絡をしてください。

*件名 ⇒ オフィスアワー利用希望：▲月▲日（方法：○○）

*▲▲ ⇒ 希望日

*○○ ⇒ 対面 or オンライン

*本文 ⇒ 所属、氏名、学年、相談内容の概要、その他（何かあれば）

*対面の場合の場所は、原則、各教員の個人研究室です。

メールアドレスはUNIPAから
4月1日にご案内いたします

【本件に関する問い合わせ先】

ningenfd@ml.otsuma.ac.jp

人間関係学部FD委員会 2025(R7)

齊藤豊(学部長)、福島哲夫(学科長)、上野優子(学科長)

大人社/牛山美穂、大人心/三好真(委員長)、大福/原野かおり

| |
|-----|
| 所属 |
| 大人社 |
| 大人心 |
| 大福 |

VI クラス指導

クラス指導主任（担任）制度は、本学独自の制度と言える。現在人間関係学部には、3つの学科専攻に1年から4年まで、それぞれ2クラスの計24クラスが存在し、各クラスに1名の指導主任が配置されている。学部全体の教員の約8割が、クラス指導主任の仕事を担当している。

クラス指導主任の主な業務は、指導下のクラスの学生の相談に応じることである。現在、クラス指導主任には、1学期間のGPAが1.5に満たなかった学生への履修指導が義務付けられている。さらに2019年度入学生からは、1年間のGPAが、0.75未満でかつ、その学年までの標準履修単位の3分の1未満の単位しか取得していない学生に対しては、学科長同席の上での履修指導を行うよう義務付けられている。これは人間関係学部だけではなく、全学的に実施されている。

クラス制度は、学生たちにとっては、高校時代までになじみの深いものであり、概ね好感をもって受け止められている。また、3年生にならないとゼミは始まらないため、クラスは学生たちにとっての大学内での所属集団=居場所ともなっている。大学に入学してまずクラスの中で友だちをみつけ、在学時代を通して、さらには生涯にわたる交友を続けるケースも数多く見受けられる。

個別の相談に関しては、ここ数年と同様Zoomやmanabaを使つての相談に加えて、研究室での対面による相談も行われ、進路や留学に関する相談や休退学の相談、各種届出への記入や承認なども多かった。

また、多数を占めた意見は、成績不良学生への履修指導や学習指導について、メール等に返信が無いものが多く、苦慮しているという声であった。また、このような学生に関して、学生相談センターとの連携でうまくいったという声もあった。この点に関しては、今後、全学的な取り組み工夫が必要と考えられる。

Ⅶ 人間関係学部FD研修会

人間関係学部における教育・研究の質を向上させることを目的として、学部FD研修会を開催した。本年度のテーマは「研究と教育への新たな展開～多様な技術を活かす方法～」とし、①生成AIツールの活用、②教育と研究の両立、③ゼミ指導やキャリア教育、の3点をテーマとした分科会形式の研修会を実施した。

学科・専攻を超えた教職員同士の交流を図るため、新任教員や助教・助手、大学職員の参加も呼びかけ、学科・専攻のバランスに配慮した分科会構成とした。各分科会においては、学部内の課題に向き合う活発なディスカッションが行われた。

研修会内での意見や情報共有、研修会終了後のアンケート回答結果に基づいて、今後も生産的な開発・発展に向けた教育・研究、研鑽を含む各種活動に取り組んでいく。

人間関係学部FD研修会2025 [2025.12.12実施] 研究と教育への新たな展開 ～多様な技術を活かす方法 part2～

17:00～17:10 全体会 7247教室 司会：●FD委員長代行
開会挨拶 [福島学部長代行]

17:15～18:25 分科会 司会：★FD委員

第1分科会 7281教室 授業の展開の方法 ～AIツールの活用と課題など～

第2分科会 7282教室 教員の研究と大学教育、ワークライフバランスの両立や展開の方法

第3分科会 7283教室 ゼミの指導方法 ～授業の展開の方法、活動内容、キャリア教育など～

18:30～19:00 全体会 7247教室 司会：●FD委員長代行

各分科会の結果報告 [★各分科会の司会 (FD委員)]

まとめ [小川副学長]

| 第1分科会 | 7281教室 | 第2分科会 | 7282教室 | 第3分科会 | 7283教室 |
|-----------------------------|-----------------|--|------------|---|------------|
| 授業の展開の方法 ～AIツールの活用と課題など～ | | 教員の研究と大学教育、 ワークライフバランスの両立や 展開の方法 | | ゼミの指導方法 ～授業の展開の方法、活動内容、 キャリア教育など～ | |
| ★牛山美穂 | 大人社/FD委員/司会 | ★原野かおり | 大福/FD委員/司会 | ★上野優子 | 大福/FD委員/司会 |
| 伊藤美登里 | 大人社 | 小野聡士 | 大人心 | 藏野ともみ | 大福 |
| 井上修一 | 大福 | 春日文 | 大人心 | 小谷敏 | 大人社 |
| 大坪美香 | 大福 | 金美辰 | 大福 | 嶋貫真人 | 大福 |
| 尾久裕紀 | 大福 | 木村絵里子 | 大人社 | 八城薫 | 大人心 |
| 香月菜々子 | 大人心 | 丹野真紀子 | 大福 | 山崎なる美 | 大福 |
| 久保田滋 | 大人社 | 飛田和樹 | 大福 | 小川浩 | 大福 副学長 |
| 蘇曉娜 | 大福 | 古市孝義 | 大福 | | |
| 田中優 | 大人心 | 古田雅明 | 大人心 | | |
| ●福島哲夫 | 大人心 FD委員長&学部長代行 | 千川剛史 | 大人社 | | |
| 本田周二 | 大人心 | 山崎有望 | 大人心 | | |
| 牧野智和 | 大人社 | 山本真知子 | 大福 | | |
| 小川浩 | 大福 副学長 | 小川浩 | 大福 副学長 | | |

人間関係学部FD研修会アンケート結果

記述による回答は、30名から得た。回答の概要は、表1～表3のとおり、興味あるテーマで意義があった、情報共有できたという意見が大半であった。実施時期や時間については、全学FD研修会との時期が重なるという意見が1件、18:00頃までに終了するのがよい1件、全体時間の短縮の提案が3件あった。

今後の希望については、それぞれのテーマの継続希望が6件あった。その他、大妻女子大学が生き残るためのディスカッションが1件、新学部としての課題等に関するテーマが2件、新しい卒論の在り方が1件、新しい教育の在り方が1件あった。

表1. 第1分科会 授業の展開の方法～AIツールの活用と課題など～

| | |
|---|--|
| 今回行われた学部FD研修会の内容、実施時期、実施方法等について、ご意見、ご感想をお聞かせください。 | 今後の実施内容やテーマなどについて、ご意見、ご希望をお聞かせください。 |
| やはり対面でのグループディスカッションは、良い機会であると感じました。人数バランスの調整はあっても良いかもしれません。 | |
| 先生方がどのようにAIについて考えているのかが知れて、興味深かったです。真似してみたい使い方なども知れて参考になりました。 | 引き続きAIについてはやっていけたらと思います。 |
| 興味深いものでした。 | 引き続き同じものがよいです。 |
| 教育にAIをどのように活用していくか、非常に興味深いテーマでした。まだ手探りですが、先生方と情報共有しながらよりよい活用ができればと思いました。本日はありがとうございました。 | |
| 4時半から6時であまり遅くならずにおわり、内容的にもよかったですとおもいます。 遅くなると、お子さんがいる先生もいらっしゃいますので、大変かとおもいますので、6時くらいに終わると助かるとおもいました。 | AIツールに参加しました、いろいろな方法でAIを活用している先生方のお話が聞けて勉強になりました。AIは、年々進化して聞くので、毎年テーマにいられていただけるといいとおもいました。 |
| 新しい気づきが多く、大変よかった。 | |
| 第1分科会で扱われたテーマに参加するのは今回で2回目でしたが、生成AIは年々深化を遂げており、我々の生活に深く浸透していることから、話し合われるトピックが一層具体化されていて、大変勉強になりました。AIに使われることなく、依存することなく、どう使いこなすのか、ガイドラインはどのあたりに提示するとよいのか、各個人のオリジナリティはどこで生まれてくるのかなど、いろいろ考えさせられました。 | AIに関するトピックは興味深いので、これからも続けて頂きたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。 |
| 例年通りの形式ですが、適切な運営だと思います。 | 今後もこの形式で良いと思いますが、この時間を用いて学部の将来について議論することも可能だと思います。 |
| 今回のFD研修では、第1分科会に参加しました。他の先生方の工夫や課題意識を共有できた点が非常に有意義でした。特にAI活用については可能性と同時に注意点も多く、今後さらに議論を深める必要性を感じました。今後も複数のAIツールの比較紹介があれば、さらに実践に結びつけやすくなると感じました。 | 今後は、AIツールやICTを活用した授業デザインについて、具体的な事例をご紹介いただくと幸いです。 |
| 情報共有として、また、教員間の交流の場としても、とてもいい時間を過ごせました。 | AIについては、毎年変化があるので、引き続き同じテーマでお願いしたいです。 |
| 良かった | 良かった |

| | |
|---|---|
| 先生方の活用の仕方がとても勉強になりました。早速今年度の最終テストで活用しようと思います。 | 同じテーマで、そして元々齊藤先生がとても良い資料を作成して下さっていたと伺ったので、そちらを学びたいと思いました。お忙しい中、企画をしていただき、ありがとうございました。FD委員会の皆さまに御礼を申し上げます。 |
| とても勉強になりました。 | |

表2. 第2分科会 教員の研究と大学教育、ワークライフバランスの両立や展開の方法

| | |
|---|---|
| 今回行われた学部 FD 研修会の内容、実施時期、実施方法等について、ご意見、ご感想をお聞かせください。 | 今後の実施内容やテーマなどについて、ご意見、ご希望をお聞かせください。 |
| 様々な思いや工夫を知ることができてとても参考になった。 分科会の時間はもう少し短くてもよいと思いました。 | |
| 大学教員の研究と教育、そしてライフのバランスについて、先生方とお話でき大変有意義な時間でした。特に子育てをされている先生方は家では研究ができないため、いかに研究時間を確保するのかに苦慮されておりました。大学でも授業期間中はなかなか研究のための時間を確保できないことが問題点として挙げられていたため、教員が研究時間を確保するための体制づくりやノウハウの共有が大切であると感じました。 | ライフワークバランスの問題や研究時間の確保・進め方については、今後も機会があればお話しできると嬉しく思っております。 |
| | 同じような事で大変さを抱えていらっしゃる先生方と意見や気持ちを共有でき、温かい時間をともに過ごすことができました。ご準備いただきました、先生方に感謝申し上げます。 |
| 他の学科の先生とコミュニケーションができて良かったです。自分自身ではワークライフバランスが全然とれていないと思っていたのですが、先生方とお話をするなかで、意外と日常のなかで気分転換ができていることに気がつきました。来年小学校になる子どもの教育方針なども、おうかがいできてよかったです。 ただ、子どもが体調を崩して授業を休講（補講）にしたり、あるいはシッターを頼むなど、ケアの役割を個人が、それも女性が引き受けていることを再認識し、疑問が生まれました。社会全体でケアを引き受けていくようにならないと少子化は止まらないと思いました。 | いかにすれば大妻女子大学が生き残っていけるのかということ先生方と意見交換してみたいです。 |
| FD 研修会の時間ですが、全体で 90 分程度になると少しコンパクトになってよいかと感じました。 | |
| 学科を超えた交流ができる有意義な機会でした。昨年度同様の意見ですが、2 時間ではなく 90 分構成で十分かと思えます（結局 90 分程度で終わっている）。 | |
| | 先生方の働き方、研究への向き合い方を学べて非常に勉強になりました。 |
| 長年の蓄積があり、実施時期、実施方法は、すっかり定着、安定していて全く異存ありません。内容も類似の内容を数年続けていただいているので、去年参加したかった分科会に今年参加することができてよかったです。 | 卒論指導のこととですとか、卒業論文以外の方法として卒業制作を提出させるなど、新しい試みについて話をしてみたいです。というのも文章を書くこと、学術論文を読んで理解することにはかなり苦勞する学生が入学してきている時代になっているからです。新学部、新学科の入学者が 4 年生になるまでの間に、新しい卒論のあり方を検討できればと考えています。 |

| | |
|---|---|
| このままでよい。 | 教員の研究と大学教育、ライフワークバランスの両立のテーマの分科会を継続してほしい |
| 今回参加した部会とは異なるテーマですが、来週 12/18 も生成 AI についてのテーマで全学 FD 研究委員会が開催されます。偶然でしょうけれども、実施時期と取り扱うテーマが重複していると思いました。 | ワークライフバランスというテーマでしたが、ワークに比重をかけている先生方が大多数であるように見受けられました。 |
| 同じ悩みを先生方と共有できてとても良い時間でした。なかなかゆっくり話す機会もないですし、他学科の先生方とのお話の共有も FD 研修会ぐらいしかないなので、大変ありがたかったです。 | |

表 3. 第 3 分科会 ゼミの指導方法～授業の展開方法、活動内容、キャリア教育など～

| | |
|---|---|
| 今回行われた学部 FD 研修会の内容、実施時期、実施方法等について、ご意見、ご感想をお聞かせください。 | 今後の実施内容やテーマなどについて、ご意見、ご希望をお聞かせください。 |
| 内容、実施時期・方法において、大変良かったと思います。 | 新しい体制での人間共生学部としての 4 学科の強みを見つけられるテーマを考えてみたいです。 |
| 実施時期については、全学 FD と重なる時期なので、少しずらしていただくと良いと思いました。 今回の分科会は、これまでも同じテーマの分科会に出ましたが、先生方の本音と実際の戸惑いを伺えて、勉強になりました。解決方法が欲しいわけではなく、どの様な葛藤を抱えておられるのかを伺えたことが自分の今後の役に立ちました。 大学の醍醐味だったゼミでの学びが、現在の学生にとっては、特別観ではないのかもしれないということを認識できたと同時に、自分自身の教育研修・研究を深めたいとも思いました。 | 今年と同じでよいと思います |
| いずれも適切でした | |
| 少人数であったので、活発に意見が出せて良かったのではないかな。 | 分科会方式は継続して良いと思います。 |
| 少人数だったので、それぞれの先生のお話をじっくり聞くことができて良かったです。企画・調整ありがとうございました。 | |
| 年に 1 回、人間関係学部の教員の皆様と意見交換をする場があり、先生方から聞くお話はとても貴重な時間となりました。今現在の学生の特徴や流行りなど色々な共有をし、これからの実施方法や、ゼミ指導の共有をすることができました。とても良い時間でした | 新しい体制での人間共生学部としての 4 学科の強みを見つけられるテーマを考えてみたいです。 |
| 内容、実施時期・方法において、大変良かったと思います。 | 今年と同じでよいと思います |

VIII 学友会代表とFD委員会・教職員との懇談会

例年に引き続き、多摩キャンパスの学生代表（学友会）と教職員による懇談会を開催した。様々な意見や要望を共有した。学生が充実した学生生活を送ることができるように図ることを目指して実施された。

1. 日 時：2025（R7）年 12 月 12 日（金） 12:20～12:50

2. 開催方法：対面 7号館4階会議室

3. 出席者：

・**学友会代表（役員と学友会委員）16名**

多田茉央（大人心3A：学友会会長）・藤巻由紀（大人心3A：副会長）・大野心愛（大人社3A：副会長）
加藤莉奈（大福3A：副会長兼会計長）・酒井りな（大人心4B：会計監査）・中村琴乃（大人社3A：会計）
原口莉里（大福2A：会計）・吉住優（大人社3B：広報）・竹馬栞（大人心3A：広報）・道佛朱璃（大人心2B：広報）
菅沼真帆（大人社1A：広報）・原島朱莉（大人心3A：書記）・小山果蓮（大人心2A：書記）
関谷ゆき乃（大福1A：書記）・小松亜美（大人心1A）・弓田香織（大人心1B）

・**教員（FD委員）と職員7名**

福島哲夫（人間関係学部長代行/FD委員長代行/人間関係学科長）・上野優子（人間福祉学科長）
牛山美穂（人間関係学科社会学専攻）・原野かおり（人間福祉学科）
岩下忠司（多摩事務部長）・星基大（総務・財務G課長）・乾真太郎（学生就職支援G）

4. 内 容

学友会役員から資料に基づき、報告ならびに提案があった。

<報告・提案>

① 学友会活動報告

新入生歓迎会を皮きりに毎月の活動として、ピアサポート、個別相談会、前・後期総会、七夕・クリスマスツリー装飾、スクワランオイル配布、リーダーズキャンプ・学生と学長との懇談会、大妻多摩祭をはじめ、定期活動として、移動販売（月2回程度移動車に来てもらう）SNS更新やオープンキャンパス時のおしゃべりラウンジの実施、花植え（月1回程度）等の活動報告があった。

➤授業や実習中の傍ら、様々なイベントの活動を行っていることに敬意を表す。オープンキャンパス時のおしゃべりラウンジは、大学広報の上でも非常に有効的で、ポジティブな反応があった事、教職員も頼りにしている旨報告された。今後においても、継続をお願いしたい。

② 学長との懇談会において上がった議題

・4号館、5号館、6号館にウォーターサーバーを増設してほしい。

▶水道管が引き込まれている位置を考慮して、安全な場所を確保する必要がある。予算の関係で、6号館に1台設置する方向で検討する。

・生理用品の無料ディスペンサーの設置を導入してほしい。

▶学生支援G（千代田キャンパス・多摩キャンパス）としても検討中である。

・2026年2月または3月に、入学予定者の歓迎イベントの開催を検討してほしい。

▶学友会が主体となって開催することは賛成したい。時期については、3月のしかるべき日時を検討することとなった。

③ 学友会総会について

例年、学友会総会の参加者人数が少ない。これまで様々な対応策を検討してきたが、打破できる内容に到達していないので、今後も継続的に検討する。なお、学友会組織は自治組織であるため、教員からの干渉がおきないことは理解できているが、総会のある時限の授業は実施されず補講が行われるため、先生方にも時間的余裕があると考えられる。機会をみつけて、先生方には総会がどのように行われているかなど、少しの時間でも良いので観に来ていただけるとありがたく感じる。

▶教員は直接干渉しないとはいえ、人間関係学部としての同じ立ち位置でもあるので、時間的に余裕のある教員や、一度も見たことの無い教員は、雰囲気や活気を感じてもらえるように参加を促したい。

④ その他

昨年度、検討事案となった多摩キャンパス内での車いす移動における、昇降式機器の導入については、福祉学科の先生方に相談した。結果、使用に際し、安全のために事前講習の受講を推奨するとの意見があったこと、使用の頻度について限定的であり値段も高額である旨、意見をもらった。結果、学友会内で検討し、使い勝手がそぐわないとの判断もふくめ、駅等で見かける収納式スロープを導入することが良いのではないかと考えている。

▶高い段差に対応するスロープは、今後も検討してほしい。

以上

IX 非常勤講師との教育懇談会

人間関係学科

令和7年度の授業担当者懇談会は、5月24日土曜日の午前10時30分から12時まで、社会学専攻、社会・臨床心理学専攻とも ZOOM にて行われた。参加者は、社会学専攻が、専任7名と非常勤講師5名。社会・臨床心理学専攻は、専任4名、非常勤講師5名、助手1名が参加した。

交わされた質疑は以下のとおりである。

(社会学専攻)

授業全般に関わること

- ・リアクションペーパーの意義が大きい。学生がほかの学生の意見を聞きたがっている。
- ・ユニパの出席認証コードを黒板に書いたら読みにくいという声があった。認証コードがうまく登録できない学生が少数いる。毎回、7114 教室で、2人ほど認証コードがうまくいかない学生がいる。

回答：

- ・7114 教室（教壇からみて右前）で登録できない学生が多かったので、事務に伝えて改善してもらったが、まだ電波の関係でうまくいかない学生がいるのかもしれない。認証コードが正しいものでないと出席にならない設定に教員ができる。manaba の個別認証機能を使い、UNIPA で登録できなかった旨送ってもらえれば出席にするという形にした。
- ・学内で友人から認証コードを送ってもらって教室外から入力しているのを見つけた。厳罰に処罰したり、紙のリアクションペーパーを配ったりした。
- ・何度かトライすると出席できる場合もあるので、何度か試すよう学生に伝えた。うまくいかない人にはその場で挙手させて紙で提出させていた。（後からは受け付けない。）
- ・同じ学生が何度も入れない場合は、スマホを再起動すると入れる。

- ・文献をどの程度読ませるか。問題意識は高い学生がいるが、そこまで文献を読まない印象がある。
- ・細胞や DNA レベルの話になってくると引いてしまう学生もいるが、対面で学生に直接レスポンスできるのはいいと思っている。
- ・「恍惚の人」の文献と映画を見せている。70 人履修者がいるがグループ分けしてディスカッションと発表をさせて、とてもよくできている。

要望：板書をスマホで撮影する学生が増えている。撮影は禁止していないが、人には見せないように注意している。できれば大学でも授業内容を撮影したものは外に出さないよう指導してほしい。

学生について

- ・学生に教務課に行くようにといたら、教務課がどこかわからないといわれた。
- ・「日本文化・事情」は留学生優先と聞いていたが、ずっと留学生はおらず、今年ようやくはじめて留学生がいた。

回答：

- ・最近の学生はリアクションペーパーの質が上がってきたように感じる。
- ・あまり学生の質の変化は感じない。毎年違うが、継続した変化としては感じられない。
- ・多摩キャンパスは留学生 2 名程度しかいない。

配慮学生について

意見：

- ・配慮学生に資料を送っても受領の返信がないので、返信するよう伝える予定。遅刻についても指導していきたい。
- ・資料を読んでコメントをもらう形で寛容に成績をつけている。
- ・漫画アニメの授業をやっている。配慮学生に、授業に出席せず資料を読むのみでコメントを出されると困るが、今のところ配慮学生はいないので問題はない。
- ・集中講義のときにうまく対応できなかった。ゲストスピーカーを呼び参加型でやるものだったので、出席が難しい状態だった学生に、代替課題だけで単位は出せないと伝えた。

回答：

- ・授業内容によって配慮の内容はケースバイケースなので、来られない学生についても、その人による対応が必要。

デジタルデバイスについて

- ・生成 AI について。大妻の学生は自分の言葉で書いている印象はあるが、AI を使っている学生にどう対応するか。

回答：

- ・卒業論文に関しては AI を使う学生への対応をすでに考えている。

その他質問

- ・共学の他大学と比較して女子大の大妻の印象はどうか。

回答：

- ・他大学だと印刷機が何台も並んでいたりするので、大妻は設備面で少ない面もあるが（印刷機が 1 台しかないのは緊張感がある）、大妻のアットホームなよさを活かして行ってほしい。
- ・理屈っぽい男子学生がいない。
- ・ジェンダー関係の話をするとコメントシートの白熱度が高い。
- ・共学でも女子学生でも、授業内容に関してはあまり差は感じない。

(社会・臨床心理学専攻)

授業全般に関わること

- ・必修の授業内の居眠り、グループワーク内でコミュニケーションが取れているか気になる。
- ・授業へのコミット感の低さ
- ・課題への遅延への対応(公平性)

要望：

- ・堂々と机に突っ伏して寝ている学生にどのような対応をしているか?どのように注意をしたらよいか?
- ・課題の全体量は、どのくらいになるのか?どのような工夫があるか。

回答：

工夫として以下が有効と思われる：

- ・授業開始の小テスト、小休止&ストレッチ、余談をはさんでみたり、問いかけをはさんでみる。どんどん課題を展開していく。体調の確認。
- ・毎週の課題、授業外課題の割合は、授業によって違う。テスト・レポートをサンドイッチ方式。課題の遅延に対しては、数値化した基準をしっかりと示していく。

授業の出欠に関わること

- ・グループワークの実習・演習に関してシラバスの確認と理解の不足があるように思う。
- ・連続性のあるカリキュラムを構成しづらい。

回答

できるだけ、1 コマ内で収まるような内容で進めるようにしているが、一方で連続性のカリキュラムには限界がある。

manaba について

課題のリマインド機能はあるか?

回答：

未提出の課題のマークが出る仕様になっている。

施設・設備について

- ・教室の大きさをカリキュラムに合わせて、学期中に変更する事は可能か?

回答

随時、共同研究室に相談していただきたい。また、同科目の教員にもご相談いただければ、学務からの告知もできる。

学生について

- ・アルバイトをしている学生の睡眠不足の可能性もあるように思う。
- ・学生と経済活動の比重の変化が見受けられる。学費や生活費の捻出の変化がみられる。
- ・寝る前のスマホは 控えられたらよくなるだろうか?

デジタルデバイスについて

- ・ PC 端末関連については、Google ドライブやデータ保存方法についての理解度がどれほどついできているか?

回答：

- ・ クラウドの重要性など教育はしているが、2 割弱は、理解度が低い様子。
- ・ Google で共有作業できるとよいなと考えているが、manaba との利用の競合・混乱も散見される。

人間福祉学科

*開催日時：令和7年5月24日（土） 10時00分～11時00分

*開催方法：オンラインミーティング「Zoom」

*出席人数：専任教員 10名 非常勤講師 5名

はじめに、学科長より挨拶があり、本学科に対する協力への感謝の意が述べられた。続いて、人間関係学部長からの動画メッセージを視聴した。その後、参加頂いた非常勤講師から自己紹介があった。続いて教務委員より、「前・後期の履修取り消し期間について」、FD委員より「授業アンケートについて」、障害学生支援委員より、「修学に関する配慮願の対応について」、FD委員より「授業改善のためのアンケート依頼」等について、実習委員より「実習による公欠について」説明があった。

○意見・要望等について

- ・私語もなく、熱心に聴いて取り組んでいる。
- ・最先端の情報を提供している。
- ・科目によっては、学年がバラバラであるため、統一がとれないことがあるが、最低限の内容が伝わるように工夫している。
- ・一般企業を希望する学生が就職活動に関して不安をもっている。4月1日の時点で6～7割の企業が内定を出しているというデータもあるので、学生に情報を伝えていきたい。

◎実習の公欠について、3回以上は稀であるか？また時期はいつ頃が多いか。

回答：・授業期間内の実習は、1～2回となるように、長期休暇中に計画している。夏季休暇中の実習の場合、実習が延期になる可能性もあるため、後期の授業開始後、1～2回欠席となる可能性がある。学生からの連絡は、実習終了後になる場合があることを申し添えた。

- ・授業期間中の実習による欠席が3回以上となる場合は、あらかじめ連絡するが、学習の不足分のご指導を依頼した。

◎成績の評価の比率について知りたい

回答：S評価とA評価の対象者がいる場合は、S評価10%、SとA評価併せて50%でお願いしたいが、その他の評価の比率については設けていないことを説明した。

◎欠席が多くなってきている学生がいる。担任の先生がどなたか知りたい。

回答：担任についてお伝えし、個別でご相談を受けることを伝えた。学籍番号の見方について補足説明し、入学年やクラスが識別されていることを説明した。

◎新しい学科の科目や新しい学科と福祉学科との関連性を知りたい。

回答：資格、実習関連の違いについて説明したが、その他詳細については、別途説明する旨説明した。

X 人間関係学部におけるFD活動の課題

今年度は、長らく続いたコロナ禍の影響を乗り越え、対面授業が完全に定着した一年となった。学生たちの表情を直接確認しながらの授業は、教育の本質である「双方向の対話」を再認識させる機会となったが、一方で、デジタルネイティブ世代であり、かつコロナ禍を経験した学生たちが抱える「リアルな対面関係への心理的負担」を汲み取る、きめ細やかな関わりも求められた。

本学部のFD活動は、各種委員会、事務部、学友会との強固な協働によって継続されてきた。Googleフォーム等を活用した業務の効率化は定着し、授業改善アンケートに対する教員からの前向きな回答も高い水準を維持している。昨年度課題となった教室のAV機器等の環境整備についても、各部署との緊密な連携により、速やかな共有と改善のサイクルが構築されつつある。オンライン化によるアンケート回収率の向上という課題は依然として残るものの、多摩キャンパス独自の創意工夫により、学生の満足度向上に向けた具体的な施策が展開された。

今年度のFD研修会では、昨年度の成果を継承し、対面でのスモールグループによる対話を軸とした。学科や専攻の垣根を越え、教員同士が教育・研究の在り方やワークライフバランス、さらには急速に普及するAIツールの活用法などについて雑談を交えて語り合う時間は、一人のアイデアでは到達できない教育の質的向上をもたらした。

さて、いよいよ来年度、令和8年度からは本学部を改組し、「人間共生学部」として新たな出発を迎える。これまで「人間関係学部」として積み上げてきた教育研究の資産、そして教職員間の厚い信頼関係こそが、新学部における「共生」の土台となるものである。長年、本学部の発展を支え、変革期においても尽力し続けている全ての教職員の皆様に対し、この場を借りて深く敬意を表したい。

最後に、本学部を支える教員、助教、助手、学務助手の皆様のご多大なる貢献に心より感謝を申し上げます。それぞれの専門性と能力を活かした「適材適所」の連携こそが、人間関係学部としての掉尾を飾り、輝かしい「人間共生学部」の未来を切り拓く原動力となることを確信している。

【資料編】 01

【オフィスアワー・クラス指導・教員個々のFD活動：人間関係学部専任】

| 氏名 | ★オフィスアワーに関する意見・感想 | ★クラス指導の現状 | ★クラス指導で工夫している点 | ★クラス指導に関する意見・感想 | ★参加または企画した学会・研修会等 | ★授業で活用するために作成した教材・テキスト等 | ★教育内容に関する質の向上に向けた取り組み |
|--------|--|---|---|--|---|--|--|
| 伊藤 美登里 | 主として、学生の履修指導などで活用された | 評定平均の低い学生のうち、対面での履修指導を第一とし、それが難しい学生については、メールでの指導を行っているが、何人かは、メール連絡も返信がない状態である。 | 評定平均の低い学生で、メール連絡に回答がない学生のうち、他の先生から、メンタルの調子がよくないとの報告もいただいているケースもある。学生の精神的負担にならない程度を考えながら、連絡をしよう心掛けている。 | 大半の学生は元気に勉学に励んでいることを大変うれしく思っています。 | 全学FD研修会および学部FD研修会へ参加した。 | 講義科目やセミナー系科目の配布資料について、要点が分かりやすいよう、下線や太字、カラーの活用、イラストの活用して理解を促す工夫をしている。 | 講義科目に関する最新の情報を入手し活用するよう心掛けている。 |
| 井上 修一 | オフィスアワー時間以外でも、就職、実習、履修等、個別相談を行った。対面以外では、メール、manaba、ZOOM等を併用した。 | 教室での様子、学内での友人関係等を把握しながら、個別に対応できるように工夫している。今年度は、ご家族からの相談もあった。ご家族とは対面での相談の他、学生相談センターとも連携しながらメールによる情報共有、ZOOM面談も実施した。メール相談も、通年にわたり20通以上のやり取りとなった。事情により出席が難しい場合の対応に苦慮した。英語や国家試験の指定科目等、出席が必須の場合、代替措置が難しかった。学生間の人間関係も時代に応じて変化しており、SNSによる学外でのトラブルも見られ、介入の難しさを感じた。 | 卒業年次であったため、より入念に履修指導に取り組んだ。さらに、半期ごとの履修指導の際に対面で会うと同時に、普段から相談にのれるように全体に広く呼びかけるようにした。 | 学年があがるにつれて、少しずつ多くの学生が研究室に来てくれるようになった。 | ・第44回日本看護科学学会(新潟)に共同研究者として参加した。・12月12日(金)に開催された人間関係学部FD研修会(第1分科会)「授業の展開の方法～AIツールの活用と課題など～」に参加した。・12月18日(木)に開催された全学FD講演会「生成AIを授業にどう活かすか」に参加した。 | ゼミでの資料提示方法、レポートの書き方、卒業論文の書き方、AIを活用した先行研究レビュー方法等について、教材を作成し配布した。 著書『介護福祉士国家試験解説集』(中央法規)内容:「社会の理解」を分担執筆した。「社会の理解」では、日本国憲法をはじめとするわが国の法制度の歴史、憲法の中でも生存権の理解、福祉六法の成立過程、障害者自立支援法の成立年、社会福祉法のポイントなどを解説した。作成した教材は授業等で知識を確認するために活用した。 | manabaのrespon機能を使い、双方向授業に努めた。 |
| 上野 優子 | 設定したオフィスアワーの時間帯以外でも、訪れる学生は複数いた。特に、行事が予定されている前後は、対応する場面も多いが、例年と同様の回数であったと思われる。 | 1年生のクラス指導主任として対応した。1年次の前期、必修科目を担当しているため、毎週、対面で学生と接触できるのでその点についてはやりやすかった。 | 授業やクラブ活動、大学行事を通して学生の様子を知ることができるので、該当学生を生かして学生の状況を把握するようにしている。 | グループで授業を欠席しているようだと情報をもらったことがあるので、該当学生には対面で注意を促した。なお、学生はすぐに研究室に訪れたり、素直に話を聞いてくれるので、その点、見守りながら指導をしたいと思っている。 | 全学FD研修会、学部FD研修会等に参加をした。多様な意見を聞くことで参考になった。 | 視覚障がい者、車いす、高齢者体験実施におけるテキストの作成を行った。 | 健康やスポーツ実践系は、その時々々の場面によって解釈などが目まぐるしく変わるため、研修会の参加はもちろんのこと、他大学との教員間での情報交換は欠かせないので常に行っている。 |
| 牛山 美穂 | オフィスアワーは押印などの事務的な用事で利用されることが多かった。 | 成績が振るわない学生に対する指導や休学からの復学相談などを行った。 | できる限り学生のサポートになるよう努めた。 | GPAの低い学生に対する対応で、うまく相談につながる学生もいれば、連絡が取れない学生もおり、難しかった。 | FD研修会に参加し、AIの利用について先生方の意見をまとめながらファシリテーションを行った。 | 質的調査の手法、レポートの書き方、レジュメの作り方、卒論の書き方等について独自の教材を作成し学生に配布した。 | 相互のやり取りが難しい講義科目に関して、学生からのコメントを必ず求め、それに対していくつか選んで紹介しつつこちらからもコメントをするという形で、できる限り相互のやり取りをしよう心がけている。 |
| 大坪 美香 | 担当なし | 担当なし | 担当なし | 担当なし | 学内では全学FD研修に参加し国内では、医療と福祉の連携について、事例報告のデータを調査し、今後の課題について発表した。 | 特になし | 学会への参加や学内FD研修及び学会活動に参加して学んだことについて、取り入れられる内容を参考に、教育の質の向上にむけて取り組んだ |
| 小川 浩 | 木曜日にしか多摩に来ていないため、学生は相談がし難かったと思う。1件だけ、ジョブコーチに関する質問で、オフィスアワーの申し込みがあり、対応した。 | 無し | 無し | 無し | 日本職業リハビリテーション学会で、政策委員長として、障害者就労支援士に関するシンポジウムを開催した。 | 授業で使用するパワーポイントは毎年度見直し、アップデートしている。 | 現在、ジョブコーチ養成課程に関連する授業を中心に担当している。知識修得を重視した講義、外部講師による実践領域のイメージ化、演習を通じた基礎スキルの修得、そして現場実習が体系的に進むよう、常に授業間の関連性を意識して取り組んでいる。 |
| 尾久 裕紀 | 授業に関する質問等はオフィスアワー以外でも受けていた。 | 無し | 無し | 無し | 第98回日本産業衛生学会(2025年5月14日-17日)参加、第93回産業保健研修会(2025年11月28日)に講師として参加、『職場におけるパワーハラスメントのグレーゾーンとその対応』 | オリジナル資料をすべて見直し大幅に改定した。 | 1)manabaを活用し、オリジナルのドリルを作成し、実施した。 2)授業の積極的学びを推進するための工夫を試みた。(参考図書、文献の紹介など) |
| 小野 聡士 | 無し | 無し | 無し | 無し | 【学会参加】第49回自殺予防学会総会に参加した。また、日本カウンセリング学会第57回大会にてポスター発表を行った。【研修会参加】学内では、学部FD研修会及び全学FD講演会に参加した。学外では、講師として以下の研修会等に参加した:第23回子どものこころからたの問題を考える～学校関係者と学校医のつどい～(松本市医師会・教育委員会共催)、2025年ゲートキーパー研修会(墨田区薬剤師会・保健予防課共催)。 | 公認心理師養成課程の科目である「心理実習」において、学ぶべき内容、受講する上での留意点などを記述した『心理実習ガイド』を2025年度版へ更新・配布し、実習生の適切な学習の促進に役立てた。 | 社会・臨床心理学専攻の実習担当教員らと、本学における実習教育について協議する会議を定期的に関き、実習生に関する情報共有及びより質の高い実習を行うために求められる事項等について検討した。 |
| 春日 文 | 学生対応の時間として有意義に活用しています。対面とZoomを適宜使い分けています。 | 今年度は3年生担当であり、主に成績が不安定な学生への個別指導を例年通り行っている。留学を検討中の学生への個別相談なども行った。 | 成績の事だけではなく、大学生活一般の悩みや将来に対する漠然とした不安など、クラス指導として対応可能な範囲内において、開かれた姿勢で対応することを心がけている。 | 特にございません。 | 第44回日本心理臨床学会大会にて「保育現場における臨床心理学的支援の検討-「気になる子」に関わる保育者に着目して-」というテーマで自主シンポジウムを実施した。 | 書籍の出版はございませんが、授業内容の更新や資料の見直しなど、各授業の取り組みに合わせて行っております。 | 地域の保育現場で短期の活動をしたり、実際に子どもと触れ合う機会を設けるために、多摩市内の園と連携を継続している。共生社会文化研究所での「保育現場における臨床心理学的支援についての研究」についての研究成果などをゼミ生と共有して、現場の状況を伝えるとともに、自分たちができることについて検討した。 |
| 香月 菜々子 | 学生のニーズに基づいて対面での面談を実施。講義内容の質問や、今後の進路の相談(大学院進学等)を受けた。メールによる事前予約制を導入しスムーズな運営となった。 | 無し | 無し | 無し | ○参加①日本描画テスト・描画療法学会第34回大会(口頭発表) ②日本箱庭療法学会第38回大会(指定討論担当)③Jungian Psychotherapy Dream Seminar in St. Albans, England 2025(口頭発表)など ○企画①芸術療法学会研修セミナー(医師&心理士ほか対象) ②東京少年鑑別所心理査定講座2025(法務技官対象) ④公認心理師&臨床心理士資格試験練習会 など | 1)人間関係総論Ⅱ:オンライン授業用の動画資料をあらたに作成 2)キャンパスライフ・メンタルヘルス:自著テキスト「キャンパスライフ・サポートブック」(2019)の内容を発展させたレジュメを作成。自記式で重要なポイントを空欄とし学生の理解が深まるようデザインした。 3)大学院授業の教材の作成および改訂:「投映法の概要」および「心理所見の書き方」の改訂を実施 | リアクションペーパーの提出を求めることで学生の主体的な学びを促し、翌週の授業で教員から口頭でフィードバックし授業内容の理解を深めることに役立てた。授業前後に質問タイムを設け、講義に関する質問を積極的に受け付け、説明や対応を行った。Responの活用を通じて講師と学生との間、学生同士の感想や意見の共有を可能にしたところ。30～50名規模の講義においても活発な議論が可能となり、多角的な視点を養えるなどの利点が生じた。 |
| 金 美辰 | 相談に来る学生が多く、オフィスアワーの時間では不足しているため、オフィスアワーの時間にこだわらずに学生相談を行っています。 | 多様な困難を抱えている学生に対し、定期的に個別面談を実施しています。また、学生の状況や状態に合わせて、保護者とも連携しながらクラス学生への指導を行っています。 | 多様な困難を抱える学生に対し、個別の事情に寄り添った支援を目指しています。個別面談を通して心理的安定の確保を最優先としています。また、一人で抱え込まず、学内のカウンセラーや専門部署と密に連携する体制を整えています。 | 家庭事情が複雑になり、心理的・精神的な悩みを抱える学生が増加しています。関連部署と連携した支援を行っています。 | 研究と教育への新たな展開～多様な技術を活かす方法 part 2～ | 授業資料は、学生のレベルに合わせて毎年作成しています。福祉制度の理解から具体的な事例の分析等、学生が能動的に参加できるように工夫しながら教材を作成しています。 | 学内外のFD研修に参加するとともに、福祉の現状を踏まえた教育ができるよう、福祉現場の方との意見交換を積極的に行っています。また、リアクションペーパーやマナバ等で学生の理解度を確認し、理解度を踏まえた教育ができるよう取り組んでいます。 |
| 木村 絵里子 | 無し | 2B 1年生の頃に、友人がいなくて悩んでいた学生がいたが、その悩みが解消されたようだ | 面談や話を聞く機会をつくっている | 面談や話を聞く機会を評価の対象にしていたけるとなおいと思う。 | 2025年6月に27th Congress of the World Association for Sexual Health (WAS)でポスター発表し、諸外国と日本の研究内容の違いが明確になった。 | 13章「観光」としてのインスタグラマブルの階層越境(ラグジュアリーホテル/アフタヌーンティー)『無印都市の社会学Ⅱ』(法律文化社)所収 学生にとって身近な「アフタヌーンティー」を題材に、現代の都市経験について考察した。 | 女子大学ならではの授業を実施するための取り組みとして、授業内でアンケートを行ったり、学生に聞き取りを行っている。調査結果は現在まとめている最中である。 |
| 久保田 滋 | 依然として、学生によるオフィスアワーの利用頻度は低いままであった | 成績の低い学生への指導を随時行っているが、メール等の返信が無いものもあり、アプローチに苦慮していることもある | クラス懇親会費が得られた年は、TEPの講師を招いて開かれたコミュニケーションの機会を設けた。 | クラス懇親会費の用意がなくなったので、それにかかわる機会について検討していく予定である。 | 学院、学部が開催したFD研修会に出席し、特に学部の会合では、教員相互に積極的な議論を行った。 | 授業毎に、レジュメとテキスト、manabaを運動させ、学生の理解を深め、予習・復習ができるように指導した。 | 演習系の授業において、学生によるグループワークにmanabaを用いつつ、授業時間内外での学生同士のコミュニケーションを促すことを試みた。講義系の授業でも、manaba等を用い、学生からのフィードバックを求め、それについて、主に授業を通じて、さらに説明を加えるなど、双方向性を担保できるようにした。 |

| 氏名 | ★オフィサーに関する意見・感想 | ★クラス指導の現状 | ★クラス指導で工夫している点 | ★クラス指導に関する意見・感想 | ★参加または企画した学会・研修会等 | ★授業で活用するために作成した教材・テキスト等 | ★教育内容に関する質の向上に向けた取り組み |
|--------|--|--|---|--|--|--|--|
| 蔵野 ともみ | 今年度は他学科の学生が数名が、個別に訪ねて来られたり、メールでのご連絡でした。内容は、ご自身の学科のこと、大学に関することであり、ご本人に承諾を得て、個人が特定されない形で、関係者にご報告を行いました。他学科の教員だからこそできることもあるのだと感じます。本学科学生が紹介してくれたようです。 | 無し。 | 無し。 | 無し。 | ①日本ソーシャルワーク教育学校連盟の「社会福祉士・精神保健福祉士演習教員研修」の研修講師、認定社会福祉士養成研修・更新研修の企画・講師を行った。②精神保健福祉士及び社会福祉士の実習先である医療機関のソーシャルワーカーの実習指導に関するグループスーパービジョンを企画・実施した。③認定社会福祉士のための個別スーパービジョンを2名に対して各6回ずつ実施した。 | ①全ての講義・演習科目において授業で配布するレジメは全て見直し、データの更新、新たな事例等を示す等、一新しました。また、演習科目で活用する事例について現場のソーシャルワーカーと協働して作成しているため、打ち合わせを行い、新たな事例を作成しました。 ②演習科目についてテキストを執筆しました。 | ①講義科目については、毎回の予習・復習及び小テスト実施後の課題をそれぞれ提出してもらっているため、個別にコメントを付けて、返却を行っている。 ②実習指導科目については、半年をかけて学生個人が福祉保健医療現場で役立つ社会資源集を作成しているため、月1回進捗状況を確認し、コメントと修正・追記の指導を個別に行っている。 |
| 嶋貴 真人 | 例年と同様に、学生が個人研究室を訪ねて来るタイミングについては、オフィサーとは無関係に決まることがほとんどであった。 | 2025年度は2年生のクラス担任であったため、国家試験の受験資格取得を目指すかどうかという問題や、3年生以降のゼミの選択をどうするか、といった内容の相談が多かった。 | 指導を行った学生については「個人カルテ」を作成して、これまでの指導経過を見ながら対応するよう心掛けた。 | 頻繁に指導を行って面談の機会が多い学生と、そうではない学生との間で、教員側の情報量に非常に大きな差が出てしまっていると感じた。 | 全学FD研修会と学部FD研修会には、すべて参加した。後者の研修においては、ゼミの運営方法に関して他学科の教員と意見交換を行い、参考になる部分が多かった。 | 社会福祉学セミナーⅠ～Ⅳでは、毎回自作の資料を使った授業を行っているが、毎年新しいトピックを取り入れるために更新を重ねている。 | 授業終了後にリアクションペーパーを書いてもらう機会を増やして、受講生の疑問や興味・関心に丁寧に答えていくよう心掛けている。 |
| 田中 優 | 前期後期を通じて、GPAによる履修指導が必要な学生が多く、各学生が抱える問題も非常に難しいものがあった。また特定の学生が、来室していた。かなり個人的な問題をゆっくりと時間を掛けて話す形であったが、本人にとっては、必要な時間だったのだと思う。後期は、オフィサーの時間に卒論指導を求める学生が多く来室した。 | GPAによる履修指導については、必ず連絡をし、来室するように指導している。それ以外は、3年生であったため、ほとんどが事務的な手続きの押印などであった。 | GPAによる履修指導が必要な学生が多く、各学生が抱える問題も非常に困難なものが多いため、学生相談と連携している。 | manabaの個別指導コレクションは、未読・既読がわかり、また、記録としても残り、非常に使い勝手が良い。 | 全学FD講演会 令和7年7月29日(火)我が国の「知の総和」向上の未来像～高等教育システムの再構築～の答申を受けて(市川 博 学長) 全学FD講演会 令和7年12月18日(木)生成AIを授業にどう活かすか(豊田雄彦教授、広瀬啓雄教授) 人間関係学部FD研修会2025 令和7年12月12日 第1分科会 授業の展開の方法～AIツールの活用と課題など～ | 1)すべての授業において、授業内容を視覚的に説明するパワーポイントを作成している。 2)すべての授業において、毎回の授業内容に則した配布資料(PDF)を作成している。 | ゼミでは、2月に、4年生、3年生、2年生の3学年合同でゼミ合宿を行っている。4年生は、2年間の自身の学びを振り返り、ゼミ生との関係を強め、また、卒論、ゼミ活動、就活について、下級生に体験を伝えている。3年生は、卒論計画発表会を目標に卒論、就活との両立を目指す。2年生は、3、4年生をモデルとして、新年度に対するイメージを掴むことができている。 |
| 丹野 真紀子 | 4年生の利用が多くありました。また、専門実習の学生もよく利用していました。オフィサーの時間に相談に来る学生も多いですが、マナバやメール、研究室に直接来る学生も多いため、時間を調整して学生の相談に対応しております。 | 3年生については、成績が心配な学生には、個別面接をして対応しました。友人関係に恵まれ、友人にサポートしてもらいながら頑張っている様子がうかがえます。 | 指導内容に応じて、学科の先生方と情報を共有し、連携しながらの指導を心掛けています。 | 丁寧な指導を必要とする学生が増えたと感じています。 | 1. 全学FD研修会、および学部FD研修会に参加した。2. 日本医療ソーシャルワーカー協会の基幹研修Ⅱ「事例検討の方法と実践の検証」8月17日と10月19日の2回にわたり、5年以上のMSWに対して事例検討の方法について講義した。3. 社会福祉実践に関わる研究会の実施：毎月1回、社会福祉士等の相談員らと最新の社会福祉現場の実情、支援の実態についての研究会を主宰した。 | 「ソーシャルワークⅡ-A」「ソーシャルワークⅡ-B」「ソーシャルワーク論Ⅲ-A」「医療福祉論」の4科目は配布使用を改定し、最近の現状に合った事例を提供するため、新しい事例を加えた。 | manaba・リアクションペーパーを使用したフォローアップを心がけている。特に、質問は次の授業で取り上げ、解説を加えた。演習科目での専任教員と非常勤教員との連携について、共通シラバスを作成し、教育内容、授業展開の共有化を試み、学生がどの教員が担当することになってもしっかりレベルの教育の質を確保できるよう調整した。 |
| 原野 かおり | オフィサーを利用して来る学生もいますが、オフィサー以外の時間で事前に連絡して相談する学生もいます。そのため、オフィサー以外でも対応しています。 | 前期・後期それぞれで面接を計画しましたが、人間関係、健康問題について、履修相談等について、個別指導を行いました。 | できる限り、対面で面談をするようにしています。オフィサー以外でも相談に来るように伝えています。 | なるべく早めに対応するようにはしていますが、毎日全学生の出席状況を確認できないため、気づいた時には連絡が取れなくなり困りました。非常勤の先生から気になる学生の情報提供をいただいていた早めに対応できたこともありました。 | 所属学会の大会および研修会に参加して、情報交換を行っています。 | 教材開発についてはいつも意識し、常に新しい情報を提供できるように、情報収集しています。授業は毎年同じ内容にならないように常にアップデートするようにしています。その都度資料を作成し、希望に応じてmanabaへのアップロードがハンドアウトにしています。 | 学内での情報交換、非常勤講師との情報交換をしています。また、他大学の教員と教育内容の情報共有を行っています。 |
| 飛田 和樹 | 他学科専攻の学生も含め、オフィサーは活用してもらえた。一方、オフィサーを意識している学生は少数で、オフィサー以外の時間帯に随時相談等に対応した。 | 資格・実習、進路、大学生活について適時面談、相談に対応した。3年次からはゼミ教員との関係が形成され、クラス指導主任への相談は減少する。一部の学生は引き続きクラス指導主任として相談に来ており、主に進路相談やES添削などに対応した。 | 個別の相談・指導は必要に応じて対面・オンラインを併用した。学生が教員に求める関わり方・密度のニーズは個々に異なるため、アセスメントしながら関わるよう努めている。適時、学生相談センターと連携を図った。 | 特になし | 学内では、学部FD研修会、全学FD研修会に参加した。学外では、所属学会(日本老年社会科学会、日本社会関係学会等)の大会や研究会に参加して最新の知見を蒐集した。 | 当年度は23・24年度に担当経験のある科目を担当したため、既存の授業資料および内容を精査・リニューアルした。複数教員による同名科目についても、授業の狙いに沿って協議しながら内容を調整するとともに、個々の教員に裁量がある範囲については独自資料を作成して学生の学修促進に努めた。 | 学生に自身の研究成果や他の研究をもとにした最新の知見を提供できるよう研究活動に取り組みとともに、社会福祉の動向や一般社会・地域の趨勢についても情報を蒐集し、それらを教育内容に反映させることで質の向上に努めたい。 |
| 福島 哲夫 | 時間帯、利用状況ともにもちょうどよかったと思う。進路相談やゼミ選択に関する相談が数件、後期は卒論に関する特別指導などもあった。 | GPA指導に関しては、呼び出しに応じてくれない学生が多く、大変苦慮した。 | manabaの個別指導コレクションとメールの両方を駆使しているが、それでもなかなか呼び出しに応じてくれない学生が多いため、非常に苦慮している。 | 学生呼び出しに関しては、今後助手さんの援助も仰ぎたい。 | FDに直接関連するものは特になし | 「プロカウンセラーの人を見る技術」(創元社)を出版して、参考図書として使用した。また、実際のカウンセリング場面を録画し、その逐語も作成して、教材として使用した。 | 前述のように、できるだけ実際のカウンセリング場面を、図書と動画・逐語録の両方を通じて知ってもらうため、教材作りを工夫した。 |
| 古市 孝義 | 無し | 無し | 無し | 無し | 第25回人間福祉学会への参加「聞き取り調査からみる訪問介護事業所のサービス提供責任者の考える利用者や利用者家族からのハラスメントの発生要因と対処・対策に関する研究」を発表した。 | 2025年11月8日(土)開催の大妻女子大学中学校ハンディキャップ体験の参考資料の作成を行った。 | 実習が円滑に進められるように実習施設とのコミュニケーションを密に行うことを意識している。 |
| 古田 雅明 | 今年は3年生Aクラスを担当していたので、多くの学生はゼミ指導教員に相談するため、昨年よりは相談が少なくなりました。相談は公認心理師養成課程履修登録に関連した相談や学部や大学院のゼミ生が卒論、修論あるいは進路に関する相談で来室することがありました。一部の学生とはオンライン面談をしましたが、基本は対面でした。昼休みに実施したので学生が利用しやすい全体に有効に機能したと思います。 | 3年Aクラスのクラス指導は、退学や休学、履修相談などもあり、配慮が必要な学生の場合は、学生・就職支援グループや学生相談室のスタッフと連携しながら、学生支援をしました。昨年度よりも連携がスムーズにできたと感じました。 | カウンセリングを専門としているためか、学生からメンタルヘルス相談を持ちかけられることもありますが、カウンセラー的な対応にならないよう職業的立場の境界を保ち、あくまで大学教員として対応するよう工夫しています。また学生から面談や電話相談等の希望があった場合は、なるべく早くその機会を持つように予定の調整を行っています。 | クラス指導は1学年にAクラスとBクラスがありますが、大学教員として経験が長い教員と若手の教員とペアになると良いと感じています。 | 参加学会：日本心理臨床学会第44回大会においてポスター発表「心理アセスメントにおける中堅者の特徴—アセスメント報告書の質的分析から—」を行いました。日本精神分析学会第72回大会に参加しました。企画した研修会：年6回行う多摩精神分析研究会のアセスメントセミナーとグループスーパービジョンを企画しました。 | 「心理実習ガイド」「心理実習引率指導マニュアル」「臨床心理実習ガイド」の2025年度版を作成しました。内容は公認心理師・臨床心理士養成に係る実習の学生・院生向け実習ガイドと、教員向け指導マニュアルであり、臨床心理学系の教員と共同で作成し、実習系の授業に使用しました。 | 2025年度に開講した「ウェルネスの心理学」の授業研究として、2025年8月に関西国際大学が実践している動物介在教育に参加し、三木ホースランドパークで馬介在教育を見学しました。9月に専修大学人間科学部心理学科の3・4年ゼミと本学の3・4年ゼミとで合同ゼミをしました。各大学の卒業要項や指導方針を比較検討することで、ゼミ指導や卒論指導に関するFD活動を行うことができました。 |
| 千川 剛史 | オフィサーで研究室を訪ねてくる学生はなかった。それに比べて、メールでのやり取りの方が、学生にとって気軽に行えるため、問い合わせの件数が十数件あった。教員としても、メールでのやり取りは時間と場所に拘束されないもので、空き時間を活用して適宜きめ細かく対応ができたと思う。 | GPA1.5未満の学生に対しては、学期初めにメールで呼び出して履修指導を行った。また、休学や退学を希望する学生については、メールで呼び出し学生本人と対面した上で書類に署名捺印を行った。 | 担当クラスで問題を抱えている学生に対しては、適時、社会学専攻会議で状況を報告し、専攻全体の教員で情報を共有しながら、専攻主任と教務委員を中心に対応するようにしている。 | 身体的・精神的疾患や生活上の困難を抱える学生やGPAの低い学生の人数が、担当クラスに多い印象を受ける。 | 第98回日本社会学会大会ポスターセッション「『令和6年能登半島地震』被災地の復興イベントによる復興を目指して—復興イベント『一木杉復興マルシェ』の来場者アンケート調査と参与観察に基づく考察—」2025年11月16日(日)一橋大学「令和6年能登半島地震」被災地の七尾市の復興の実態と課題を復興イベントのアンケート調査と参与観察によって明らかにし、効果的な復興の方策を示した。 | 【テキスト】1.『現代と社会学』千川剛史著・同友館・2016年「社会学概論Ⅰ」(前期火4時限・木4時限)・「社会学概論Ⅱ」(後期火1時限・火4時限)で使用。『デジタル・メディアとネットワーク』千川剛史著・晃洋書房・2024年「情報社会学」(後期水3時限)で使用。 | 講義形式の授業(社会学概論Ⅰ・Ⅱと情報社会学)については、manabaを使用し、毎回の授業の課題を提示し、課題に関連した資料を掲載した。受講生には、教科書と資料を読んで課題に解答させmanabaに提出させた。担当教員は、提出された課題の解答の採点をし、主な解答を「コースニュース」に掲載し、次回の対面授業で主な解答について講評と課題に関する解説を行った。 |
| 堀 洋元 | 所属ゼミ以外の学生による卒論相談が数件あった。 | 1年AクラスのGPA対象学生について履修指導を行った。 | 履修指導の際はmanaba個別指導コレクションで連絡を行い、履歴が残るようにしている。 | 対面、オンライン、manaba、メール等、学生個々にコミュニケーションを取れる手段を工夫している。 | 学部FD研修会、全学FD講演会(前期・後期)に参加し、今後の授業運営に関する気づきを得た。日本心理学会、日本応用心理学会、日本災害情報学会の学会大会に参加し、得られた知見を授業内容に反映した。 | 授業内容のスライドを更新する際、イラストやアイコンを取り入れるようにした。卒業論文ポスター共通ビジュアル項目リスト、論文構造化シートを作成した。 | オンラインセミナーに参加し、得られた知見を授業に取り入れている。 |
| 本田 周二 | レポート執筆などに関する質問が多かったです。 | web申請対応が中心でした。 | 対面だけでなくメールやオンラインなど門戸を広げている点 | 連絡がつかない学生へのアプローチがいつも課題です。 | 学内のFD研修会に参加しました。 | 授業評価アンケートの結果を受けていくつかの授業で資料をリニューアルしました。 | 学内外の教員との情報交換 |
| 牧野 智和 | 特にありません。 | 成績不良の学生が一定数いましたが、大きな問題はなかったように思います。 | 成績不良者には複数回声をかけるようにしています。 | 特にありません。 | 学部FD研修会、全学FD研修会 | ちくまプリマー新書『社会は「私」をどうかたちづくるのか』筑摩書房など | 毎回の授業での学生からのフィードバックを踏まえて授業の内容・方法をつねに微調整しています。 |
| 山本 真知子 | 学生の大学生活のこと、就職についてや資格取得を目指す学生の相談に応じた。オフィサーをお昼休みに設定していることにより、オフィサーで対応できることが多いが、都合がつかない場合は別日での対応を行った。 | 2年生のクラス指導主任であったため、資格取得に関する相談を受けることが多かった。 | manabaで呼びかけを行ったり、個別にメールを送ったりして、いつでも相談ができる関係性のように心がけた。必要に応じて、面談を行った。 | 各事務部署との連携がとても必要であると感じる。詳細な個別対応も必要な場合もあるため、事務局や他の教員との連携が重要である。 | 参加した学会：子ども虐待防止学会、子ども家庭福祉学会 参加した研修会：学内の全学FD講演会の出席と後期の人間関係学部のFD研修会も参加した。 | | manaba・respon・リアクションペーパーを使用したフォローアップを心がけている。毎回リアクションペーパーで質問や感想を受けた後、質問に対して回答できる機会を作った。responでの過去問の出題、小テスト機能を使用した復習の機会を取り入れた。個別では、就職活動の相談だけではなく面接練習等もしている。 |

【資料編】 02

【授業改善アンケート集計結果に対する授業担当者の対応】 前期

| 氏名 | 科目名 | 授業の改善点 | 受講生への要望 | その他（本学の施設、設備、UNIPA、manaba、Googleフォームの使い勝手等） |
|--------|-------------------------|---|---|---|
| 伊澤 冬子 | 教育心理学(教育・学校心理学) | データや図表が見つからないとことでmanabaへの公開を希望する声がありました。対応したいと思っております。 | 特にありません。 | |
| 伊藤 美登里 | 恋愛と結婚の社会学 | 学生さんに発言を促めるやり方やライブの方法について、要望があった（大人数で仕方がないと思うがということも書き添えられていた）。大人数で、どのようなことが可能か、やり方をさらに考えてゆきたい。 | 特にありません | |
| 井上 修一 | 高齢者福祉論 | ポイントを小テストにするなど、よりきめ細かい授業運営に努めたい。 | 特になし | 特になし |
| 井上 修一 | 権利擁護と成年後見制度 | ポイントを小テストにするなどきめ細かい授業運営に努めたい。 | 特になし | 特になし |
| 井上 修一 | ソーシャルワーク実践入門 | 概ね良い評価をいただいた。ゲスト講師と事前学習の連携をさらにきめ細かく準備していきたい。 | 特になし | 特になし |
| 上野 優子 | スポーツと健康 | 教員からの講義内容が多かったため、もう少し、グループミーティングに費やす時間の確保が必要であった。 | 特にありません。 | 特にありません。 |
| 牛山 美穂 | 社会学基礎セミナーⅠ 社会調査及び演習Ⅰ | よく改善点はなかったが、丁寧なフィードバックと、ほかの学生たちの意見を聞く時間についてはぜひ続けてほしいという声が多かったため、今後も続けていきたい。 | 特になし | 特になし |
| 浦尾 和江 | 介護技術 | 授業外学習時間が30分未満が多く、事前学習、事後学習の課題の出し方について学生が取り組みやす工夫したい。 | 特になし | |
| 大西 典子 | 生活支援技術C | 自分自身の身体の動きを認識させ、他者に動きを支援されることで自分の意思の影響を理解させるようにした。 | みんな積極的に取り組めていたため、特にありません。 | 教室と介護実習室を交互に使用しました。介護実習室がきちんと整えられており使いやすかったです。 |
| 大西 典子 | 生活支援技術E | 死生観に関わる関心するテーマについて全員にプレゼンさせた。 | この考えをきちんと発表することができていて、特に要望はありません。 | 教室のパソコンが調子が悪いときがあり、助教の先生に確認していただいたことがありますが、教室の備品がきちんと整えてあってとても良かったです。 |
| 奥村 英一 | 科学と環境 | 授業では毎回「調べ学習」の課題を出していたが、本年度前期の途中から提出物を受講者で共有するようにしたところ思いのほか好評であったため、次回は最初からそうしたい。 | 高学年の学生さんが就活で休みを多くとる場合があったが、事務手続きを踏まれば出席扱いにならないことを知っていた。 | やむを得ない理由で休んだ場合に、manabaにアップロードした資料を添った確認テストを受けるといった代替措置を取りたい。manabaの小テストの締め切り日の設定に関して、レポートにある締切後の提出を認めるオプション(2つの期限設定)と同様の設定を小テストにも追加して欲しい。 |
| 小野塚 邦子 | 女性と企業 | 授業の理解を深めるために、予習・復習の課題の工夫が必要 | アンケートや課題の提出期限が守れない学生が一定数いる。また、ごく少数だが、文章力に課題のある学生が見られる。 | |
| 小幡 正子 | コンピュータ応用 Ⅱ | 各々のスキルとニーズの分析をさらに詳細に検討して実りある授業を目指します。 | 毎回の授業への熱心な取り組みをありがとうございます。今後ともさらに技術を磨いていきましょう。 | いつもお世話になっております。後期もどうぞよろしくお願ひいたします。 |
| 香月 菜々子 | キャンパスライフとメンタルヘルス | 授業の理解に個人差があるため、わかりやすい説明を心掛けることも、進行のスピードを加減する。 | 特になし | PCが起動しないこと、プロジェクトターへの反映困難などで、時間を要したことがあった。 |
| 加藤 浩治 | 情報基礎PC コンピュータ応用 | 前向きで好意的なコメントを頂くことで安心感が増え、説明が早すぎる等の手厳しい意見を頂戴したため、今後の授業運営に当たってはいろいろ理解しやすい展開と説明を考え実践してゆきたい。 | 少く取り組んでみて不明な点があれば、勇気をもって手を挙げてください。 | 大学の施設設備の管理運営に関しては非常に行き届いていますので、これに深く感謝しつつ、前向きに授業運営を考えてゆく原動力となっています。 |
| 門林 道子 | 老いと死の社会学 | 遅延学生も少なく、授業中に注意するものを出発を厳密にチェックする点にも、今回、毎回授業にリアクションペーパーを課した。今回の自由記述に書かれていたように、確かにレジュメに用語を覚えてもらえぬ穴の穴あき箇所をつくり、リアクションペーパーも提出するのは学生の一部にとってはかなりハードだったかもしれない。いつもぎっしり記入されている。(今回の授業でそれらを紹介するのだが) それでも講義に集中もできている。と考えてきたけれど、やはり次回はもう少し回数減らす、内容を減らす、書くための時間をとる等再考しようと考えている。 | 70名近い遅延生がいたにもかかわらず、しかも授業時間内にアンケートの記入を促したにもかかわらず、回答率が50パーセントを下回っていたことが疑問に思われ、残念である。2限であるにも関わらず、遅刻者も少なくなかった。自身、気を付けるようにしてほしい。授業中は私語などもなく、眠っている人なども皆無で、いい状態で行われたように思う。 | 代講の授業でオンデマンドを作成したが、一部の学生が観れないといったことがあった。コロナ禍では、普通に動画作成でYouTubeにアップすることが普通でできているものもかわらず、今回も感じました。今年度もお世話になりました。ありがとうございます。 |
| 菊池 真弓 | 家族支援論 | 今年度は、合理的配慮者3名の配慮内容なども踏まえて、グループワークの機会を少なくしたことが反省点です。 | 特になし | 特になし |
| 笹野 悦子 | 現代社会学セミナーⅠ | 特になし | 特になし | 特になし |
| 嶋真 真人 | 社会探検Ⅰ | 質問の「授業への積極的参加」の評価がやや低いので、授業時間中に受講生に考えてもらう時間を与える必要があると思う。 | 特になし | 特になし |
| 嶋真 真人 | 相談援助演習Ⅴ | いずれの質問項目でも学部平均の評価を上回っており、現状のスタイルのまま維持していけば良いと思う。 | 特になし | 特になし |
| 嶋真 真人 | 相談援助実習事後指導 | 回答者が1名であったため、アンケート結果に対するコメントは不可能である。 | 特になし | 特になし |
| 嶋真 真人 | 公的扶助 | いずれの質問項目においても学部平均を上回る評価を得ており、おおむね好評であったのではないかとと思われる。 | 特になし | 特になし |
| 下田 淳 | 世界の歴史と文化 | とくになし | とくになし | 受講人数が多くて教室が狭い。 |
| 田多井 正彦 | カウンセリングセミナー | 「そう思う」「ややそう思う」のみで要望もなかったため、無し。 | 無し | |
| 田中 究 | 家族心理学(社会・集団・家族心理学) | 授業資料の精査は今後も継続し、内容の改善は引き続き行っていきたいと考えております。 | なし | 今学期、履修者数から教室変更をお願いしましたが、当初変更後の教室の空調が使用できない状態だったかと記憶しております。昨今の気温状況も鑑みず、空調が使用可能ですと大変助かります。 |
| 田中 優 | 心理学概論Ⅰ | 学生へのフィードバックをより丁寧におこないたい | 予習・復習をがんばってほしい | 特になし |
| 田中 優 | 社会心理学調査研究法 | 積極的な学び、毎回の授業で学生が実感できるように授業内容を充実したい。 | 履修より授業への参加態度を改善してほしい | レポートの制約をチェックするためのアプリを大学で契約し使用できるようにしたい。 |
| 田中 優 | 質的研究法 | 課題に対するフィードバックを丁寧におこないたい | 非常に積極的な学びの姿勢を感じる学生が多かった | KH-coderをアラムミックスで授業単位で契約、インストールしているが、大学(学部)で購入して、いつでも使用できるようにしたい。 |
| 丹野 真紀子 | ソーシャルワーク論Ⅱ-A | 新しい知識・技能・もの見方や考え方を習得できたとの回答が多かったこと、事例を供してわかりやすかったとの記述が多かったこと、続けていきたい、悪い講義を抱える方の支援をしているソーシャルワークをアドボカシーとしてお呼びしたところ、学生の反響が大きかったため、これについても継続を検討したい。 | 社会福祉士国家試験の科目であり、ソーシャルワークのスキルを理論的に理解する科目です。難しい内容になっています。学生の積極的な参加をお願いします。 | |
| 丹野 真紀子 | 医療福祉論 | カメラで資料を写す時、見たいところが見えない事が多々あったので改善してほしいの希望があったので、工夫したいと思えます。 | 社会福祉士国家試験の科目であり、範囲が広い分野のため、進み方が早くなります。学生の積極的な参加をお願いします。 | |
| 丹野 真紀子 | 相談援助演習Ⅲ | 授業に関する希望はありませんでした。今まで通りに続けていきます。 | 社会福祉士国家試験の科目であり、演習科目です。学生の積極的な参加をお願いします。 | |
| 丹野 真紀子 | 相談援助実習事前指導 | 授業に関する希望はありませんでした。今まで通りに続けていきます。 | 社会福祉士国家試験の科目であり、演習科目です。学生の積極的な参加をお願いします。 | |
| 中條 桂子 | スクールソーシャルワーク論 | リアクションペーパーの提出期限の短さをご指摘いただきました。今後考慮し、期限をのばしたいと思えます。 | 特になし | PCに詳しくなくても使いやすいです。さらに使いこなせるように学んでいきたい存じます。 |
| 土野 瑞穂 | 女性史 | 単に名前を覚えるから授業の意図に関するコメントはなかったが、前回の授業内容に関する受講生の振り返り意見の授業冒頭で匿名で紹介するというコーナーが思いのほか受講生から評価が高かったため、引き続き実施していきたい。 | 1限は毎回多くの遅刻者が出ていたので、遅刻しないで来てほしい(ということを今後厳しく伝えていきたい)。 | 特にありません。今後とも宜しくお願いいたします。 |
| 飛田 敏子 | 日本国憲法 | 出席コードの伝え方を口頭ではなく、板書に変更します。また授業開始時に「授業の概要」を明確に伝えます。レジュメの間違いが多かったので改善します。要点を絞った話し方にします。 | 特にございません。 | UNIPAで認証コードを入力した際エラーの場合は、すぐ表示されるとありがたいです。学生から、時間内に回答しているにも関わらず後から確認したら「エラー」となっていた、という申し出がありました。学生が確認しなかった場合は欠席になっていたの、もし改善できるものでしたらありがたいです。 |
| 飛田 敏子 | 法律と現代社会 | UNIPAの認証コードは口頭ではなく板書します。レジュメの間違いが多かったので改善します。授業中の私語への注意をしっかりとります。要点を絞ってお話しします。 | 教室前方に座っていただけるとありがたいです。 | UNIPAでの認証コード入力時にエラーの場合、その場で表示されるとありがたいです。授業後に学生が確認してエラーに気づく場合があるので、その場で気付くようになること、出席の把握がより正確になると思っています。 |
| 中條 共子 | 相談援助演習Ⅰ | 課題の学習意欲がよく伝わっていない学生がいたので、課題ごとに理解を確認する時間を設けたいと思います。 | グループワークに積極的に参加し、自分が持つ疑問などもグループの話し合いの題材にしてほしい。 | |
| 中西 達夫 | 数学の世界 | アンケートによると課題へのフィードバック、コメントが重要だと分かりました。今後、可能な限り一人一人に寄り添った返答を心がけていきます。 | できるだけ課題の提出期限を守ってほしい。 | 回答遅くなり、ご迷惑おかけしました。 |
| 中村 道子 | コミュニケーション技術AとB | 『先生が積極的に生徒に質問して良かった』『実践を通して技術を身につけることができた』など、概ね満足されているようなので、続けていきたいです。 | 特になし | |
| 仁科 薫 | ケアの社会学 | シラバスの内容など工夫し、授業で使用される教材等について事前に学生がより具体的に把握できるようにしたい。 | 特にありません。 | |
| 仁科 薫 | 家族と現代社会 | 自分が担当する科目について、シラバスの内容をより具体的なものとすることで、学生が事前に授業で取り扱う教材等についてイメージできるようにしたい。 | 特にありません。 | |
| 西谷内 博実 | 環境社会学 | 授業内容を更新した部分において、資料や説明の準備が万全ではなかったため、事前確認を徹底する。 | 授業外学習を充実してもらいたい | 特になし |
| 橋本 冬子 | カウンセリングセミナー | 最終レポートの提示が遅くて期間が短いのご意見があったため、再考したいと思います。 | 特にありません。 | |
| 原野 かおり | 介護総合演習Ⅲ | 本アンケートでは意見はありませんでしたが、実習後の反省を受けてさらに充実した内容になるよう検討します。 | なし | なし |
| 原野 かおり | 介護総合演習Ⅳ | なし | なし | なし |
| 原野 かおり | 医療的ケアⅡ | なし | なし | なし |
| 原野 かおり | 介護過程Ⅰ | 1年生前期の授業であるため、今後も履修者の様子を見ながら臨機応変に対応したいと思います。 | なし | なし |
| 飛田 和樹 | 社会学基礎Ⅰ | 入門的な授業として意図的に課題の負荷を下げていたため、授業外学習時間は毎週の取り組み姿勢により差が出ていたと考えられる。(30分以上1時間未満が最頻、次いで1時間以上2時間未満。当年度から3科目専攻合同履修となったため、各学科専攻の学生のレディネスに合わせた内容および構成は今後も検討・調整していきたい。 | 特になし | |
| 飛田 和樹 | 地域福祉論Ⅰ | 授業外学習時間はやや短め。授業内容がより良くなるよう引き続き努めたい。(30分以上1時間未満が最頻、次いで1時間以上2時間未満。) | 特になし。 | |
| 飛田 和樹 | 相談援助演習Ⅴ | 非常勤含む4名によるチームニバス科目。回答者が少なく結果を判断しづらい。自身の担当箇所は、授業内容がより良くなるよう引き続き努めたい。 | 資格に関わる最後の演習であるが、(30分、授業受講姿勢の個人差が大きい。4年生で大学の授業に慣れおり、履修科目は少なく、卒業後の進路が決まる時期(資格を必要とするか否か)でもあることは分かるが、最後まで真剣に取り組んでもらいたい。 | |

| 氏名 | 科目名 | 授業の改善点 | 受講生への要望 | その他（本学の施設、設備、UNIPA、manaba、Googleフォーラムの使い勝手等） |
|--------|-----------------------|--|--|---|
| 千川 剛史 | 社会学概論Ⅰ 現代社会学セミナーⅠ | 「社会学概論Ⅰ」（火4・木4）については、manabaを使用して毎回の授業の課題レポートを提出させ対面で課題レポートについて講評と解説を行う反転授業の形式で実施している。「1.シラバス」、「2.理解を深めるための工夫」、「3.manabaの活用」、「6.フィードバック」に、「7.新しい知識等の習得」については、「⑤そう思う・④ややそう思う」を合わせて6割～9割であり、ますますの出来であると思う。また、「7.授業外学習の時間」は、「30分以上2時間未満」が8割であり、受講者は都合の良い時に長時間じっくりと学習に取り組んでいることがわかる。 しかし、自由記述については、「毎回授業の課題の解答を書くので授業の振り返りができる」、「スライドや授業の課題の解説に添付されている資料が分かりやすかった」、「課題における内容が非常に興味深く、多くの学びや知識を取り入れた上で新鮮な気付きを得ることができ充実及びやりがいを感じた」と評価がされる一方で、「広い教室でマイクを通した声のためか、先生の声が聞き取りづらかった」「要点を明示して説明をわかり易くしてほしい」という指摘や要望があるので、受講者からの指摘と要望を取り入れて授業に反映できるようにしたい。なお、毎回の授業では、レポートの課題と資料のmanabaによる配付だけでなく、manabaの「ニュース」で前回の授業の課題に対する受講者のレポートに記載された複眼的な解答を提示して紹介し、それらの解答についてのコメントや追加説明しながら、受講者へ毎回フィードバックを必ず行っている。「現代社会学セミナーⅠ（木2）」は、manabaを併用した対面授業を行った。各項目の評価については、「社会学概論Ⅰ」と同様である。manabaの掲示板を使用したグループワーク以外でも学生同士が直接的意見交換する機会がつけられるように心がけたい。 | 講義科目もセミナー科目も、教科書や配付資料を読んで十分時間をかけて予習した上で、manabaの掲示板に質問や見解を書いたり、メールで質問するなど積極的に授業に参加してほしい。 | 「社会学概論Ⅰ」で使用した教室（7114・6220）は、エアコンが古く、寒暖の細かい調整が難しい。特に6220教室の音響機器が古く、また、スピーカーの数が少ないので、後ろの方の席の受講者にマイクの音が聴き取りづらいようである。 |
| 堀 洋元 | 心理学統計法 | 受講生の理解度を確認しながら授業を進められるよう改善していききたい。 | とくになし。 | |
| 堀 洋元 | 社会心理学調査研究法 | 2コマ続きの授業で教室移動があるため、講義と演習の時間配分や内容を工夫していきたい。 | とくになし。 | |
| 馬淵 聖二 | 心理的アセスメント | 授業スライドの配布を、1ページ8スライドではなく1ページ4スライドにしてほしいという要望があったため、文字が見えるように工夫したい。 | なし | |
| 三好 真 | 社会・臨床心理学基礎セミナー | 特になし。授業の小グループ制・分科会の効果が見て取れる評価であったため、このまま継続していききたい。 | 特になし。 | |
| 三好 真 | キャリア心理学セミナー | 概ね高評価であったが、極少数の学生でコメントなどが不十分ななどの意見が寄せられた。主体的を重んじる事が授業の目的であるためこちらからの細やかな働きかけは改めて限定的にしている反面、適宜こまめな対応へと改善していく必要性を感じている。 | 特になし | |
| 三好 真 | グループワークⅠ | 特になし | 特になし | |
| 守屋 敬子 | 生活の化学 | 学生からのアクションは薄いと想定して、授業内で積極的に質疑応答をせず、manaba上でのやり取りに終始してしまっていたが、もう少し発言を促した方が良かったと思った。 | 出席入力を進出してしまいう学生がいたが、強制的に呼び止めるべきが自己責任と考えるべきか迷った。 | |
| 八城 薫 | 社会心理学概論 | 声が聞き取りにくい時があったようです。マイクの音量など気を付けながら進めたいと思います。 | ビデオ映像を復習に見たいという要望がありましたが、著作権の問題からmanabaでの配信ができません。どうしても再度見たいという場合には、学内で見てもらうなどは出来るようになりますので、直接ご相談ください。 | 特にありません。 |
| 山本 真知子 | 児童・家庭福祉論 | 引き続きわかりやすく、興味を持って取り組めるような授業を展開していきたい。 | 特にありません。 | 特にありません。 |
| 山本 真知子 | 相談援助演習Ⅰ | 引き続き非常勤の先生方と連携を取りながら授業を行っていききたい。 | 特にありません。 | 特にありません。 |
| 山本 真知子 | 相談援助実習事前指導・相談援助実習事後指導 | 引き続き実習の事前、事後指導ともに学生の現場実習に活かした内容を展開していきたい。 | 特にありません。 | 特にありません。 |
| 行實 志都子 | 精神障害リハビリテーション論 | シラバスの予定にできる限り沿った授業の進め方並びに双方向型の授業の精度向上させていきたいと考えております | 特になし | |
| 吉澤 良美 | グループワークⅠ | 概ね授業内容について理解が得られたと考えられるし、後期におこなわれるグループワークの授業にも参加希望者がいることを考えると、大きな改善はないと思われるが、より良い授業に向けて努力していきたい。 | 受動的な参加ではなく、授業に参加する際、自分自身が何を求めるのか、学ぶのかについてももう少し意識的に参加してもらえると、更に充実した授業となるのではないかと。 | キャンパスの構造上仕方ないのですが、7号館迄の階段が教員にとっても学生にとっても厳しいです。 |

【資料編】 03

【授業改善アンケート集計結果に対する授業担当者の対応】 後期

| 氏名 | 科目名 | 授業の改善点 | 受講生への要望 | その他（本学の施設、設備、UNIPA、manaba、Google フォームの使い勝手等） |
|--------|--|---|---|--|
| 伊澤 冬子 | キャンパスライフとメンタルヘルス | 授業資料をmanabaにアップしてほしいという要望があったため、対応予定である。 | 特になし | |
| 石島 早苗 | 生命の科学 | 中間試験を講義途中で行い、学習効果の低かった学生に関して課題を出したが、教済のために行ったのだが、不評であったため次年度は余裕なことをしないうちに再考してみたい。 | 講義を聞かないで、学習もしないでただただ出席すれば単位は取れると考えている学生がいるが、何のために講義を受けているのかを再確認して欲しい。 | |
| 伊藤 美登里 | 社会学基礎セミナーⅠ 社会学調査及び演習Ⅱ 社会学史 現代社会学論 | 学生同士の活発な意見交換ができるような授業設計を考えます（社会学基礎セミナーⅠ）。目がチカチカしないよう、電気の消灯の回数減らす工夫をします（社会学史）。（受講者数が多いときの）コメントの時間と講義時間のより適切な配分を再考します（現代社会学論）。 | 特にありません | 特にありません |
| 井上 修一 | 社会学福祉学概論Ⅱ | 160人を超える授業が、受講生との双方向的な進行を検討したい。社会学福祉学に加え社会学、心理学に関わる学際的な内容を盛り込んで深めていきたい。 | 特になし。 | |
| 今井 信治 | 現代における宗教 | 定量的な評価項目を見る限りでは、大きな問題はないようでした。しかし自由記述欄にて、学生の問題関心を把握する仕組みの欠如が指摘されており、出席確認に併せて意見を募り、それにフィードバックを行うなどの対応を検討いたします。 | 特になし | 特になし |
| 上野 陽弘 | 精神保健福祉援助演習Ⅱ | 自身の改善点として... 1. リアクションペーパーを記載するための十分な時間の確保（授業終了後も記載してくれる学生さんが多かったため） 2. 実習や体訓不具合で授業を休まれた学生へのフォローの工夫（「前の授業を聞きかたかった」との声に対し、簡潔には内容を伝えたが、更なる工夫をしたい） 3. 「シラバス」と「学生のニーズ」との整合性と臨機応変さ（学生のニーズも加味し授業の内容を考えないが、シラバスとの整合性も疎らながら展開していきたくない） | とても素直かつ積極的に授業に参加してくれる学生が多く、感謝の気持ち一杯です。御願いとしては、体調管理とmanabaでの連絡事項のチェックを挙げさせていただきます。 | 授業を進めやすい環境を提供していただき、感謝の気持ち一杯です。今後とも、よろしく御願い致します。 |
| 上野 優子 | スポーツと健康 | もう少しグループワークがあるとうれしかったのではないかと意見があった。担当者としても、その様に思うところがある。全学共通科目のため、学科、学年と混在しており、配慮願の提出も複数あるため、グループ分けの際に悩むところであるが、次年度はグループワークを増やしていく予定である。 | 特にありません。 | 特にありません。 |
| 牛山 美穂 | 社会学基礎セミナーⅠ・Ⅱ | 発表に対してきちんとフィードバックをしてあげること、適宜、教科書の内容等について解説を加えることなどが評価されていたので、そうした部分を継続していきたい。 | 積極的な発言や、よく考えられたリアクションペーパーへの記述を期待しています。 | |
| 浦尾 和江 | 生活支援技術D | 実践演習の授業のため、服装、持ち物について具体的に説明します。 ・実践指導の際に学生が実施した後工夫点について指導します。 ・実践動作について、根拠に基づいた分かりやすい説明をします。 | 特になし | 特になし |
| 大村 美樹子 | キャリアデザインⅡ | 毎回の授業についてのプリント配布を実施する。 | 特になし。 | |
| 小川 浩 | 障害福祉論 | 概ね良い評価を得ることができた。リアクションペーパーへのコメントは、学生にとって学習意欲向上につながっていることが確認できたため、時間を要することではあるが、今後も頑張っていきたいと思う。自分の実践経験を伝えることも、忘れずに続けていきたい。 | 特にありません。 | |
| 小幡 正子 | 情報基礎DS(表計算活用・データテラシー) | 学生個人のスキルの幅が広がっているため、操作の苦手な学生に対してフォローアップの時間を積極的に設定して授業計画を立てたい。 | ぜひ授業の進捗状況を知ったときに、操作が行き詰っているようであれば遠慮なく知らせしてほしい。 | いつもお世話になっております。今後ともよろしくお願いたします。 |
| 小幡 正子 | コンピュータ応用 | 学生同士のスキルの二極化がみられるので、更に課題を多く準備して必要な配分をしたい。 | 熱心な取り組みに感謝している。 | |
| 小幡 正子 | 情報基礎DS(表計算活用・データテラシー) | 授業中に理解度を質問して手を促すが、学生の反応がないことが多い。机回視を徹底して操作のアドバイスを今以上に徹底したい。 | ぜひ操作に迷ったら遠慮なく一声かけてほしい。 | |
| 小幡 正子 | 情報基礎DS(表計算活用・データテラシー) | 授業の中で操作の理解度を学生に何度かおたずねしながら進めているが、確認のための手を促すが、どの項目にも手をしない学生が多い。対面授業ならではのメリットを活かすべく気軽に手ををお願いしているが、今後は一ツツの質問はmanabaを通じて受け付けするなど、変更せざるを得ないと考えている。 | 学生の学習スキルの幅が窄縮しているため操作に行き詰った場合は知らせてほしい。 | お手数をかけます。授業改善を計画しました。よろしくお願いたします。 |
| 春日 文 | 発達心理学 | 内容の理解を深めるために、適宜、発達段階に応じた最新の映像資料を準備した。 | 特にございません。 | |
| 香月 英々子 | キャンパスライフとメンタルヘルス | 概ね好評でした。授業内容は、時代に応じてアップデートしていくこと、出席の条件についても改良したいと思っています。 | とくにありません。5限の授業でしたが熱心に参加してくれた学生も多く、ありがたかったです。 | 当初、講義室のPCの動きに不具合があり心配しましたが、その後はスムーズに動きました。管理が行き届いていて問題ありません。 |
| 加藤 浩治 | 情報基礎DS | 授業中のPC操作方法に関する説明を一層詳しく、学生の操作状況を確認していきたい。 | 不明な点があれば、その時もしくは早めに手をつけてください。 | |
| 金 哲夫 | 生活の物理 | 私の「希望」が受講生の「学習意欲」を妨げるなどの指摘がありました。改善は難しいです。 | 講義中に分らないことがあれば（あると思えば）、その都度「質問」するようにしてほしいです。今後自ら学ぶ姿勢を大切に、積極的に取り組んでいただきたい。 | スクリーン設定ですが、黒板も使えるようにしてほしいですね。 |
| 金 美展 | 介護過程Ⅱ-A | 他の科目とのバランスを考慮しながら、事前・事後学習の課題を工夫していきたい。 | 授業に集中してもらいたい。口頭で知らせている内容についての問い合わせが多い。 | |
| 木村 絵里子 | 女性とライフコース特論Ⅱ | 最近、AIを丸写ししたものとと思われるレポートが多くみられるため、試験の実態に変更したが、試験の内容がやさしかったためか、成績を付けるのに苦労したため、試験内容について精査していきたい。 | 授業に集中してもらいたい。口頭で知らせている内容についての問い合わせが多い。 | PCの向きが使いにくいところがある。 |
| 久保田 進 | 社会学調査講義Ⅱ | 回答率が低いので何とも言えない部分もあるが、概ねポジティブな意見が見られたが、学生の理解力の変化に合わせた、授業改善が必要だと日々、感じている。一定の反復学習を行うことが、より必要になってきたと考えている。 | 授業の予習・復習に一定の時間をかけるようにしてほしい。 | |
| 巖野 ともみ | 精神保健福祉制度論 | ・制度に関する科目であるため、制度の意義や活用について学ぶためには具体例を示していく必要があると考えている。社会学福祉関係の資格を得ない学生にとっても関心をより深めて貰えるように事例等の工夫をしていきたい。また、課題や小テストのフィードバック(コメント返却)の評価が高かったため、継続して、より個別に対応できるように工夫していきたい。 | 特にありません。金曜日の1限に設定されている科目であり、交通機関のトラブルもあるため、病ついでという人も多くいます。遅延の手続き(理由ある遅刻)をして下さることが大切です。 | パソコントラブル(動かなくなる)もありましたが、登壇には入れ替えてくださる等、各所の対応が素晴らしい。スムーズに気持ちよく授業をしています。また、教室の準備を早めにするのですが、清掃の方も1限目に使う教室を先にお掃除して下さる等、学生の学ぶ環境を整えてくださっており、大変感謝しています。 |
| 齊藤 豊 | 現代企業論 | 病気になる、6回の休講、補講を行った。来年度も同様に予定なので、受講者が理解しやすいように休講、補講を組み立てる | 特になし | |
| 佐藤 史緒 | 集団心理学 | 履修学生の参加状況や理解度のばらつきに合わせて課題や教材を用いる工夫が必要だと感じた。今後は学生にももう少し確認しながら進めていくように努めたい。 | 1限なので仕方がないのだと思うが、遅刻者が多く授業のはじめから授業の承認に入ることに難しさを感じた。ヘッドホンをして授業に参加する学生や後ろに座ってずるずる寝ている学生などもいて、担当する側としては大変残念だった。 | |
| 佐藤 那美 | 人間の成長と心理 | 毎回のテーマが授業内に終了しない場合があるため、その日のうちにその日のテーマが終了できるように心掛けた。その他、ワーク返却のタイミングなどについて意見を頂いたが、10分休憩の間にワークの返却の準備まで行うことは現実的に難しいため、変更はしないとする。 | 特になし | |
| 澤田 唯人 | アイデンティティ論 | 受講生のみならずからの回答や自由記述は授業の改善を要求するものは幸いなかったのですが、受講生のみならずから出てきていく種となるような知識や考え方を、支助的な価値観や上辺だけのきれいなことに抗して、どのように伝えることができるか、受講生が深く自分の人生からの問いかけを大切にできるように安全に考えられるように授業を改善していきたいと思っております。 | 特にありません。 | 特にありません。 |
| 嶋貫 真人 | 人間関係総論Ⅲ | 設問5「授業の予習に割いた時間」が低調であったので、次年度はmanabaを活用して、次回の授業までにレジュメに目を通しておくよう指導を徹底したい。 | 特になし | |
| 嶋貫 真人 | 社会保障Ⅱ | 設問6「課題に対する教員からのフィードバック」の評価が、やや低調であった。次年度はリアクションペーパーの回収を増やして、受講生の疑問点・意見等に積極的に答えたい。 | 特になし | |
| 嶋貫 真人 | 社会学福祉基礎セミナーⅡ | 受講生18名に対してアンケートの回答数が「5」と極めて少なく、受講生の意向の傾向を正しく把握できない。 | 特になし | |
| 嶋貫 真人 | 刑事司法と福祉 | 設問5「予習に割いた時間」の回答がやや低調であったので、次年度はmanabaを活用して次回の授業のレジュメを精読しておくよう指導していきたい。 | 特になし | |
| 清水 知子 | キャリアデザインⅠ | 特になし | 特になし | 特になし |
| 杉山 正司 | 生涯学習概論 | 専門用語など難解な用語は、口頭だけでなくパワーポイントなどでビジュアルで解説する。 | なし | |
| 高橋 隆一郎 | 情報サービス論 | レジュメの字の小ささの指摘がありました。そのことに留意していきたく思います。「この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できました」「満足しました」という評価がありましたので、引き続きそのことに資する授業にしていきたいと思っております。 | 特記事項ありません。 | |
| 田多井 正彦 | 教育相談 | 無し | 無し | |
| 田中 俊 | 心理学研究法基礎 | 複数教員での授業であるので、出来る限りの授業打合せ、授業後のサポートを充実させた。学生から、「実験の参加人数が多いグループが時間内に実験が終わらずに授業が終わったあとも続けなければならないことがあった。」との意見があったので、検討が必要があると思う。 | 演習形式の授業なので、積極的に授業に参加して欲しい | 特になし |
| 田中 俊 | 心理学概論Ⅱ | リアクションペーパーで、コメントを希望する学生すべてにコメントを返したところ、「マナバで提出したリアバにコメントを返してくれるところがよかった。」「質問に対し詳しく返答してくださるのがより知識が深まったため良かったです」「リアバ全てにコメントを返していただけたのはとてもありがたいです。」等、効果的であったと思うので、継続していきたい。 | 予習・復習をする学生が限られていたため、出来る限り予習・復習をして欲しい。 | 特になし |

| 氏名 | 科目名 | 授業の改善点 | 受講生への要望 | その他(本学の施設、設備、UNIPA、manaba、Google フォームの使い勝手等) |
|------------------|-------------------------------|---|--|---|
| 田中 優 | 心理学研究法応用 | 授業への取り組み方が極端に低い学生がいるために、他の学生が負担感や不公平感を感じているようだったので、検討、改善された。 | ほとんどの学生は、とても頑張っていたと思う | 特になし |
| 丹野 真紀子 | ソーシャルワーク論Ⅲ-A | 先週分のプリントも置いてほしいとの希望があったので、休んだ場合にその時のプリントが得やすいように声掛けをしたと思う | 事例検討をすることが多いので、積極的な参加をお願いしたい。 | |
| 丹野 真紀子 | ソーシャルワーク論Ⅲ-B | 学生からの意見もわかりやすいという内容が多いので、このまま継続します。 | 課題を事前に出すこともあるので、しっかり取り組んでほしい。 | |
| 中村 道子 | 介護の基本DとE | 学生からの授業評価は概ね好評であったため、授業内容については現在のまま継続する。授業時間外の学習時間がやや短い。次年度は本年度より多くの課題を課し、自律学習を促す予定である。 | 授業的な学習ではなく、授業内容と関連する社会保険制度を再度復習する等、積極的に調べ学習をすることで知識の定着を図って欲しいです。 | 特になし |
| 西川 徹 | 情報基礎PC及びDS | 学生からの評価に個人差もあり、同じことを説明していても速すぎると感じる生徒もいればもう少しペースを上げてほしいと感じる生徒もいて、すべての学生に満足してもらうことは難しい。それでも、しっかり授業計画を立て、大きな声で、難しい箇所には時間をかけ丁寧に説明することによって多くの学生に満足してもらえようと思う。 | タッチタイピングをマスターすること。授業の予習、復習をしっかりやってほしい。 | 使いやすいと感じております。 |
| 西口 守 | 社会福祉基礎演習Ⅱ | 社会福祉のミニレクチャーを毎回実施 | 出席がギリギリの学生が増えてきた。どうも計算してみたいですね? | 特にございません。 |
| 仁科 薫 | 政治と現代社会 | アンケートにご回答くださった皆様ありがとうございます。励みになりました。これからも、講義形式の授業で双方向性を取り入れる方法について探求を続けていきたいと思っております。 | 特ありません。 | |
| 原野 かおり | 生活支援技術Ⅰ-Ⅰ | これまで同様、学生数や習得度に依りて対応します。 | ありません。 | ありません。 |
| 原野 かおり | 介護過程Ⅲ | manabaを活用していないという結果であったが、計画等のフィードバックは提出されたものにコメントして返却してはいます。授業の性質上活用は困難です。課題のない時の事前事後学習をしていないようです。必ずしも導入しませんが、 | 1限であるため、遅刻や欠席が多くグループワークが成立しないことが何回もありましたので、グループワークも検討しますが、資格にかかわる科目でもあるため出席してもらいたいです。 | |
| 原野 かおり | 医療的ケアⅠ | 学生労働者からの条件のある科目であり、完全に座学の授業であるため双方向の授業はできません。重要な科目でありながら居眠りや理解度も低いため、毎回確認テストを導入します。 | ありません。 | ありません。 |
| 飛田 和樹 | ケア・マネジメント論 | 福祉分野における専門的な方法論の講義である。レディネスの考慮および難度の平準化が難しく(全学年履修可能)、主に2年次程度を想定した内容で構成している。引き続き授業内容がより良くなるよう努めたい。 | 資格に関連しない選択科目である。例年、資格や関心に関連付けて受講している学生とそうではない学生で、モチベーションに差が大きいように見受けられる(D・E評価の割合とも一致)。授業内でのディスカッションで他の学生にも影響するため、履修する以上は授業中・事前事後課題ともにきちんと取り組んでほしい。 | |
| 飛田 和樹 | 地域福祉論Ⅱ | 専門的かつ抽象的な内容が多いためか、同名科目「Ⅰ」と比較すると例年「習得」や「満足度」がやや低めに移行する傾向にある。引き続き授業内容がより良くなるよう努めたい。 | 特になし。 | |
| 飛田 和樹 | 社会福祉学基礎セミナーⅡ | 新入年度生向け科目。学生がグループになって調べたことをプレゼン資料にまとめ、発表することが中心である。学生の受講態度やグループの進捗によって、授業や学習時間は変動する。引き続き授業内容がより良くなるよう努めたい。 | 特になし。 | |
| 古田 雅明 | 臨床心理学概論 | 2023年度より担当している2年生の必修授業で大講義室で実施していますが、3年目で慣れたこともあり全体的にムーズに実施できたように思います。manabaで授業への意見や感想、質問を書く課題を出しましたが文字数の目安があると良いとの意見があったので、次年度の課題にしたいと思います。「あなたは授業に満足しましたが」の回答が「そう思う」が7割強であり、「いやそう思う」と合わせて3年間続けて9割程度なので、おおよそ受講生には満足してもらえているようです。今後も同じペースを維持したいと思います。 | 学生によるプレゼンの機会を設けていますので、積極的に参加してください。 | 特にありません。 |
| 千川 剛史 | 社会学概論Ⅱ 情報社会論 現代社会論セミナーⅡ | 「社会学概論Ⅱ」(火・1・4)と「情報社会論」(水・3)については、manabaを使用して毎回の授業の課題レポートを提出することで課題レポートについて講評と解説を行う反転授業の形式で実施している。「1.シラバス」、「4.理解を深めるための工夫」、「5.フリードバック」、「7.新しい知識・技能・ものの見方や考え方の習得」、「8.授業の目標達成」、「9.授業の満足」については、「⑤そう思う・④ややそう思う」を合わせて6割〜8割であり、まずまずの出来であると思う。また、「5.授業外学習の時間」は、「30分以上2時間未満」が8割であり、受講者は都合の良い時に長時間じっくりと学習に取り組んでいることがわかる。自由討議については、「毎回課題があることで理解しやすかった」「フィードバックもしてくれているので理解がより深まった」と良い評価がされる一方で、「パソコンに向かって話されている時間が長いので、もう少し学生側を向いて講義してほしい」、「出欠確認を授業の終り開始前なく、前半にしてもらわないと、最初から出席している学生としては不公平である」という指摘や要望があるので、出欠確認のタイミング等について、受講者からの指摘と要望を取り入れて授業に反映できるようにしたい。 なお、毎回の授業では、レポートの課題と資料のmanabaによる配付だけでなく、manabaの「コースニュース」で前回の授業の課題に対する受講者のレポートに記載された模範的な解答を提示して紹介し、それらの解答についてのコメントや追加説明しながら、「現代社会論セミナーⅡ」(木・2)は、manabaを併用した対面授業を行った。各項目の評価については、「社会学概論Ⅱ」や「情報社会論」と同様である。前回の授業のフィードバックの工夫と学生同士が直接的意見を交わす機会がつけられるように心がけた。 | 講義科目もセミナー科目も、教科書や配付資料を読んでも十分時間をかけて予習した上で、対面やメールで質問するなど積極的に授業に参加してほしい。 | 「社会学概論Ⅱ」で使用した教室(7214・7114)の音響機器が古く、また、150名近い人数が収容できる広い教室であるのも関わらず、スピーカーの数が少ないので、後ろの方の受講生にはマイクの音が聞き取りづらいうのである。7114教室のパソコン画面を表示する教員用のディスプレイが古いので、画面に表示される文字や図形が見づらく、授業に支障がある。 |
| 堀 洋元 | 安心・安全の心理学 | 次年度はmanabaによる配布資料の掲載スケジュールが一定になるよう調整したい。 | 体験型授業では自ら積極的に取り組むよう期待しています。 | |
| 堀 洋元 | 産業・組織心理学 | 公認心理師受験資格を意図した受講生に向けた少し踏み込んだ内容を取り上げていきたい。 | とくにありません | |
| 堀 洋元 | 心理学研究法基礎 | 必修科目で受講人数が多いので、受講生とのコミュニケーションを工夫していきたい。 | 授業を進めて行く中で困ったことがあれば遠慮なく質問・相談してください。 | |
| 本田 周二 | 人間関係論Ⅱ | 授業時間外での学びを促進する工夫が必要だなと思います。 | ありません。1限という大変な時間帯にもかかわらず、頑張ってください。 | |
| 本田 周二 | 社会心理学実験研究法(心理学実験) | 課題が多いのですが、その点は学びのために必須なので、サポートをより充実できるように工夫したいと思います。 | ありません。2コマ連続のタイトな授業でしたので、よく乗り切ってくれたと思います。 | |
| 本田 周二 | 対人コミュニケーション演習 | 今年度で担当が終わりのため特にありません。 | 特にありません。 | |
| 本田 周二 | 心理学研究法応用 | 負荷の高い授業なので、丁寧なサポートを継続していきたいと思っております。 | 特にありません。 | |
| 牧野 智和 | 子どもと教育の社会学 | 内容を詰め込みすぎているという意見をいただいたので、もう少しペースを落としてみたい方がよいかなと思われた。 | 特にありません。 | |
| 松下 優一 | 映像・演劇の世界 | アンケート結果をみる限り概ね好評でしたが、毎回のリアクションコメントに対するフィードバックがほしいとの要望もありました。今期は多忙で毎回の授業の提出コメントを授業内で紹介する機会がなかなか作れず、成績登録後になってしまいましたが、まとめmanabaにアップしました。 | 特にありません。 | |
| 松下 優一 | メディアと現代社会 | 特にありません(概ね好評だったかと思えます)。 | 特にありません。 | |
| 馬淵 聖二 | 心理検査セミナー | 次年度は教材(心理検査)を改めて見直し、より心理的安全性の高いものを用いる予定である。また、受講生が待つ時間を極力なくし、より有効に時間を使い切るようにデザインしたい。 | 自身とよく向き合っていたと思います。特に要望はありません。 | |
| 水島 徳彦 | レクリエーション実技 | 全体を通じて、「そう思う、ややそう思う」を選択した学生が多かった半面、①「課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)」や②「授業外学習」の項目について課題をいただきました。①については、授業内での学生とのかわりだけでなく、リアクションペーパーを活用して改善に努めたいと考えます。また、②については「実技科目」ということもありつつ、学習・復習については具体的に何か資料や課題を準備することへの必要性も感じています。上記の2点について、次年度以降の授業展開のために、引き続き準備していきたいと思っております。 | 特にありません。 | 特にありません。 |
| 八城 薫 | 社会心理学実験研究法(心理学実験) | 学生の主体的な取り組み合いが満足度に直結する授業であり、その結果がアンケートからも読み取れます。今後も学生が主体的に取り組める授業展開を進めていきます。 | 主体的に取り組むことが、研究スキルの向上と授業の満足度に直結する授業です。実際に意欲的に取り組んでくださっていて、素晴らしい成果が出ていると思っています。 | レスポンスアンケート機能も教員間連携できるとよいです。 |
| 山口 育子 | 発達と老化の理解 | 貴重なご意見をありがとうございます。アンケート項目4の「質問したり、意見を述べたりして、授業に積極的に参加したか」の結果を受けて、講義形式で知識提供型のスタイルに進めることも多かつたため、学生さんをもっとアクティブに授業に参加できるよう工夫が必要と感じました。次年度に向けて改善してまいります。 | 毎回の理解度確認小テストにもっと取り組み、フィードバックの内容ももっと取り戻しながら学習していただきたいと思います。ありがとうございます。 | 特にありません |
| 山田 理絵 | ジェンダーとメンタルヘルス | 特になし | 特になし | |
| 山本 真知子 山本 真知子 | ソーシャルワーク論ⅠA 社会的養護論 | D丁寧な授業を心がけていきたいです。 映像を用いた授業は今後も続けていきたい。 | 特になし | 特になし 7114のPCが他の教室とサイズが異なり小さいので、スクリーンに映し出すことがあった。 |
| 山本 真知子 吉方 りえ | 相談援助演習Ⅱ 女性と健康 | 特にありません Word資料のみの配布を行っていたが、授業で使用したPowerPoint資料の配布も希望する意見があったため改善を試みたいと思う。 | 非常に皆さん積極的だったので良い授業となりました。 事前学習をお願いしているが、配布資料に目を通す学生の数が少なく、授業の理解度を深めるために事前事後学習の時間確保をお願いしたい。 | 受講する学生の数に応じ教室の大きさを検討いただけるとありがたい。 |
| 吉澤 良美 | グループワーク2 | もう少しわかりやすい説明を行った | 授業中に、アンケートの回答時間を取って事後答えない学生が少なくないのが残念です | |

【資料編】 04

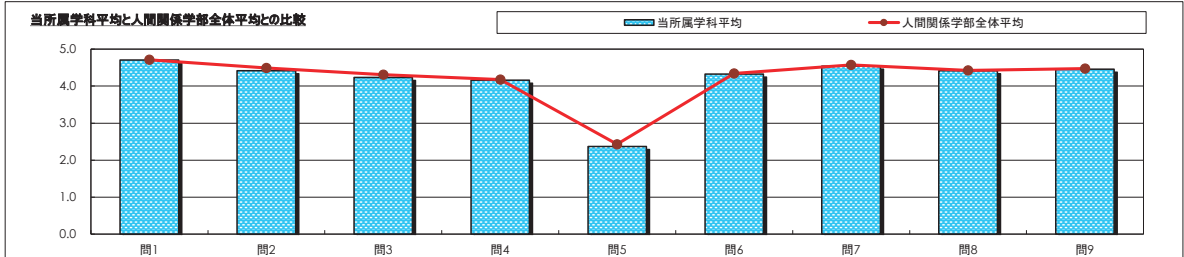
【授業改善アンケート集計結果：学部全体・カテゴリ別】 前期・後期

2025年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(所属学科別)

大妻女子大学

| 所属学科 | | 人間関係学科 社会学専攻 | | 受講者数 | | | | | | |
|------|---|--------------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|------------------|------|-----------|
| | | | | | - | | | | | |
| | | | | 回答者数 | 1,353 | | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | | 標準偏差 | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | わからない/ 判断しづらい | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.71 | 72.9 | 21.4 | 2.2 | 0.3 | 0.4 | 2.8 | 0.57 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.41 | 56.4 | 30.9 | 7.5 | 2.7 | 1.0 | 1.6 | 0.82 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.24 | 54.8 | 22.2 | 9.0 | 5.3 | 4.1 | 4.6 | 1.11 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.16 | 44.1 | 25.3 | 12.1 | 5.2 | 2.5 | 10.9 | 1.05 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.36 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.15 | |
| | | | 5.3 | 7.2 | 22.7 | 26.7 | 22.3 | 15.8 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.33 | 51.5 | 28.1 | 8.9 | 2.7 | 2.1 | 6.7 | 0.93 | 区分 平均値 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.54 | 62.4 | 31.1 | 3.0 | 2.1 | 0.5 | 0.8 | 0.71 | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.42 | 51.6 | 35.3 | 6.8 | 1.8 | 0.4 | 4.1 | 0.74 | 全体 平均値 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.46 | 60.0 | 30.0 | 5.0 | 3.3 | 1.0 | 0.7 | 0.82 | 4.23 |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

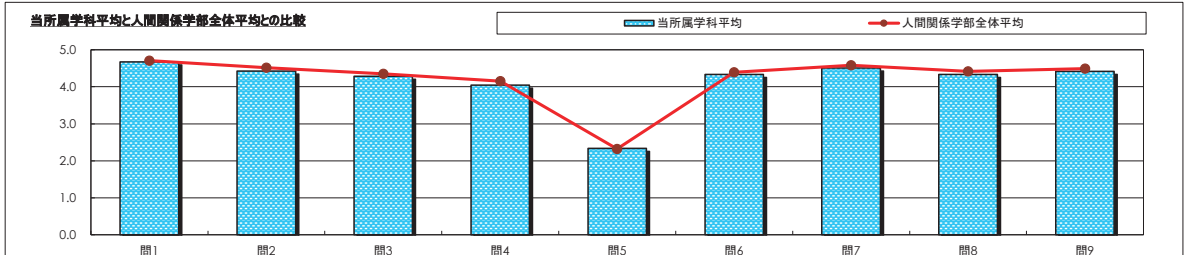


2025年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(所属学科別)

大妻女子大学

| 所属学科 | | 人間関係学科 社会学専攻 | | 受講者数 | | | | | | |
|------|---|--------------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|------------------|------|-----------|
| | | | | | - | | | | | |
| | | | | 回答者数 | 1,020 | | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | | 標準偏差 | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | わからない/ 判断しづらい | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.68 | 70.1 | 23.6 | 2.7 | 0.7 | 0.1 | 2.7 | 0.57 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.43 | 56.6 | 30.1 | 7.2 | 2.1 | 1.3 | 2.8 | 0.82 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.28 | 56.9 | 23.2 | 7.4 | 3.5 | 5.1 | 3.9 | 1.10 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.05 | 37.2 | 26.5 | 15.9 | 4.0 | 3.0 | 13.4 | 1.06 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.34 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.07 | |
| | | | 4.5 | 6.9 | 24.0 | 32.9 | 21.1 | 10.6 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.33 | 48.4 | 28.5 | 9.1 | 2.5 | 1.5 | 9.9 | 0.89 | 区分 平均値 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.51 | 59.4 | 32.7 | 5.4 | 1.0 | 0.5 | 1.0 | 0.69 | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.33 | 45.7 | 40.6 | 8.4 | 1.6 | 0.7 | 3.0 | 0.76 | 全体 平均値 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.41 | 57.2 | 30.0 | 7.5 | 2.5 | 1.3 | 1.6 | 0.84 | 4.23 |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



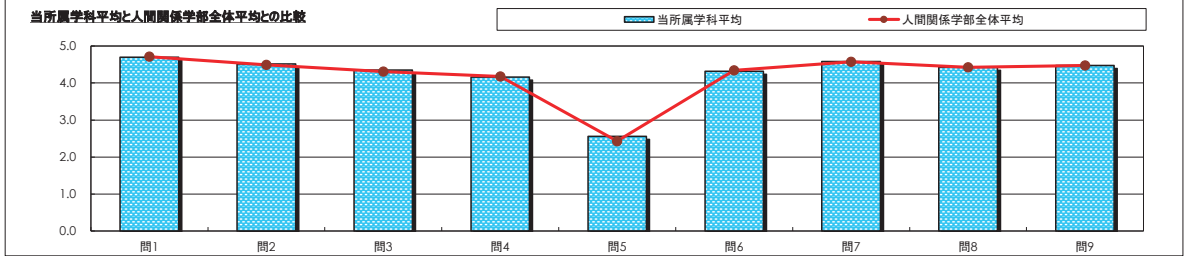
2025年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(所属学科別)

大妻女子大学

| 所属学科 | | 人間関係学科 社会・臨床心理学専攻 | | | | | | 受講者数 | - | |
|------|---|-------------------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|-------|-----------|
| | | | | | | | | 回答者数 | 1,959 | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.70 | 73.6 | 20.7 | 1.9 | 1.0 | 0.5 | 2.4 | 0.80 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.52 | 63.8 | 26.5 | 5.5 | 2.2 | 0.9 | 1.1 | 0.78 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.35 | 63.0 | 20.4 | 4.8 | 4.3 | 5.2 | 2.2 | 1.11 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.16 | 43.0 | 30.2 | 12.6 | 4.7 | 2.1 | 7.4 | 0.99 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.56 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.10 | |
| | | | 5.8 | 11.1 | 28.0 | 32.5 | 15.8 | 6.7 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.32 | 50.5 | 29.7 | 8.9 | 3.3 | 1.7 | 6.0 | 0.81 | 区分 平均値 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・もの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.58 | 66.6 | 27.6 | 3.4 | 1.3 | 0.8 | 0.4 | 0.70 | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.43 | 52.0 | 35.5 | 6.3 | 1.4 | 0.7 | 4.0 | 0.74 | 全体 平均値 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.47 | 61.9 | 27.5 | 5.9 | 2.2 | 1.6 | 0.9 | 0.84 | 4.23 |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



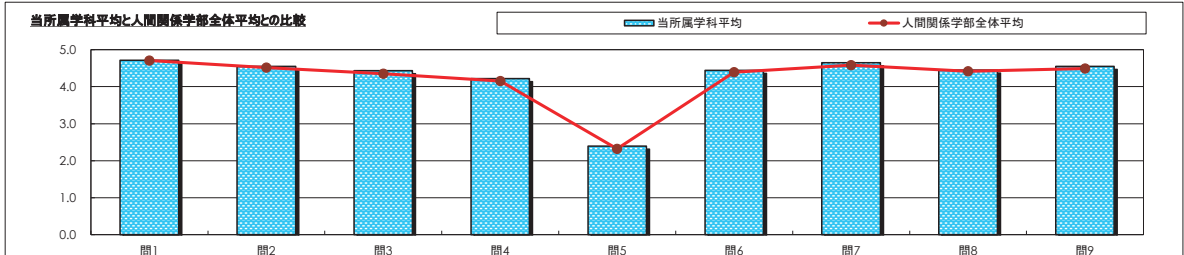
2025年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(所属学科別)

大妻女子大学

| 所属学科 | | 人間関係学科 社会・臨床心理学専攻 | | | | | | 受講者数 | - | |
|------|---|-------------------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|-------|-----------|
| | | | | | | | | 回答者数 | 1,467 | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.71 | 74.6 | 18.2 | 2.0 | 0.6 | 0.9 | 3.7 | 0.83 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.54 | 67.9 | 21.4 | 5.5 | 2.2 | 1.5 | 1.6 | 0.82 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.43 | 66.7 | 18.1 | 3.7 | 3.5 | 4.8 | 3.2 | 1.06 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.22 | 46.6 | 24.2 | 14.5 | 3.6 | 1.8 | 9.3 | 0.98 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.39 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.14 | |
| | | | 5.9 | 8.0 | 25.2 | 29.5 | 23.1 | 8.2 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.44 | 56.2 | 24.9 | 7.4 | 2.5 | 1.0 | 8.1 | 0.84 | 区分 平均値 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・もの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.65 | 71.6 | 22.6 | 3.6 | 1.5 | 0.2 | 0.5 | 0.65 | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.45 | 54.1 | 33.1 | 6.8 | 1.2 | 0.5 | 4.2 | 0.73 | 全体 平均値 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.55 | 67.3 | 24.1 | 4.7 | 2.2 | 1.3 | 0.4 | 0.79 | 4.23 |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

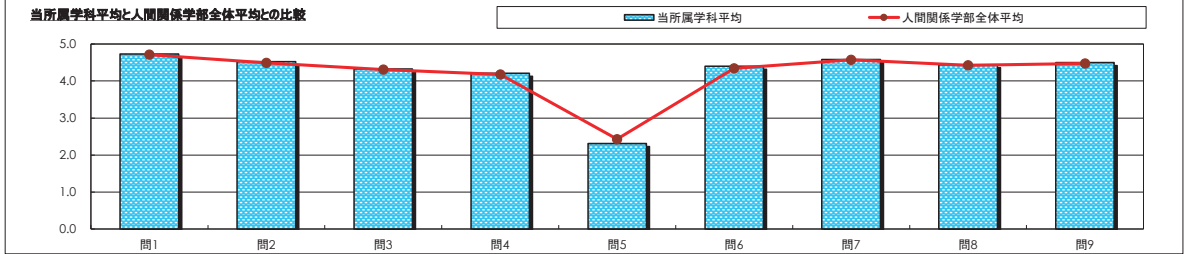


2025年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(所属学科別)

大妻女子大学

| 所属学科 | | 人間福祉学科 | | 受講者数 | | - | | | | |
|------|---|--------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|------------------|
| | | | | 回答者数 | | 1,467 | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | わからない/ 判断しづらい |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.73 | 73.7 | 20.2 | 1.9 | 0.4 | 0.3 | 3.5 | 0.55 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.53 | 65.1 | 24.3 | 4.7 | 2.8 | 1.1 | 2.0 | 0.81 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.32 | 59.5 | 20.0 | 7.1 | 4.6 | 4.2 | 4.6 | 1.09 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.21 | 47.4 | 25.5 | 12.8 | 4.4 | 2.0 | 7.8 | 1.00 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.31 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.07 | |
| | | | 4.6 | 6.3 | 22.4 | 35.3 | 21.1 | 10.2 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.40 | 54.0 | 24.2 | 8.5 | 2.5 | 1.4 | 9.4 | 0.89 | 区分 平均値 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.58 | 68.1 | 24.1 | 4.7 | 1.7 | 0.7 | 0.6 | 0.73 | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.44 | 54.7 | 31.1 | 7.9 | 1.8 | 0.4 | 4.1 | 0.76 | 全体 平均値 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.50 | 64.8 | 24.7 | 6.1 | 2.1 | 1.6 | 0.7 | 0.83 | 4.23 |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

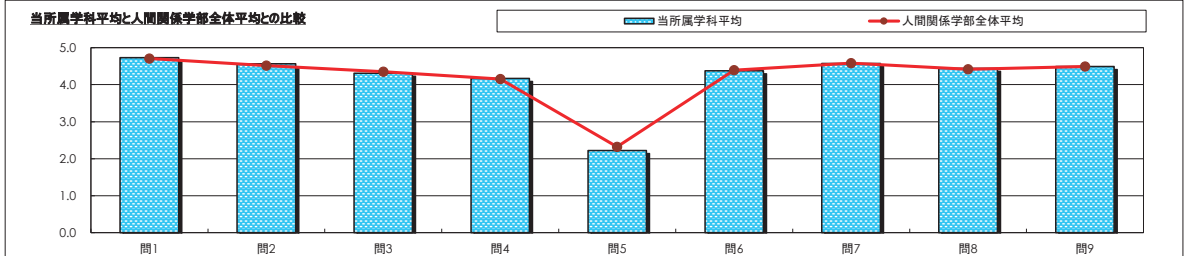


2025年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(所属学科別)

大妻女子大学

| 所属学科 | | 人間福祉学科 | | 受講者数 | | - | | | | |
|------|---|--------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|------------------|
| | | | | 回答者数 | | 1,228 | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | わからない/ 判断しづらい |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.73 | 75.2 | 19.3 | 2.0 | 0.7 | 0.2 | 2.5 | 0.56 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.56 | 65.2 | 25.8 | 4.8 | 1.5 | 0.7 | 1.9 | 0.73 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.31 | 58.6 | 22.5 | 6.7 | 4.2 | 4.6 | 3.5 | 1.09 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.17 | 45.3 | 25.9 | 13.6 | 4.9 | 2.2 | 8.1 | 1.02 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.22 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.04 | |
| | | | 3.7 | 5.5 | 21.7 | 34.4 | 23.9 | 10.8 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.37 | 52.6 | 29.1 | 10.3 | 2.1 | 0.9 | 5.0 | 0.84 | 区分 平均値 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.57 | 65.5 | 27.9 | 4.2 | 1.5 | 0.6 | 0.5 | 0.70 | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.44 | 53.0 | 34.4 | 7.7 | 0.8 | 0.4 | 3.6 | 0.71 | 全体 平均値 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.49 | 61.3 | 28.9 | 5.8 | 2.1 | 0.9 | 1.0 | 0.78 | 4.23 |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



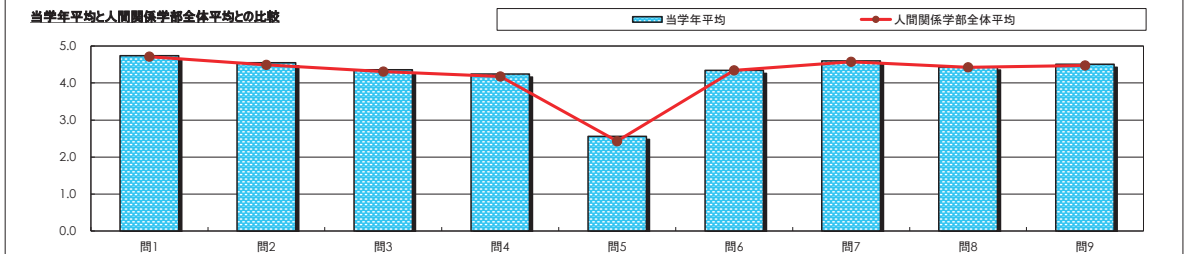
2025年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(学年別)

大妻女子大学

| 学年 | | 1年 | | 受講者数 | | - | | | | |
|----|---|------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|-----------|
| | | | | 回答者数 | | 1,848 | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.74 | 77.0 | 18.0 | 2.0 | 0.6 | 0.3 | 2.0 | 0.56 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.55 | 66.7 | 24.0 | 4.5 | 2.6 | 0.9 | 1.4 | 0.78 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.36 | 62.5 | 18.8 | 6.0 | 4.4 | 4.3 | 4.0 | 1.08 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.24 | 49.1 | 26.3 | 9.0 | 4.5 | 3.0 | 8.0 | 1.03 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.55 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.10 | |
| | | | 6.2 | 10.0 | 27.2 | 32.1 | 15.3 | 9.3 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.34 | 52.4 | 25.7 | 8.6 | 3.4 | 1.8 | 8.1 | 0.93 | 区分 平均値 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.60 | 69.0 | 24.0 | 3.6 | 2.1 | 0.7 | 0.6 | 0.72 | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.43 | 54.1 | 32.1 | 7.5 | 1.7 | 0.5 | 4.1 | 0.76 | 全体 平均値 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.50 | 65.5 | 24.2 | 5.5 | 3.0 | 1.3 | 0.5 | 0.83 | 4.23 |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



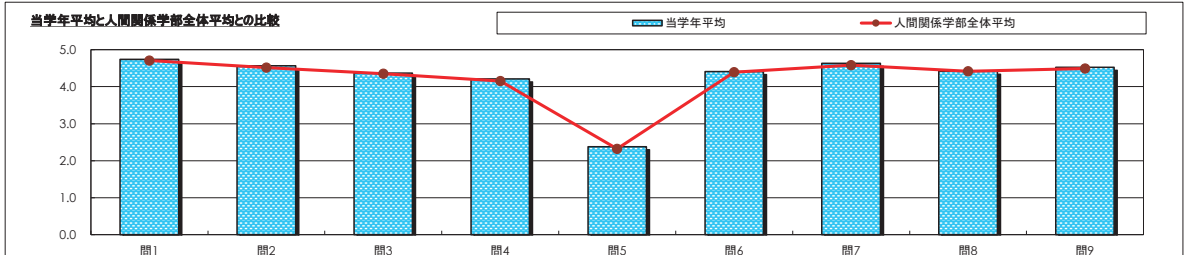
2025年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(学年別)

大妻女子大学

| 学年 | | 1年 | | 受講者数 | | - | | | | |
|----|---|------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|-----------|
| | | | | 回答者数 | | 1,638 | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.74 | 76.3 | 16.8 | 2.3 | 0.7 | 0.4 | 3.5 | 0.57 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.56 | 67.6 | 21.7 | 5.4 | 2.0 | 1.2 | 2.1 | 0.79 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.36 | 62.8 | 20.5 | 3.9 | 3.6 | 5.6 | 3.6 | 1.11 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.21 | 46.3 | 25.5 | 12.1 | 4.7 | 2.0 | 9.5 | 1.00 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.37 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.07 | |
| | | | 4.8 | 7.4 | 25.3 | 33.5 | 20.3 | 8.8 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.41 | 54.5 | 25.5 | 8.5 | 2.4 | 1.2 | 7.9 | 0.86 | 区分 平均値 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.63 | 70.5 | 23.1 | 3.5 | 2.1 | 0.2 | 0.6 | 0.67 | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.42 | 52.3 | 33.3 | 8.7 | 1.2 | 0.4 | 4.2 | 0.74 | 全体 平均値 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.52 | 64.8 | 25.3 | 5.1 | 2.6 | 1.0 | 1.3 | 0.80 | 4.23 |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

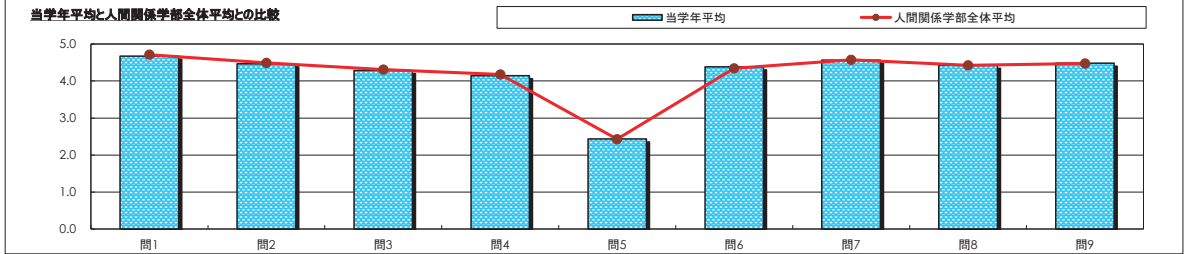


2025年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(学年別)

大妻女子大学

| 学年 | | 2年 | | 受講者数 | | - | | | | |
|----|---|------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|-----------|
| | | | | 回答者数 | | 1,590 | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.67 | 71.6 | 21.9 | 2.3 | 0.9 | 0.6 | 2.7 | 0.83 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.47 | 60.9 | 27.9 | 7.1 | 2.3 | 0.9 | 0.9 | 0.80 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.29 | 59.6 | 20.6 | 6.9 | 4.7 | 5.2 | 3.0 | 1.13 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.14 | 43.6 | 27.5 | 14.6 | 5.5 | 1.5 | 7.2 | 1.00 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.44 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.11 | |
| | | | 5.2 | 9.1 | 25.1 | 31.4 | 19.4 | 9.7 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.39 | 53.6 | 29.6 | 7.7 | 2.8 | 1.2 | 5.1 | 0.85 | 区分 平均値 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.57 | 65.1 | 28.6 | 4.1 | 1.3 | 0.6 | 0.3 | 0.89 | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.43 | 51.6 | 37.3 | 6.2 | 1.4 | 0.4 | 3.1 | 0.71 | 全体 平均値 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.48 | 61.2 | 29.1 | 5.9 | 1.8 | 1.3 | 0.7 | 0.80 | 4.22 |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

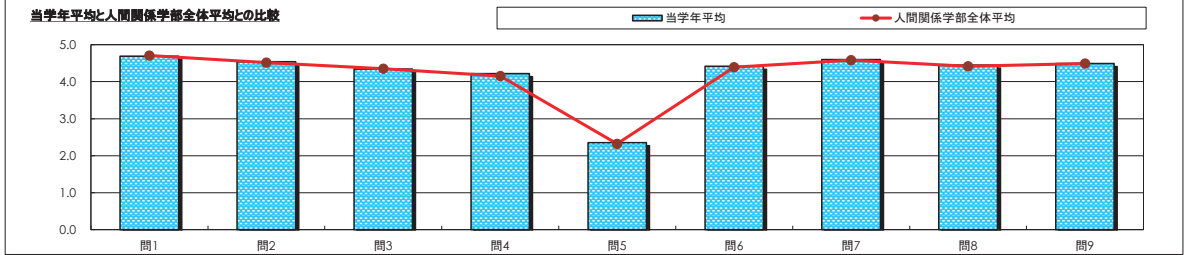


2025年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(学年別)

大妻女子大学

| 学年 | | 2年 | | 受講者数 | | - | | | | |
|----|---|------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|-----------|
| | | | | 回答者数 | | 1,126 | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.69 | 72.2 | 21.8 | 2.2 | 0.8 | 0.4 | 2.6 | 0.80 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.54 | 64.1 | 26.6 | 5.3 | 1.8 | 0.6 | 1.6 | 0.74 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.34 | 61.5 | 19.3 | 7.0 | 4.3 | 4.4 | 3.6 | 1.09 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.22 | 47.5 | 24.3 | 14.7 | 2.8 | 2.4 | 8.3 | 1.00 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.35 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.08 | |
| | | | 4.8 | 7.4 | 24.3 | 33.1 | 21.3 | 9.1 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.42 | 55.9 | 26.0 | 9.1 | 2.7 | 0.6 | 5.8 | 0.83 | 区分 平均値 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.60 | 66.3 | 27.6 | 4.4 | 0.8 | 0.3 | 0.5 | 0.84 | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.45 | 54.5 | 34.5 | 6.7 | 1.3 | 0.4 | 2.5 | 0.72 | 全体 平均値 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.49 | 63.1 | 27.1 | 6.0 | 1.7 | 1.6 | 0.6 | 0.82 | 4.25 |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

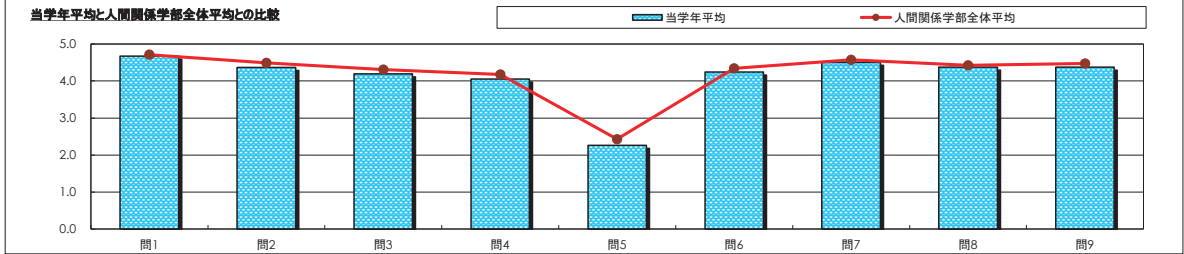


2025年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(学年別)

大妻女子大学

| 学年 | | 3年 | | 受講者数 | | - | | | | |
|----|---|------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|-----------|
| | | | | 回答者数 | | 989 | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.67 | 67.6 | 26.0 | 1.9 | 0.2 | 0.2 | 4.0 | 0.55 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.37 | 52.2 | 34.6 | 6.6 | 2.6 | 1.5 | 2.5 | 0.85 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.20 | 52.1 | 25.4 | 7.4 | 6.0 | 4.7 | 4.6 | 1.13 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.05 | 37.0 | 29.2 | 16.5 | 4.8 | 2.1 | 10.4 | 1.01 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.26 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.09 | |
| | | | 4.7 | 5.8 | 21.7 | 32.1 | 24.1 | 11.7 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.24 | 46.3 | 29.8 | 11.2 | 2.6 | 2.5 | 7.5 | 0.96 | 区分 平均値 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・もの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.51 | 59.0 | 34.3 | 3.4 | 1.4 | 0.9 | 0.9 | 0.72 | 全体 平均値 |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.38 | 48.9 | 35.9 | 6.9 | 1.9 | 0.8 | 5.6 | 0.78 | |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.37 | 53.8 | 34.3 | 6.3 | 2.9 | 1.6 | 1.1 | 0.86 | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

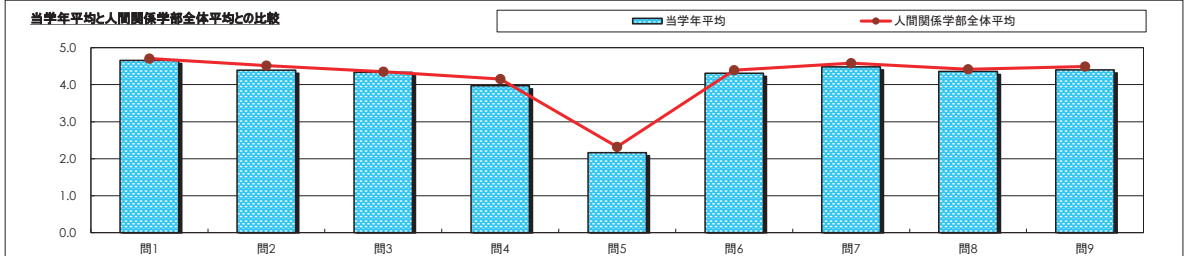


2025年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(学年別)

大妻女子大学

| 学年 | | 3年 | | 受講者数 | | - | | | | |
|----|---|------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|-----------|
| | | | | 回答者数 | | 767 | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.66 | 69.2 | 24.5 | 2.2 | 0.5 | 0.7 | 2.9 | 0.62 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.39 | 55.5 | 31.3 | 6.8 | 2.2 | 2.0 | 2.2 | 0.87 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.33 | 58.1 | 24.0 | 7.2 | 3.7 | 3.9 | 3.1 | 1.04 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 3.97 | 33.2 | 27.2 | 18.4 | 5.2 | 2.2 | 13.7 | 1.04 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.16 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.10 | |
| | | | 4.4 | 5.2 | 19.7 | 29.6 | 29.5 | 11.6 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.31 | 45.9 | 32.1 | 9.4 | 2.0 | 1.6 | 9.1 | 0.87 | 区分 平均値 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・もの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.49 | 58.1 | 34.0 | 5.3 | 0.9 | 0.9 | 0.7 | 0.72 | 全体 平均値 |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.36 | 45.6 | 40.9 | 6.9 | 1.2 | 0.8 | 4.6 | 0.74 | |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.40 | 55.5 | 32.7 | 7.7 | 2.7 | 0.8 | 0.5 | 0.81 | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

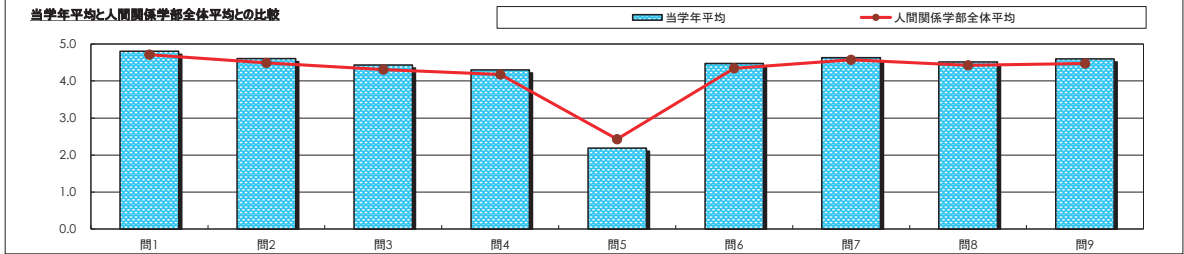


2025年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(学年別)

大妻女子大学

| 学年 | | 4年 | | 受講者数 | | - | | | | | |
|----|---|------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|------------------|------|
| | | | | 回答者数 | | 352 | | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | わからない/ 判断しづらい | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.81 | 79.3 | 14.8 | 0.9 | 0.3 | 0.3 | 4.5 | 0.48 | | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.61 | 71.6 | 18.2 | 4.8 | 3.1 | 0.3 | 2.0 | 0.75 | | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.44 | 65.3 | 19.0 | 7.4 | 2.6 | 3.4 | 2.3 | 0.99 | | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.30 | 47.2 | 27.0 | 10.2 | 2.8 | 1.4 | 11.4 | 0.91 | | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.19 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.08 | | |
| | | | 3.4 | 6.3 | 19.0 | 30.1 | 25.9 | 15.3 | | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.47 | 56.5 | 21.6 | 7.7 | 1.4 | 1.4 | 11.4 | 0.84 | 区分 平均値 | 4.31 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.63 | 71.9 | 21.9 | 3.1 | 1.7 | 0.9 | 0.6 | 0.71 | | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.51 | 61.4 | 25.3 | 7.4 | 1.4 | 0.6 | 4.0 | 0.75 | 全体 平均値 | 4.23 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.60 | 73.6 | 16.8 | 4.8 | 1.7 | 2.0 | 1.1 | 0.83 | | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

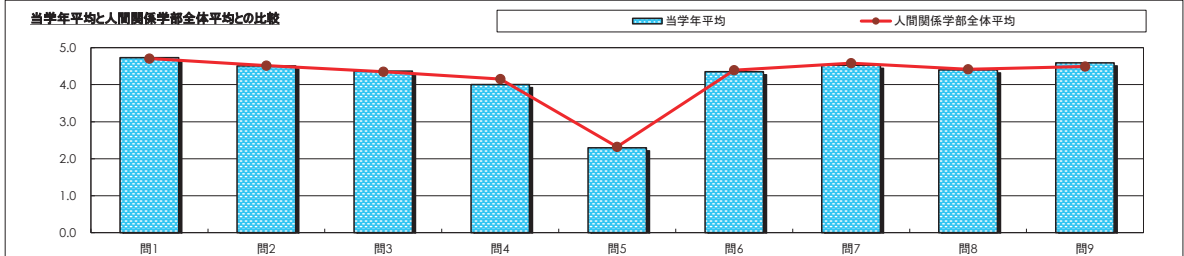


2025年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(学年別)

大妻女子大学

| 学年 | | 4年 | | 受講者数 | | - | | | | | |
|----|---|------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|------------------|------|
| | | | | 回答者数 | | 189 | | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | わからない/ 判断しづらい | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.73 | 75.1 | 19.6 | 1.6 | 0.5 | 0.5 | 2.6 | 0.57 | | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.51 | 64.0 | 23.3 | 6.9 | 1.6 | 1.6 | 2.6 | 0.83 | | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.36 | 60.3 | 22.2 | 6.9 | 2.1 | 4.8 | 3.7 | 1.05 | | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.01 | 38.6 | 22.8 | 20.1 | 2.6 | 4.2 | 11.6 | 1.11 | | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.29 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.18 | | |
| | | | 5.8 | 5.8 | 22.8 | 23.8 | 27.0 | 14.8 | | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.35 | 48.1 | 30.2 | 7.9 | 2.1 | 1.6 | 10.1 | 0.87 | 区分 平均値 | 4.22 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.53 | 60.8 | 30.7 | 5.8 | 0.0 | 1.1 | 1.6 | 0.71 | | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.40 | 49.7 | 39.7 | 5.3 | 0.5 | 1.6 | 3.2 | 0.76 | 全体 平均値 | 4.23 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.59 | 67.7 | 24.3 | 4.2 | 1.1 | 1.1 | 1.6 | 0.72 | | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



2025年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(授業方法別)

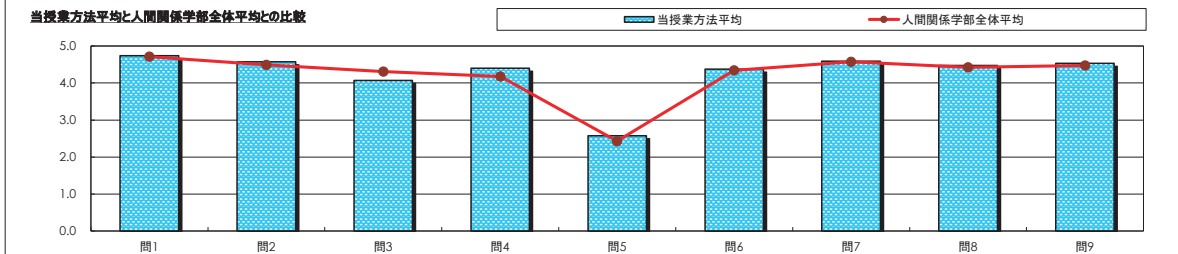
大妻女子大学

| 授業方法 | | 演習 | | | | | | | 受講者数 | 2,027 |
|------|---|------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|-----------|
| | | | | | | | | | 回答者数 | 1,253 |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.74 | 75.4 | 18.8 | 2.5 | 0.4 | 0.1 | 2.9 | 0.53 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.57 | 67.0 | 25.6 | 3.6 | 2.0 | 1.0 | 0.9 | 0.74 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.07 | 53.0 | 17.9 | 7.8 | 5.8 | 8.9 | 6.5 | 1.33 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.40 | 55.9 | 28.7 | 7.7 | 2.7 | 1.4 | 3.4 | 0.86 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.57 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.14 | |
| | | | 6.9 | 11.0 | 26.0 | 32.0 | 16.2 | 7.8 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.38 | 53.6 | 27.1 | 7.7 | 3.4 | 1.3 | 6.9 | 0.89 | 区分 平均値 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.59 | 68.0 | 25.7 | 3.0 | 1.8 | 0.9 | 0.6 | 0.72 | 全体 平均値 |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.48 | 55.2 | 34.2 | 4.6 | 1.6 | 0.5 | 3.8 | 0.71 | |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.54 | 65.9 | 25.5 | 4.4 | 2.5 | 1.1 | 0.6 | 0.79 | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※問1~9の平均値

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



2025年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(授業方法別)

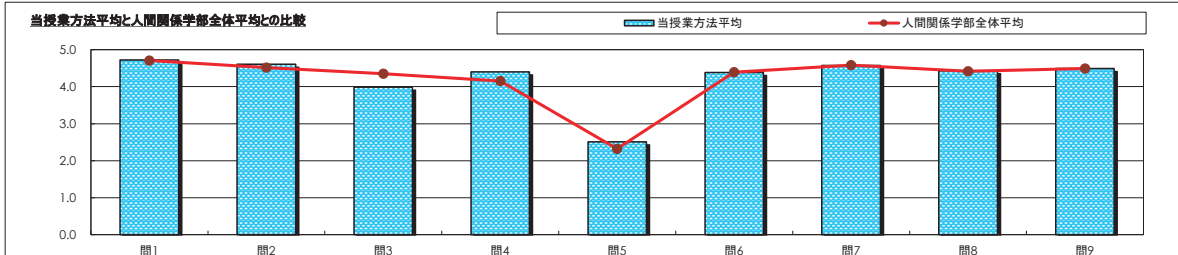
大妻女子大学

| 授業方法 | | 演習 | | | | | | | 受講者数 | 1,734 |
|------|---|------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|-----------|
| | | | | | | | | | 回答者数 | 938 |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.72 | 73.3 | 17.6 | 2.7 | 0.9 | 0.3 | 5.2 | 0.59 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.60 | 70.1 | 21.7 | 4.3 | 1.5 | 1.1 | 1.3 | 0.74 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 3.98 | 49.6 | 18.9 | 7.4 | 5.5 | 10.9 | 7.8 | 1.39 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.40 | 55.9 | 27.8 | 8.0 | 2.8 | 1.4 | 4.2 | 0.87 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.51 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.14 | |
| | | | 6.1 | 10.7 | 26.9 | 29.3 | 19.5 | 7.6 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.38 | 54.3 | 26.4 | 7.9 | 3.4 | 1.3 | 6.7 | 0.89 | 区分 平均値 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.58 | 66.5 | 26.8 | 3.8 | 2.1 | 0.3 | 0.4 | 0.70 | 全体 平均値 |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.43 | 52.3 | 35.8 | 6.9 | 1.1 | 0.4 | 3.4 | 0.71 | |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.49 | 64.3 | 25.7 | 4.8 | 3.4 | 1.3 | 0.5 | 0.84 | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※問1~9の平均値

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



2025年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(授業方法別)

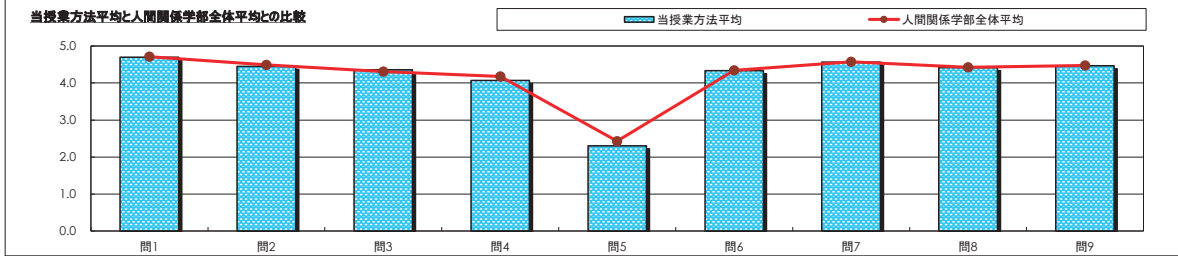
大妻女子大学

| 授業方法 | | 講義 | | | | | | | 受講者数 | 5,579 |
|------|---|------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|-----------|
| | | | | | | | | | 回答者数 | 3,089 |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.70 | 72.5 | 21.6 | 1.9 | 0.7 | 0.5 | 2.8 | 0.59 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.45 | 60.0 | 27.6 | 7.1 | 2.7 | 1.0 | 1.7 | 0.82 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.36 | 61.1 | 21.8 | 6.6 | 4.7 | 3.3 | 2.5 | 1.03 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.07 | 39.9 | 26.4 | 14.7 | 5.6 | 2.6 | 10.9 | 1.06 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.30 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.06 | |
| | | | 4.0 | 6.3 | 23.5 | 33.1 | 21.6 | 11.5 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.33 | 51.0 | 27.4 | 9.6 | 2.5 | 1.8 | 7.7 | 0.81 | 区分 平均値 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.56 | 65.0 | 28.5 | 3.9 | 1.6 | 0.6 | 0.5 | 0.70 | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.42 | 52.1 | 34.0 | 7.9 | 1.6 | 0.4 | 4.1 | 0.75 | 全体 平均値 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.46 | 60.9 | 28.5 | 6.1 | 2.6 | 1.3 | 0.7 | 0.82 | 4.23 |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※問1~9の平均値

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



2025年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(授業方法別)

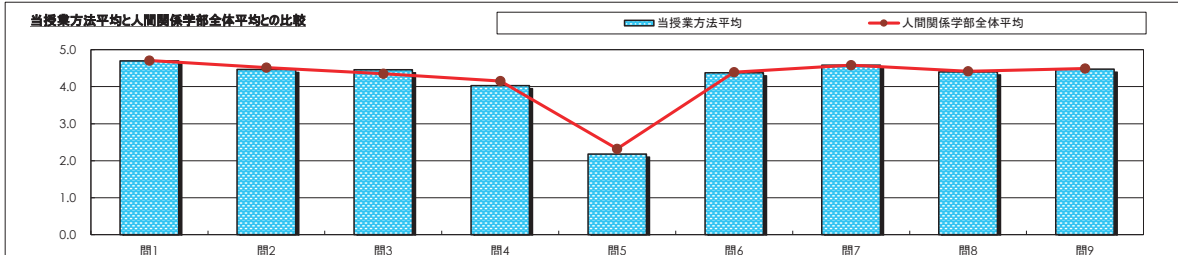
大妻女子大学

| 授業方法 | | 講義 | | | | | | | 受講者数 | 5,232 |
|------|---|------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|-----------|
| | | | | | | | | | 回答者数 | 2,548 |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.69 | 72.8 | 21.5 | 2.2 | 0.6 | 0.5 | 2.4 | 0.60 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.47 | 60.4 | 27.3 | 6.6 | 2.1 | 1.3 | 2.4 | 0.82 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.46 | 64.8 | 22.0 | 5.1 | 3.3 | 2.7 | 2.0 | 0.94 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.03 | 37.5 | 24.9 | 17.3 | 4.9 | 2.7 | 12.7 | 1.06 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.18 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.03 | |
| | | | 3.6 | 4.7 | 21.4 | 34.1 | 25.5 | 10.7 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.37 | 50.8 | 28.2 | 9.5 | 2.0 | 1.1 | 8.4 | 0.85 | 区分 平均値 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.58 | 65.5 | 27.7 | 4.6 | 1.1 | 0.4 | 0.7 | 0.68 | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.40 | 50.5 | 36.0 | 8.0 | 1.1 | 0.5 | 3.8 | 0.74 | 全体 平均値 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.48 | 61.0 | 28.3 | 6.5 | 1.9 | 1.2 | 1.1 | 0.80 | 4.23 |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※問1~9の平均値

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



2025年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(授業方法別)

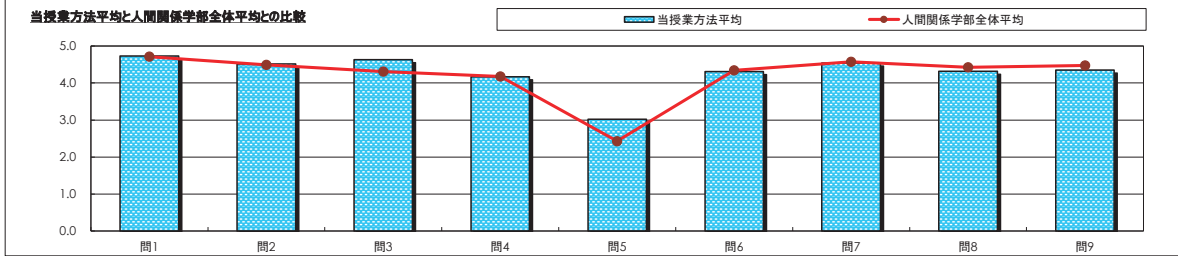
大妻女子大学

| 授業方法 | | 講義・演習 | | 受講者数 | 544 | | | | | |
|------|---|-------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|-----------|
| | | | | 回答者数 | 376 | | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.73 | 75.5 | 18.6 | 1.3 | 0.3 | 1.1 | 3.2 | 0.81 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.52 | 64.1 | 27.1 | 3.2 | 2.9 | 1.3 | 1.3 | 0.81 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.63 | 72.6 | 19.4 | 3.5 | 1.3 | 1.6 | 1.6 | 0.76 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.17 | 44.7 | 30.9 | 11.2 | 5.6 | 2.1 | 5.6 | 1.00 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 3.02 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.13 | |
| | | | 10.9 | 19.7 | 33.2 | 21.8 | 8.8 | 5.6 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.31 | 53.2 | 29.3 | 6.1 | 4.8 | 2.7 | 4.0 | 0.99 | 区分 平均値 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.54 | 64.9 | 25.8 | 5.1 | 1.6 | 1.1 | 1.6 | 0.76 | 全体 平均値 |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.32 | 48.7 | 34.8 | 7.7 | 2.4 | 1.9 | 4.5 | 0.88 | |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.35 | 58.5 | 25.8 | 7.4 | 2.4 | 4.0 | 1.9 | 1.01 | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※問1~9の平均値

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



2025年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(授業方法別)

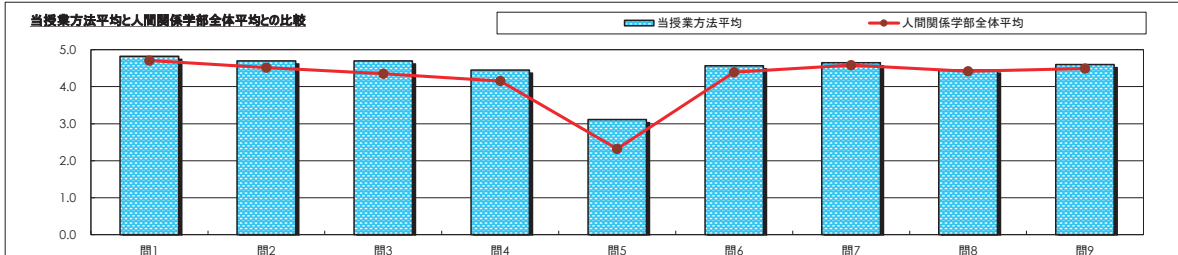
大妻女子大学

| 授業方法 | | 講義・演習 | | 受講者数 | 437 | | | | | |
|------|---|-------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|-----------|
| | | | | 回答者数 | 203 | | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.82 | 83.3 | 13.3 | 1.5 | 0.5 | 0.0 | 1.5 | 0.46 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.70 | 76.8 | 17.7 | 3.0 | 1.5 | 0.5 | 0.5 | 0.65 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.70 | 74.9 | 20.2 | 2.5 | 1.0 | 0.5 | 1.0 | 0.62 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.45 | 60.6 | 20.7 | 11.8 | 1.5 | 1.0 | 4.4 | 0.85 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 3.12 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.08 | |
| | | | 13.3 | 17.2 | 40.9 | 20.7 | 5.9 | 2.0 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.56 | 68.0 | 22.7 | 5.4 | 2.0 | 1.0 | 1.0 | 0.77 | 区分 平均値 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.65 | 70.0 | 24.6 | 3.4 | 0.5 | 0.5 | 1.0 | 0.62 | 全体 平均値 |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.45 | 55.2 | 32.5 | 5.4 | 2.5 | 0.5 | 3.9 | 0.76 | |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.60 | 67.5 | 26.1 | 3.0 | 2.0 | 0.5 | 1.0 | 0.69 | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※問1~9の平均値

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



2025年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(授業方法別)

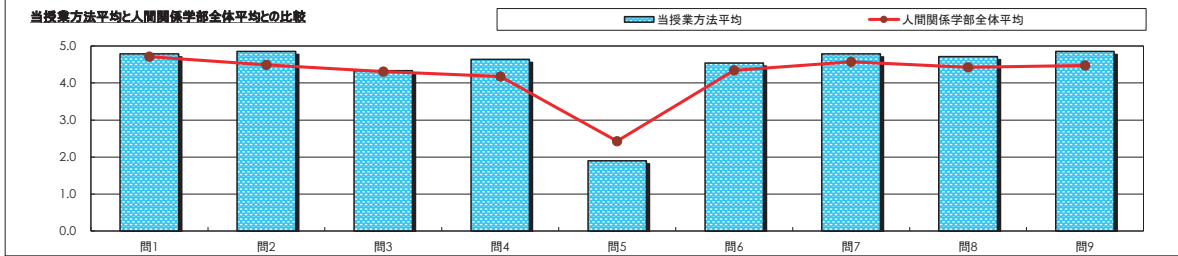
大妻女子大学

| 授業方法 | | 講義・実習 | | | | | | 受講者数 | 27 | | |
|------|---|-------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|------------------|------|
| | | | | | | | | 回答者数 | 14 | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | わからない/ 判断しづらい | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.79 | 78.6 | 21.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.43 | | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.86 | 85.7 | 14.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.36 | | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.33 | 42.9 | 35.7 | 0.0 | 7.1 | 0.0 | 14.3 | 0.89 | | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.64 | 71.4 | 21.4 | 7.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.63 | | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 1.90 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 0.99 | | |
| | | | 0.0 | 7.1 | 7.1 | 28.6 | 28.6 | 28.6 | | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.54 | 57.1 | 28.6 | 7.1 | 0.0 | 0.0 | 7.1 | 0.66 | 区分 平均値 | 4.46 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.79 | 78.6 | 21.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.43 | | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.71 | 71.4 | 28.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.47 | 全体 平均値 | 4.23 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.86 | 85.7 | 14.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.36 | | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※問1~9の平均値

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



2025年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(授業方法別)

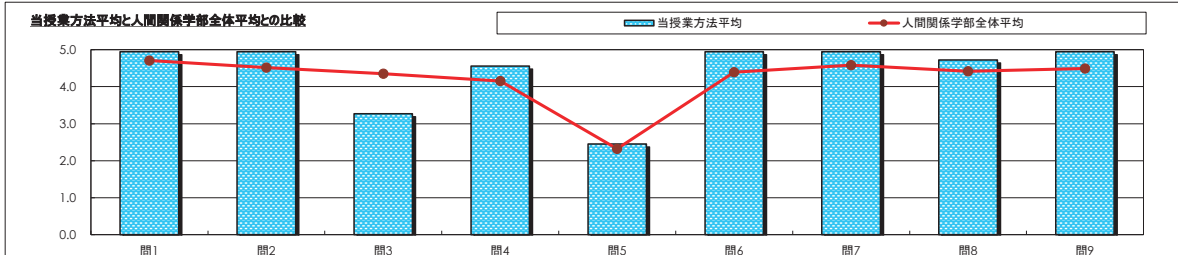
大妻女子大学

| 授業方法 | | 講義・実習 | | | | | | 受講者数 | 23 | | |
|------|---|-------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|------------------|------|
| | | | | | | | | 回答者数 | 19 | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | わからない/ 判断しづらい | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.95 | 94.7 | 5.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.23 | | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.95 | 94.7 | 5.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.23 | | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 3.27 | 31.6 | 0.0 | 26.3 | 0.0 | 21.1 | 21.1 | 1.67 | | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.56 | 63.2 | 21.1 | 10.5 | 0.0 | 0.0 | 5.3 | 0.70 | | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.45 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.13 | | |
| | | | 5.3 | 0.0 | 21.1 | 21.1 | 10.5 | 42.1 | | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.94 | 84.2 | 5.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 10.5 | 0.24 | 区分 平均値 | 4.54 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.95 | 94.7 | 5.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.23 | | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.72 | 73.7 | 15.8 | 5.3 | 0.0 | 0.0 | 5.3 | 0.57 | 全体 平均値 | 4.23 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.95 | 94.7 | 5.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.23 | | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※問1~9の平均値

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

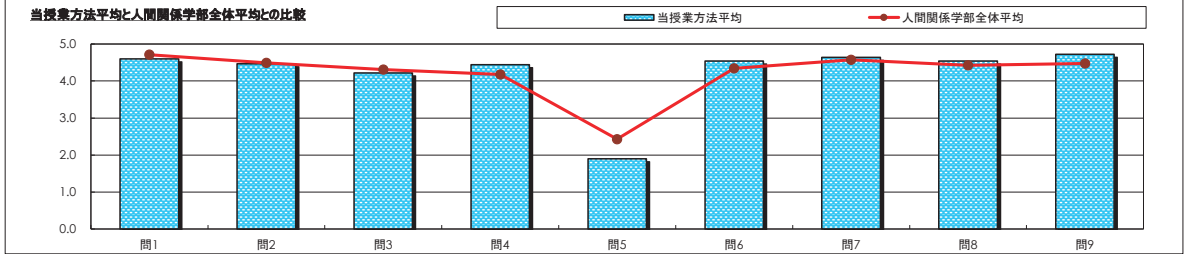


2025年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(授業方法別)

大妻女子大学

| 授業方法 | | 実技 | | | | | | 受講者数 | 86 | | |
|------|---|------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|------------------|------|
| | | | | | | | | 回答者数 | 47 | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | わからない/ 判断しづらい | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.60 | 61.7 | 36.2 | 2.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.54 | | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.47 | 51.1 | 34.0 | 4.3 | 2.1 | 0.0 | 8.5 | 0.70 | | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.22 | 36.2 | 38.3 | 8.5 | 4.3 | 0.0 | 12.8 | 0.82 | | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.44 | 48.9 | 29.8 | 6.4 | 2.1 | 0.0 | 12.8 | 0.74 | | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 1.90 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.06 | | |
| | | | 2.1 | 2.1 | 12.8 | 17.0 | 29.8 | 36.2 | | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.54 | 51.1 | 31.9 | 4.3 | 0.0 | 0.0 | 12.8 | 0.60 | 区分 平均値 | 4.32 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.64 | 70.2 | 27.7 | 0.0 | 0.0 | 2.1 | 0.0 | 0.70 | | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.54 | 57.4 | 36.2 | 4.3 | 0.0 | 0.0 | 2.1 | 0.59 | 全体 平均値 | 4.23 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.72 | 76.6 | 19.1 | 4.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.54 | | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

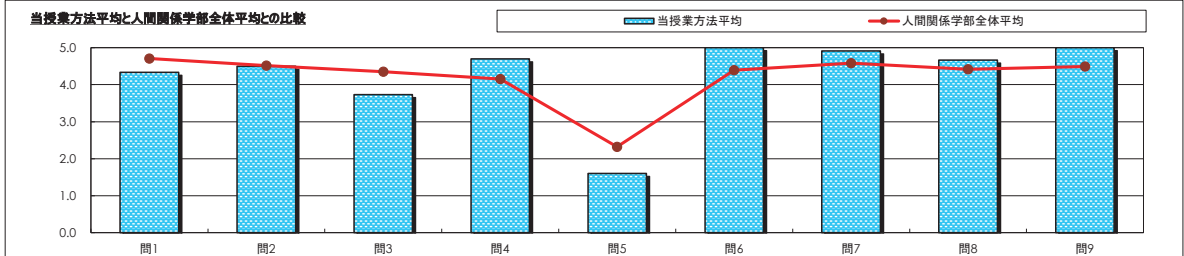


2025年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(授業方法別)

大妻女子大学

| 授業方法 | | 実技 | | | | | | 受講者数 | 38 | | |
|------|---|------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|------------------|------|
| | | | | | | | | 回答者数 | 12 | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | わからない/ 判断しづらい | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.33 | 58.3 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 8.3 | 0.0 | 1.15 | | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.50 | 58.3 | 16.7 | 0.0 | 8.3 | 0.0 | 16.7 | 0.97 | | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 3.73 | 58.3 | 0.0 | 8.3 | 0.0 | 25.0 | 8.3 | 1.85 | | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.70 | 58.3 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 16.7 | 0.48 | | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 1.60 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 0.55 | | |
| | | | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 16.7 | 58.3 | | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 5.00 | 66.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 33.3 | 0.00 | 区分 平均値 | 4.43 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.91 | 83.3 | 8.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 8.3 | 0.30 | | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.67 | 75.0 | 16.7 | 8.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.85 | 全体 平均値 | 4.23 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 5.00 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.00 | | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

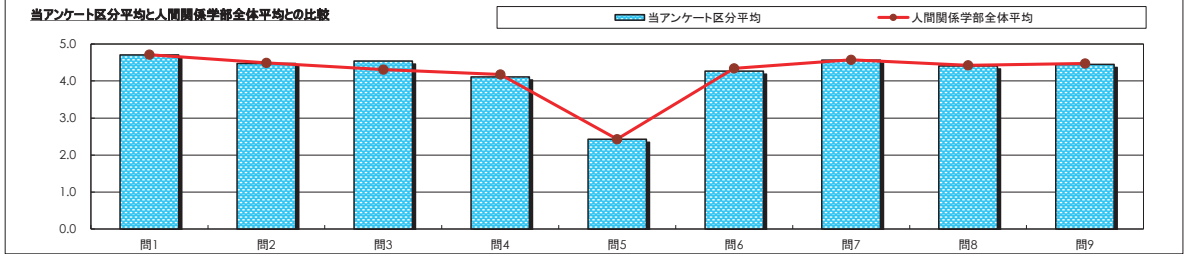


2025年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

| アンケート区分 | | 31人間(教養科目) | | 受講者数 | | 1,780 | | | | |
|---------|---|------------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|-----------|
| | | | | 回答者数 | | 1,102 | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.70 | 73.6 | 20.7 | 2.5 | 0.6 | 0.4 | 2.2 | 0.59 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.47 | 60.6 | 27.1 | 6.7 | 2.8 | 0.7 | 2.0 | 0.80 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.54 | 67.6 | 21.4 | 5.4 | 2.1 | 1.6 | 1.8 | 0.83 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.11 | 42.1 | 27.6 | 13.1 | 4.5 | 3.3 | 9.4 | 1.06 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.42 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.06 | |
| | | | 4.3 | 8.8 | 25.5 | 33.0 | 18.0 | 10.4 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.27 | 49.4 | 25.6 | 11.4 | 3.7 | 2.0 | 7.9 | 0.87 | 区分 平均値 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・もの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.56 | 67.0 | 26.2 | 3.4 | 1.9 | 1.2 | 0.4 | 0.76 | 全体 平均値 |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.41 | 52.1 | 34.5 | 7.6 | 2.0 | 0.4 | 3.4 | 0.75 | |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.45 | 61.3 | 27.5 | 5.5 | 3.4 | 1.5 | 0.8 | 0.86 | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

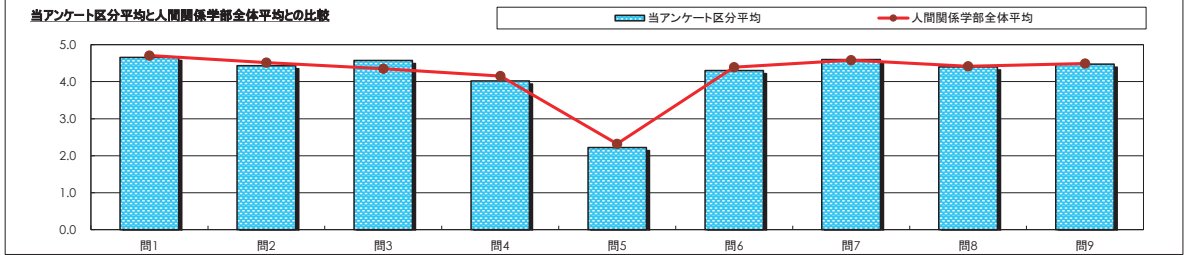


2025年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

| アンケート区分 | | 31人間(教養科目) | | 受講者数 | | 1,896 | | | | |
|---------|---|------------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|-----------|
| | | | | 回答者数 | | 1,012 | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.66 | 71.4 | 21.3 | 2.3 | 0.9 | 1.2 | 2.9 | 0.69 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.43 | 58.5 | 27.6 | 6.5 | 2.7 | 1.7 | 3.1 | 0.87 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.57 | 69.3 | 21.8 | 2.9 | 2.7 | 1.6 | 1.8 | 0.81 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.02 | 36.9 | 24.4 | 15.8 | 4.9 | 3.2 | 14.8 | 1.09 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.22 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.05 | |
| | | | 3.4 | 5.9 | 22.3 | 31.2 | 25.1 | 12.1 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.30 | 47.2 | 26.2 | 10.4 | 2.9 | 1.5 | 11.9 | 0.92 | 区分 平均値 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・もの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.60 | 66.7 | 27.4 | 3.3 | 1.6 | 0.4 | 0.7 | 0.67 | 全体 平均値 |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.40 | 50.7 | 35.3 | 7.3 | 2.0 | 0.5 | 4.2 | 0.76 | |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.47 | 61.5 | 28.4 | 5.9 | 1.9 | 1.6 | 0.8 | 0.82 | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

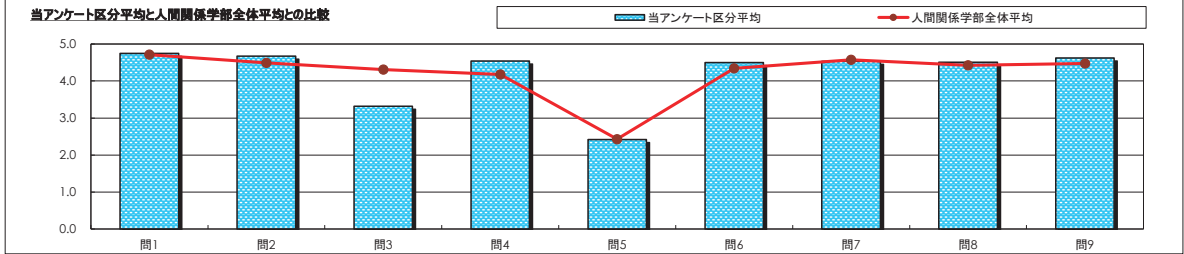


2025年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

| アンケート区分 | | 35人(外国語科目) | | | | | | | 受講者数 | 788 |
|---------|---|------------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|-----------|
| | | | | | | | | | 回答者数 | 421 |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.74 | 74.1 | 18.5 | 2.6 | 0.2 | 0.0 | 4.5 | 0.51 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.67 | 73.4 | 22.1 | 2.6 | 1.0 | 0.7 | 0.2 | 0.65 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 3.32 | 34.4 | 10.9 | 9.5 | 10.5 | 20.9 | 13.8 | 1.85 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.54 | 63.7 | 29.0 | 4.5 | 2.4 | 0.2 | 0.2 | 0.72 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.42 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.11 | |
| | | | 6.2 | 8.6 | 22.6 | 36.8 | 19.2 | 6.7 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.50 | 59.6 | 25.4 | 5.0 | 2.6 | 1.0 | 6.4 | 0.80 | 区分 平均値 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.53 | 64.8 | 27.1 | 3.3 | 3.3 | 0.7 | 0.7 | 0.78 | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.51 | 56.5 | 33.5 | 5.5 | 0.7 | 0.2 | 3.6 | 0.66 | 全体 平均値 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.62 | 72.0 | 21.1 | 4.0 | 1.7 | 1.0 | 0.2 | 0.73 | 4.23 |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

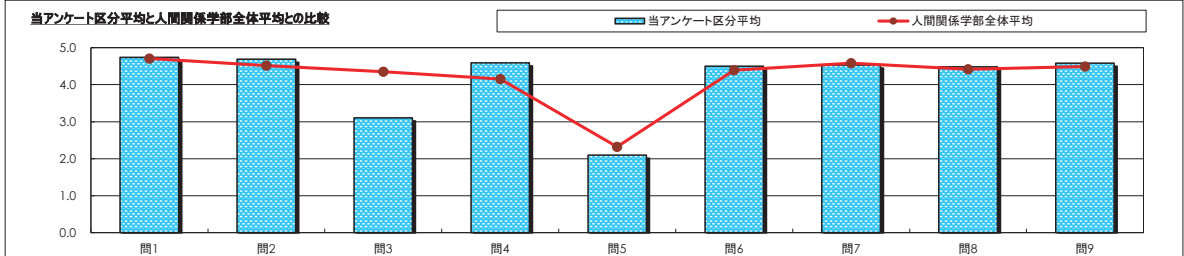


2025年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

| アンケート区分 | | 35人(外国語科目) | | | | | | | 受講者数 | 773 |
|---------|---|------------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|-----------|
| | | | | | | | | | 回答者数 | 339 |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.74 | 71.1 | 15.6 | 3.2 | 0.6 | 0.0 | 9.4 | 0.55 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.69 | 74.9 | 19.5 | 3.5 | 0.6 | 0.6 | 0.9 | 0.63 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 3.10 | 28.3 | 11.5 | 9.7 | 10.3 | 24.5 | 15.6 | 1.66 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.59 | 65.2 | 28.9 | 5.0 | 0.6 | 0.0 | 0.3 | 0.62 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.09 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.04 | |
| | | | 2.9 | 5.6 | 20.4 | 31.6 | 31.9 | 7.7 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.50 | 60.2 | 22.7 | 6.5 | 3.2 | 0.3 | 7.1 | 0.80 | 区分 平均値 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.53 | 64.6 | 26.3 | 5.6 | 2.7 | 0.3 | 0.6 | 0.75 | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.48 | 56.9 | 31.0 | 7.7 | 0.6 | 0.6 | 3.2 | 0.72 | 全体 平均値 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.58 | 72.0 | 18.0 | 4.7 | 3.8 | 0.6 | 0.9 | 0.80 | 4.23 |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

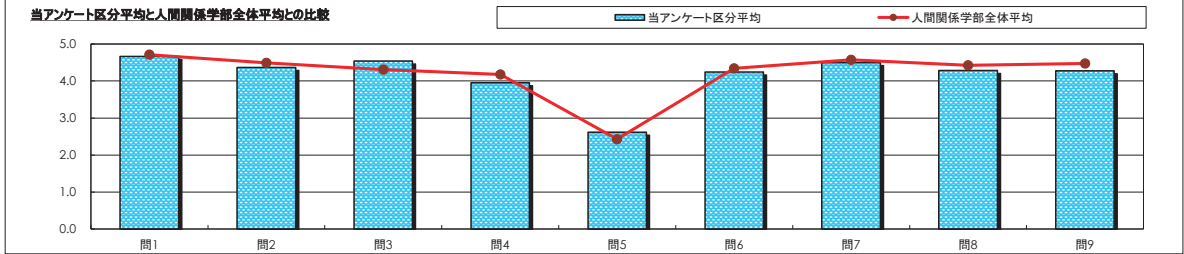


2025年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

| アンケート区分 | | 51人間関係学部(共通科目) | | 受講者数 | | 625 | | | |
|---------|---|----------------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-----------|------|
| | | | | 回答者数 | | 412 | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.66 | 72.3 | 20.9 | 2.9 | 1.5 | 0.5 | 1.9 | 0.66 |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.37 | 57.8 | 26.5 | 9.0 | 3.6 | 1.7 | 1.5 | 0.92 |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.54 | 68.4 | 22.6 | 4.6 | 2.4 | 1.7 | 0.2 | 0.83 |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 3.95 | 37.4 | 24.3 | 11.9 | 7.0 | 5.1 | 14.3 | 1.20 |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.62 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.03 |
| | | | 5.3 | 9.2 | 31.1 | 32.0 | 10.9 | 11.4 | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.24 | 46.8 | 28.6 | 11.2 | 3.2 | 2.4 | 7.8 | 0.97 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.50 | 63.3 | 25.5 | 7.3 | 2.7 | 0.5 | 0.7 | 0.79 |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.28 | 45.9 | 32.8 | 13.1 | 2.7 | 0.2 | 5.3 | 0.83 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.28 | 54.6 | 26.9 | 10.9 | 5.1 | 1.9 | 0.5 | 0.98 |
| | | | | | | | | 区分 平均値 | 4.18 |
| | | | | | | | | 全体 平均値 | 4.23 |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

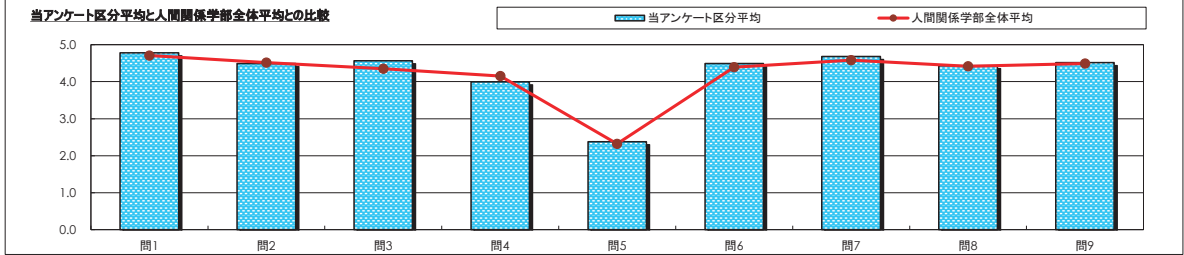


2025年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

| アンケート区分 | | 51人間関係学部(共通科目) | | 受講者数 | | 842 | | | |
|---------|---|----------------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-----------|------|
| | | | | 回答者数 | | 462 | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.78 | 78.1 | 16.7 | 1.5 | 0.6 | 0.0 | 3.0 | 0.50 |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.49 | 64.1 | 22.1 | 7.8 | 2.2 | 1.3 | 2.6 | 0.84 |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.56 | 70.1 | 20.8 | 2.6 | 2.8 | 2.2 | 1.5 | 0.86 |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.00 | 36.8 | 26.8 | 16.5 | 6.7 | 2.4 | 10.8 | 1.07 |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.37 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.02 |
| | | | 4.5 | 5.2 | 26.4 | 35.9 | 17.1 | 10.8 | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.49 | 57.6 | 26.6 | 6.5 | 1.1 | 1.1 | 7.1 | 0.78 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.68 | 73.4 | 21.9 | 3.0 | 0.9 | 0.2 | 0.6 | 0.60 |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.44 | 53.0 | 32.3 | 8.9 | 0.6 | 0.4 | 4.8 | 0.73 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.52 | 63.9 | 26.6 | 4.3 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 0.81 |
| | | | | | | | | 区分 平均値 | 4.28 |
| | | | | | | | | 全体 平均値 | 4.23 |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

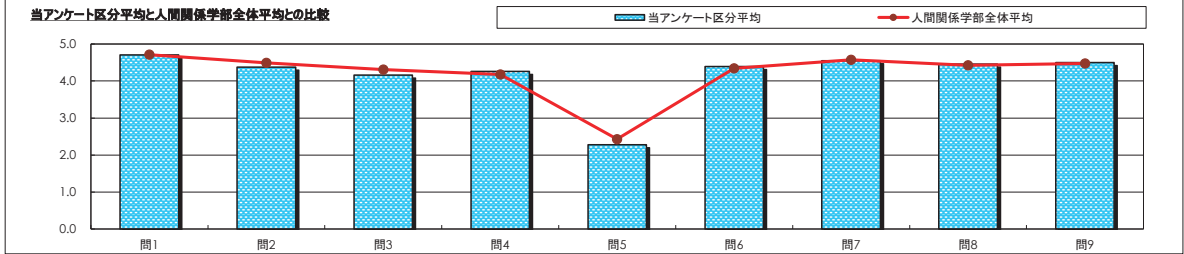


2025年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

| アンケート区分 | | 53人間関係学専攻(専門科目) | | | | | | | 受講者数 | 1,349 |
|---------|---|-----------------|--------|------------|------------|------------|--------|-------|------|-----------|
| | | | | | | | | | 回答者数 | 690 |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | |
| | | | そう思う | ややそう思う | どちらともいえない | あまりそう思わない | そう思わない | | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.71 | 72.8 | 21.6 | 1.7 | 0.3 | 0.6 | 3.0 | 0.58 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.37 | 53.5 | 32.8 | 8.1 | 3.0 | 0.9 | 1.7 | 0.83 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.16 | 48.4 | 25.8 | 11.4 | 5.8 | 3.5 | 5.1 | 1.09 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.26 | 48.0 | 25.5 | 12.5 | 4.2 | 1.2 | 8.7 | 0.95 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.28 | 3時間以上 | 2時間以上3時間未満 | 1時間以上2時間未満 | 30分以上1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.20 | |
| | | | 5.4 | 7.7 | 17.7 | 23.9 | 26.4 | 19.0 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.39 | 53.8 | 28.7 | 8.7 | 2.0 | 1.3 | 5.5 | 0.85 | 区分 平均値 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.55 | 61.0 | 33.3 | 2.6 | 1.7 | 0.3 | 1.0 | 0.86 | 全体 平均値 |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.46 | 53.6 | 34.1 | 5.9 | 1.4 | 0.4 | 4.5 | 0.72 | |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.49 | 60.6 | 31.0 | 4.2 | 2.2 | 1.0 | 1.0 | 0.77 | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

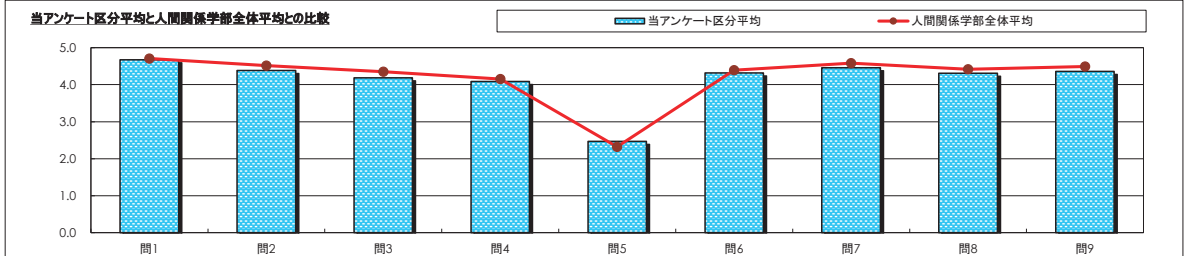


2025年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

| アンケート区分 | | 53人間関係学専攻(専門科目) | | | | | | | 受講者数 | 1,276 |
|---------|---|-----------------|--------|------------|------------|------------|--------|-------|------|-----------|
| | | | | | | | | | 回答者数 | 463 |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | |
| | | | そう思う | ややそう思う | どちらともいえない | あまりそう思わない | そう思わない | | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.67 | 69.1 | 25.3 | 2.6 | 0.4 | 0.0 | 2.6 | 0.55 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.38 | 55.7 | 29.2 | 8.0 | 2.8 | 1.7 | 2.6 | 0.89 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.19 | 53.6 | 22.5 | 9.3 | 4.5 | 5.8 | 4.3 | 1.17 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.09 | 39.1 | 25.3 | 16.0 | 3.2 | 3.0 | 13.4 | 1.05 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.47 | 3時間以上 | 2時間以上3時間未満 | 1時間以上2時間未満 | 30分以上1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.17 | |
| | | | 7.1 | 8.6 | 25.1 | 29.2 | 21.2 | 8.9 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.32 | 48.4 | 31.3 | 9.1 | 2.8 | 1.3 | 7.1 | 0.87 | 区分 平均値 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.46 | 54.9 | 35.4 | 6.9 | 0.9 | 0.4 | 1.5 | 0.70 | 全体 平均値 |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.31 | 43.6 | 42.5 | 7.3 | 1.9 | 0.9 | 3.7 | 0.77 | |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.35 | 53.1 | 32.6 | 8.6 | 3.5 | 0.9 | 1.3 | 0.85 | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

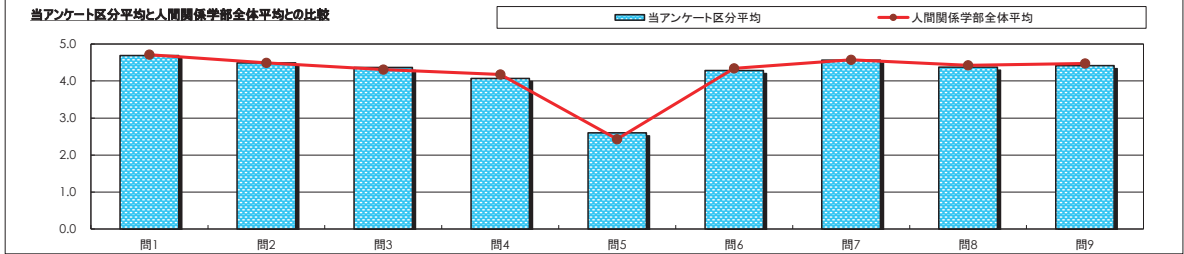


2025年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

| アンケート区分 | | 54人間関係学科社会・臨床心理学専攻(専門科目) | | | | | | | 受講者数 | 1,911 | |
|---------|---|--------------------------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|------------------|------|-----------|------|
| | | | | | | | | | 回答者数 | 1,122 | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | | 標準偏差 | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | わからない/ 判断しづらい | | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.69 | 72.4 | 21.7 | 1.8 | 1.0 | 0.5 | 2.7 | 0.61 | | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.49 | 62.2 | 27.8 | 5.0 | 2.7 | 1.2 | 1.1 | 0.82 | | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.37 | 63.9 | 21.3 | 4.3 | 5.3 | 4.2 | 1.1 | 1.07 | | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.07 | 38.2 | 30.7 | 14.1 | 6.1 | 2.0 | 8.8 | 1.02 | | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.60 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.11 | | |
| | | | 6.3 | 11.3 | 29.7 | 30.4 | 15.5 | 6.8 | | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.29 | 48.3 | 31.5 | 8.2 | 3.3 | 2.2 | 6.5 | 0.84 | 区分 平均値 | 4.22 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.57 | 64.3 | 29.7 | 3.7 | 0.9 | 0.8 | 0.5 | 0.89 | 全体 平均値 | 4.23 |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.38 | 49.2 | 36.9 | 6.4 | 1.6 | 1.2 | 4.7 | 0.79 | | |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.42 | 57.8 | 30.7 | 6.4 | 2.3 | 1.8 | 1.0 | 0.85 | | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます ※問1～9の平均値

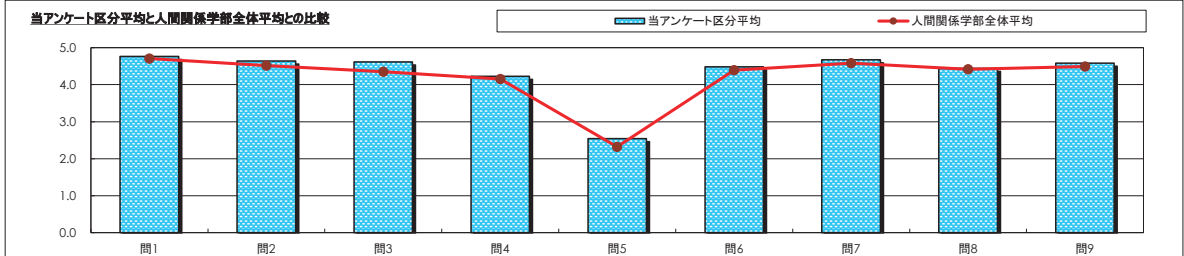


2025年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

| アンケート区分 | | 54人間関係学科社会・臨床心理学専攻(専門科目) | | | | | | | 受講者数 | 1,186 | |
|---------|---|--------------------------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|------------------|------|-----------|------|
| | | | | | | | | | 回答者数 | 597 | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | | 標準偏差 | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | わからない/ 判断しづらい | | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.76 | 77.6 | 18.8 | 1.0 | 0.5 | 0.3 | 1.8 | 0.52 | | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.64 | 71.4 | 23.6 | 2.7 | 1.0 | 1.0 | 0.3 | 0.68 | | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.61 | 73.5 | 18.6 | 3.7 | 2.3 | 1.3 | 0.5 | 0.78 | | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.22 | 47.6 | 25.6 | 16.9 | 3.0 | 1.2 | 5.7 | 0.84 | | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.54 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.16 | | |
| | | | 7.9 | 9.4 | 28.6 | 30.5 | 19.3 | 4.4 | | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.49 | 60.3 | 27.1 | 5.7 | 2.8 | 0.7 | 3.4 | 0.79 | 区分 平均値 | 4.34 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.67 | 72.7 | 22.6 | 3.5 | 0.7 | 0.3 | 0.2 | 0.61 | 全体 平均値 | 4.23 |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.44 | 52.3 | 37.0 | 6.2 | 1.0 | 0.5 | 3.0 | 0.71 | | |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.58 | 67.2 | 26.5 | 3.5 | 1.7 | 0.8 | 0.3 | 0.72 | | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます ※問1～9の平均値

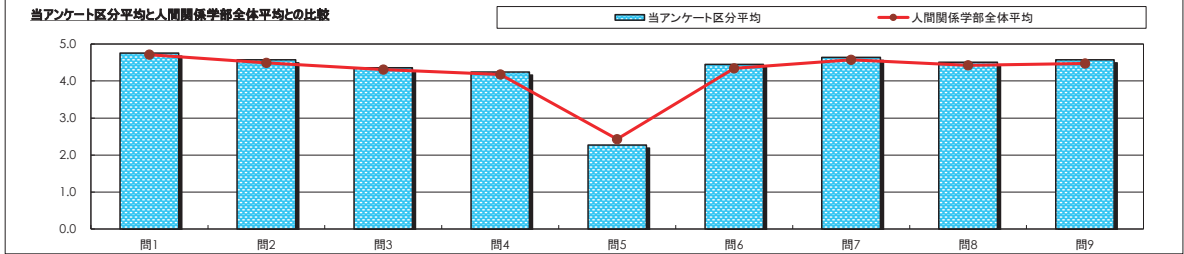


2025年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

| アンケート区分 | | 57人間福祉学科(専門科目) | | 受講者数 | | 1,731 | | | | |
|---------|---|----------------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|------------------|
| | | | | 回答者数 | | 966 | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | わからない/ 判断しづらい |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.75 | 75.4 | 19.5 | 1.2 | 0.2 | 0.3 | 3.4 | 0.51 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.57 | 67.6 | 23.5 | 4.2 | 2.1 | 0.9 | 1.7 | 0.76 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.36 | 61.2 | 18.9 | 7.1 | 4.8 | 3.5 | 4.5 | 1.06 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.24 | 48.8 | 24.2 | 13.8 | 3.9 | 1.7 | 7.7 | 0.98 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.27 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.07 | |
| | | | 4.9 | 5.5 | 21.7 | 35.5 | 23.0 | 9.4 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.45 | 56.9 | 24.3 | 7.2 | 2.2 | 1.3 | 8.0 | 0.85 | 区分 平均値 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.64 | 71.2 | 23.0 | 3.6 | 1.1 | 0.5 | 0.5 | 0.86 | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.51 | 58.4 | 31.3 | 5.3 | 1.4 | 0.3 | 3.3 | 0.70 | 全体 平均値 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.57 | 68.4 | 23.5 | 4.8 | 1.3 | 1.3 | 0.6 | 0.76 | 4.28 |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

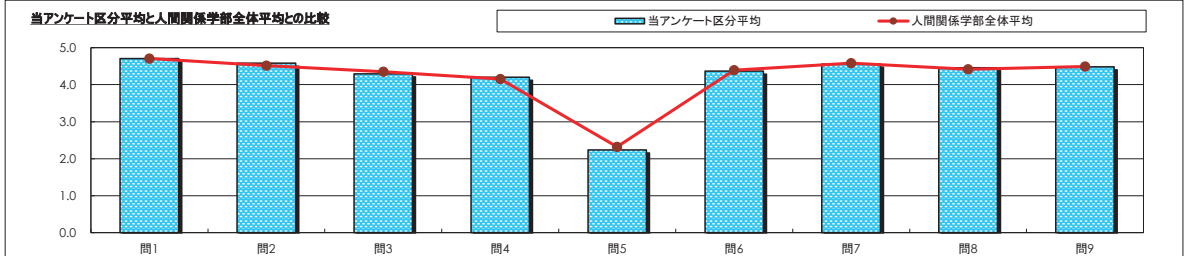


2025年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

| アンケート区分 | | 57人間福祉学科(専門科目) | | 受講者数 | | 1,386 | | | | |
|---------|---|----------------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|------------------|
| | | | | 回答者数 | | 771 | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | わからない/ 判断しづらい |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.71 | 74.4 | 20.0 | 2.9 | 0.6 | 0.3 | 1.8 | 0.58 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.58 | 66.5 | 24.9 | 5.1 | 1.2 | 0.6 | 1.7 | 0.71 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.30 | 56.7 | 23.6 | 8.4 | 3.2 | 4.4 | 3.6 | 1.07 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.20 | 47.6 | 24.5 | 12.5 | 4.7 | 2.5 | 8.3 | 1.03 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.23 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.04 | |
| | | | 3.4 | 6.4 | 21.3 | 34.2 | 23.3 | 11.4 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.37 | 52.4 | 28.3 | 10.9 | 1.7 | 1.2 | 5.6 | 0.85 | 区分 平均値 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.56 | 64.9 | 27.8 | 4.7 | 1.7 | 0.5 | 0.5 | 0.71 | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.45 | 54.0 | 33.6 | 8.3 | 0.5 | 0.3 | 3.4 | 0.70 | 全体 平均値 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.48 | 61.6 | 27.1 | 7.1 | 2.2 | 0.9 | 1.0 | 0.80 | 4.23 |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

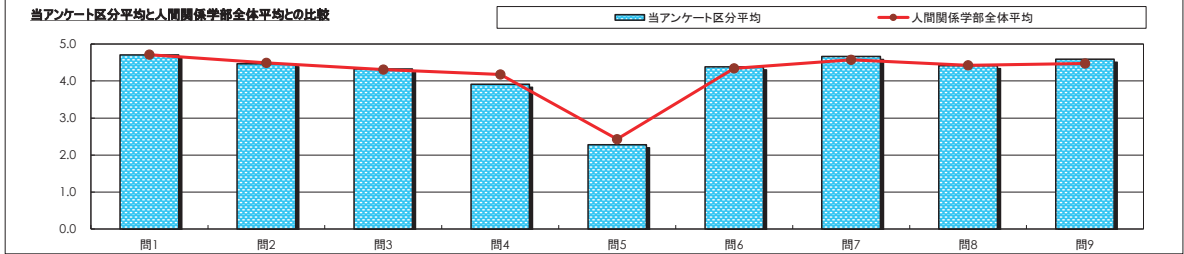


2025年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

| アンケート区分 | | 92階課程科目(多摩) | | | | | | | 受講者数 | 79 |
|---------|---|-------------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|-----------|
| | | | | | | | | | 回答者数 | 66 |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.71 | 69.7 | 28.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.5 | 0.46 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.47 | 50.0 | 42.4 | 4.5 | 0.0 | 0.0 | 3.0 | 0.59 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.32 | 51.5 | 28.8 | 7.6 | 4.5 | 1.5 | 6.1 | 0.94 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 3.91 | 24.2 | 40.9 | 13.6 | 4.5 | 3.0 | 13.6 | 0.99 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.28 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.20 | |
| | | | 6.1 | 6.1 | 22.7 | 24.2 | 28.8 | 12.1 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.38 | 40.9 | 34.8 | 6.1 | 1.5 | 0.0 | 16.7 | 0.71 | 区分 平均値 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.67 | 66.7 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.48 | 全体 平均値 |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.41 | 50.0 | 34.8 | 10.6 | 0.0 | 0.0 | 4.5 | 0.69 | |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.59 | 65.2 | 28.8 | 6.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.61 | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

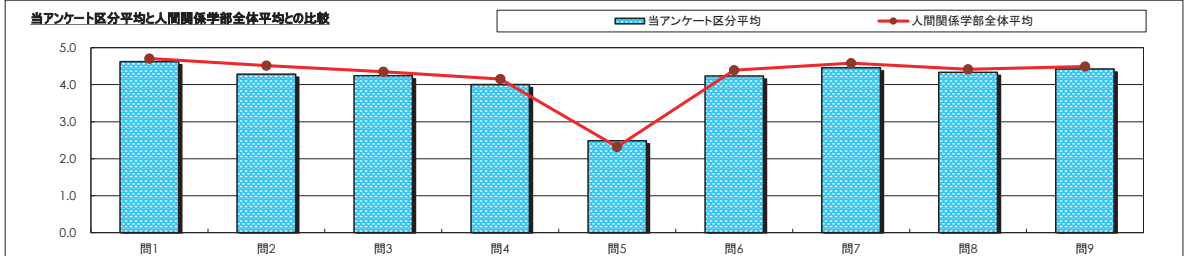


2025年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

| アンケート区分 | | 92階課程科目(多摩) | | | | | | | 受講者数 | 105 |
|---------|---|-------------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|-----------|
| | | | | | | | | | 回答者数 | 76 |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.63 | 71.1 | 22.4 | 2.6 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 0.73 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.28 | 50.0 | 31.6 | 9.2 | 6.6 | 0.0 | 2.6 | 0.90 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.24 | 47.4 | 34.2 | 9.2 | 5.3 | 1.3 | 2.6 | 0.93 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.00 | 32.9 | 21.1 | 23.7 | 2.6 | 1.3 | 18.4 | 0.99 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.48 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.22 | |
| | | | 7.9 | 9.2 | 19.7 | 30.3 | 19.7 | 13.2 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.23 | 38.2 | 31.6 | 14.5 | 0.0 | 1.3 | 14.5 | 0.84 | 区分 平均値 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.46 | 55.3 | 38.2 | 5.3 | 0.0 | 1.3 | 0.0 | 0.72 | 全体 平均値 |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.33 | 43.4 | 47.4 | 6.6 | 0.0 | 1.3 | 1.3 | 0.72 | |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.42 | 55.3 | 35.5 | 6.6 | 1.3 | 1.3 | 0.0 | 0.79 | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

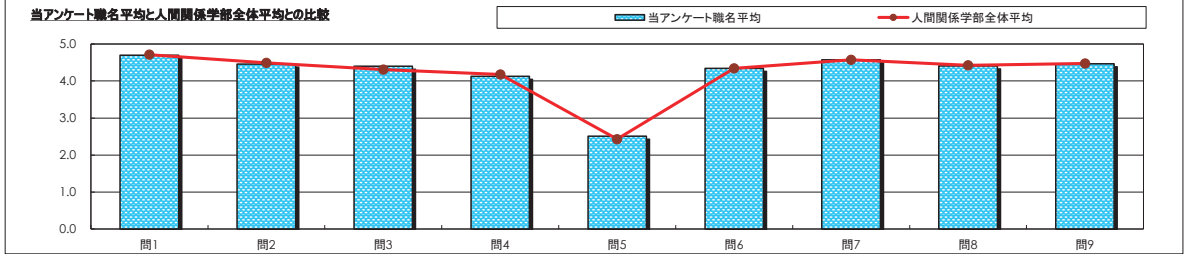


2025年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート職名別)

大妻女子大学

| アンケート職名 | | 1.専任 | | 受講者数 | | 3,540 | | | | |
|---------|---|------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|------------------|
| | | | | 回答者数 | | 2,125 | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | わからない/ 判断しづらい |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.70 | 73.1 | 21.0 | 1.9 | 0.7 | 0.6 | 2.7 | 0.80 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.46 | 60.8 | 27.3 | 6.4 | 2.9 | 1.2 | 1.4 | 0.84 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.40 | 62.1 | 21.6 | 6.5 | 4.1 | 2.9 | 2.7 | 0.99 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.13 | 43.3 | 25.4 | 13.6 | 5.2 | 2.5 | 9.8 | 1.05 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.51 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.16 | |
| | | | 6.4 | 10.0 | 24.9 | 28.4 | 18.8 | 11.4 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.34 | 51.8 | 27.9 | 8.6 | 3.1 | 1.7 | 7.0 | 0.81 | 区分 平均値 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・もの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.57 | 65.2 | 28.1 | 4.0 | 1.5 | 0.5 | 0.8 | 0.89 | 全体 平均値 |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.41 | 52.7 | 32.4 | 8.2 | 1.8 | 0.5 | 4.4 | 0.77 | |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.47 | 62.2 | 26.9 | 5.9 | 2.7 | 1.6 | 0.8 | 0.85 | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

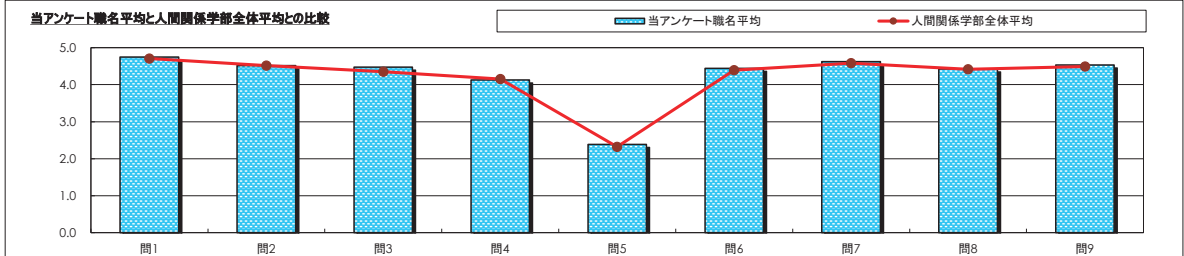


2025年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート職名別)

大妻女子大学

| アンケート職名 | | 1.専任 | | 受講者数 | | 3,284 | | | | |
|---------|---|------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|------------------|
| | | | | 回答者数 | | 1,562 | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | わからない/ 判断しづらい |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.75 | 76.2 | 19.9 | 1.7 | 0.3 | 0.1 | 1.8 | 0.50 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.52 | 64.0 | 24.7 | 6.2 | 1.9 | 1.1 | 2.2 | 0.79 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.48 | 65.1 | 21.6 | 5.2 | 3.2 | 2.4 | 2.5 | 0.92 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.13 | 42.2 | 25.2 | 16.1 | 4.0 | 2.2 | 10.4 | 1.02 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.38 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.11 | |
| | | | 5.8 | 6.9 | 23.5 | 33.4 | 20.2 | 10.3 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.44 | 54.8 | 28.4 | 8.1 | 1.7 | 0.7 | 6.3 | 0.79 | 区分 平均値 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・もの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.62 | 68.9 | 25.3 | 4.0 | 0.8 | 0.4 | 0.5 | 0.65 | 全体 平均値 |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.42 | 51.5 | 36.6 | 7.4 | 0.6 | 0.6 | 3.3 | 0.71 | |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.53 | 63.4 | 28.0 | 5.3 | 1.3 | 1.0 | 0.9 | 0.75 | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

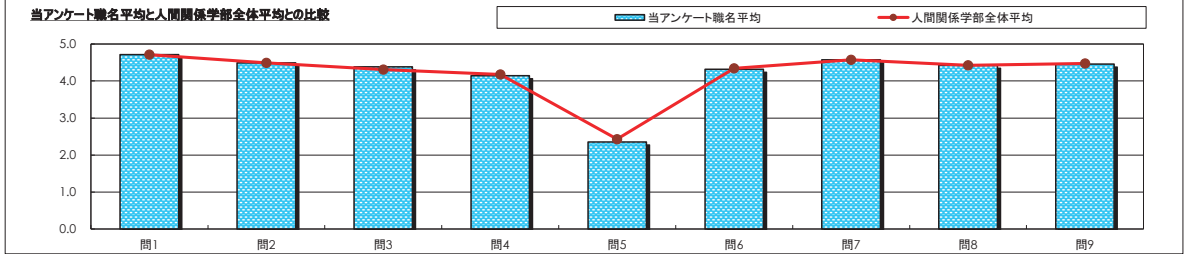


2025年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート職名別)

大妻女子大学

| アンケート職名 | | 3.兼任 | | 受講者数 | | 3,966 | | | | |
|---------|---|------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|-----------|
| | | | | 回答者数 | | 2,247 | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.72 | 73.7 | 20.7 | 1.9 | 0.6 | 0.3 | 2.7 | 0.56 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.49 | 61.2 | 27.9 | 5.8 | 2.4 | 0.8 | 1.8 | 0.79 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.38 | 61.7 | 21.9 | 6.3 | 4.2 | 3.2 | 2.5 | 1.01 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.14 | 42.4 | 28.9 | 12.9 | 4.8 | 2.3 | 8.7 | 1.01 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.36 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.05 | |
| | | | 4.0 | 7.2 | 25.1 | 33.9 | 19.7 | 10.1 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.32 | 50.4 | 27.8 | 9.6 | 2.8 | 1.9 | 7.6 | 0.82 | 区分 平均値 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.58 | 66.6 | 27.1 | 3.5 | 1.5 | 0.9 | 0.4 | 0.72 | 全体 平均値 |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.43 | 52.1 | 35.9 | 6.1 | 1.6 | 0.6 | 3.8 | 0.74 | |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.46 | 60.4 | 29.0 | 5.9 | 2.4 | 1.3 | 0.8 | 0.82 | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

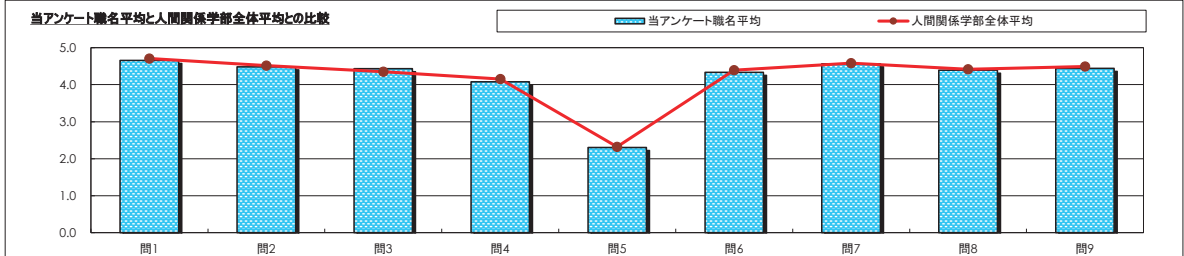


2025年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート職名別)

大妻女子大学

| アンケート職名 | | 3.兼任 | | 受講者数 | | 3,176 | | | | |
|---------|---|------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|-----------|
| | | | | 回答者数 | | 1,731 | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.66 | 71.2 | 21.4 | 2.7 | 1.1 | 0.8 | 2.9 | 0.67 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.48 | 61.9 | 26.9 | 5.6 | 2.4 | 1.3 | 1.9 | 0.82 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.43 | 63.5 | 22.9 | 5.3 | 2.9 | 3.4 | 2.0 | 0.97 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.08 | 40.6 | 25.1 | 15.3 | 5.1 | 2.8 | 11.1 | 1.07 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.30 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.09 | |
| | | | 4.3 | 7.1 | 23.8 | 31.3 | 24.0 | 9.5 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.33 | 50.3 | 27.7 | 9.9 | 2.6 | 1.6 | 7.9 | 0.90 | 区分 平均値 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.56 | 64.5 | 28.4 | 4.4 | 1.6 | 0.4 | 0.7 | 0.69 | 全体 平均値 |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.39 | 50.1 | 35.5 | 7.9 | 1.8 | 0.5 | 4.1 | 0.76 | |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.44 | 59.8 | 28.5 | 6.5 | 2.9 | 1.3 | 1.0 | 0.84 | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

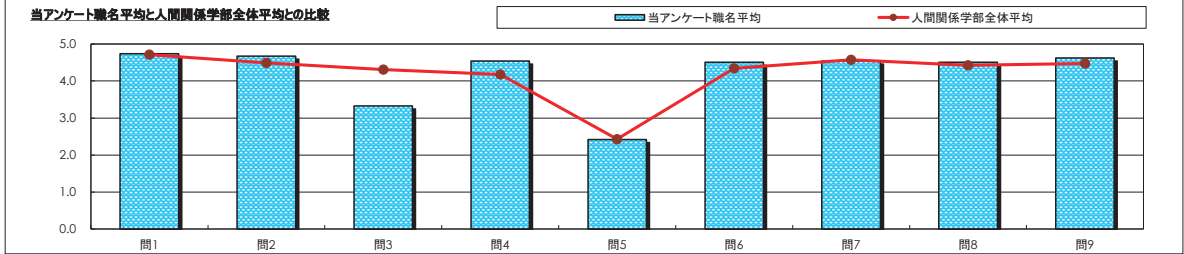


2025年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート職名別)

大妻女子大学

| アンケート職名 | | 4.TEP | | | | | | | 受講者数 | 757 |
|---------|---|-------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|-----------|
| | | | | | | | | | 回答者数 | 407 |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.74 | 73.5 | 19.2 | 2.7 | 0.2 | 0.0 | 4.4 | 0.52 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.67 | 74.0 | 21.4 | 2.7 | 1.0 | 0.7 | 0.2 | 0.65 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 3.32 | 34.6 | 10.3 | 9.6 | 10.6 | 20.6 | 14.3 | 1.85 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.54 | 63.6 | 29.0 | 4.7 | 2.2 | 0.2 | 0.2 | 0.71 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.42 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.12 | |
| | | | 6.4 | 8.6 | 21.9 | 36.9 | 19.4 | 6.9 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.51 | 60.4 | 24.3 | 4.9 | 2.7 | 1.0 | 6.6 | 0.81 | 区分 平均値 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.54 | 65.4 | 26.8 | 3.2 | 3.2 | 0.7 | 0.7 | 0.77 | 全体 平均値 |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.51 | 56.5 | 33.4 | 5.4 | 0.7 | 0.2 | 3.7 | 0.66 | |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.62 | 72.5 | 20.6 | 3.9 | 1.7 | 1.0 | 0.2 | 0.73 | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

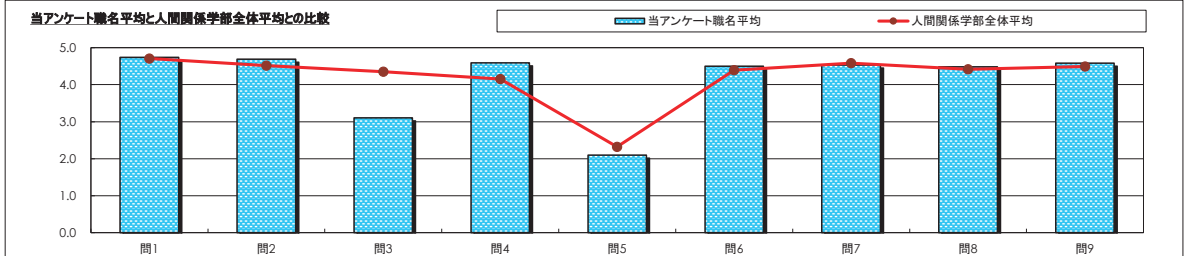


2025年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート職名別)

大妻女子大学

| アンケート職名 | | 4.TEP | | | | | | | 受講者数 | 773 |
|---------|---|-------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|-----------|
| | | | | | | | | | 回答者数 | 339 |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.74 | 71.1 | 15.6 | 3.2 | 0.6 | 0.0 | 9.4 | 0.55 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.69 | 74.9 | 19.5 | 3.5 | 0.6 | 0.6 | 0.9 | 0.63 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 3.10 | 28.3 | 11.5 | 9.7 | 10.3 | 24.5 | 15.6 | 1.66 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.59 | 65.2 | 28.9 | 5.0 | 0.6 | 0.0 | 0.3 | 0.62 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.09 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.04 | |
| | | | 2.9 | 5.6 | 20.4 | 31.6 | 31.9 | 7.7 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.50 | 60.2 | 22.7 | 6.5 | 3.2 | 0.3 | 7.1 | 0.80 | 区分 平均値 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.53 | 64.6 | 26.3 | 5.6 | 2.7 | 0.3 | 0.6 | 0.75 | 全体 平均値 |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.48 | 56.9 | 31.0 | 7.7 | 0.6 | 0.6 | 3.2 | 0.72 | |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.58 | 72.0 | 18.0 | 4.7 | 3.8 | 0.6 | 0.9 | 0.80 | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

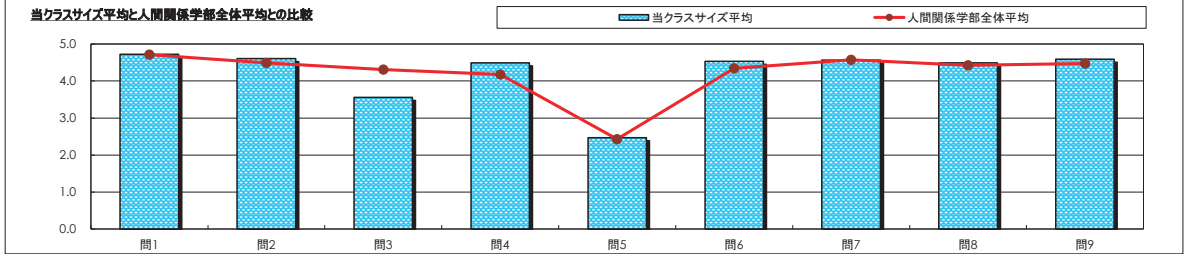


2025年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(クラスサイズ別)

大妻女子大学

| クラスサイズ | | 1~15名 | | 受講者数 | | 1,150 | | | | | |
|--------|---|-------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|------------------|------|
| | | | | 回答者数 | | 662 | | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | わからない/ 判断しづらい | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.72 | 73.7 | 19.5 | 2.4 | 0.3 | 0.5 | 3.6 | 0.57 | | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.61 | 69.2 | 25.1 | 2.3 | 1.7 | 1.1 | 0.8 | 0.72 | | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 3.56 | 36.9 | 16.5 | 11.5 | 9.2 | 15.4 | 10.6 | 1.52 | | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.49 | 61.3 | 28.5 | 5.6 | 2.0 | 1.1 | 1.5 | 0.78 | | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.47 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.16 | | |
| | | | 7.4 | 8.3 | 22.7 | 33.8 | 18.9 | 8.9 | | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.53 | 61.9 | 24.5 | 4.4 | 2.3 | 1.1 | 5.9 | 0.79 | 区分 平均値 | 4.24 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.57 | 66.2 | 27.0 | 2.7 | 2.4 | 0.8 | 0.9 | 0.73 | | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.49 | 56.0 | 34.1 | 4.7 | 1.4 | 0.5 | 3.3 | 0.70 | 全体 平均値 | 4.23 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.59 | 70.5 | 21.9 | 3.6 | 1.8 | 1.7 | 0.5 | 0.79 | | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

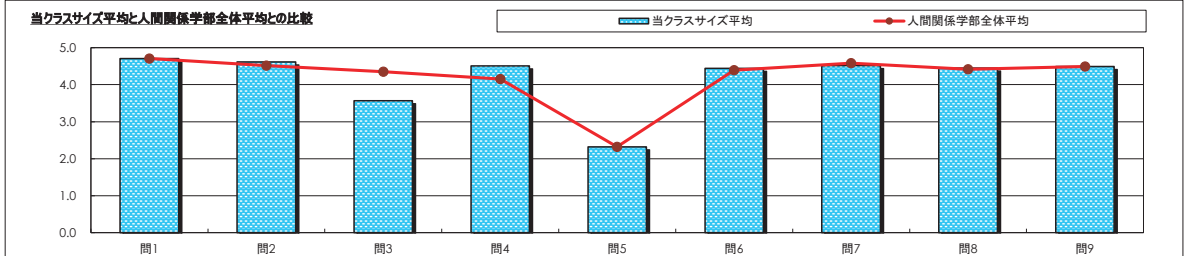


2025年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(クラスサイズ別)

大妻女子大学

| クラスサイズ | | 1~15名 | | 受講者数 | | 1,195 | | | | | |
|--------|---|-------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|------------------|------|
| | | | | 回答者数 | | 575 | | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | わからない/ 判断しづらい | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.71 | 70.6 | 19.8 | 2.8 | 0.5 | 0.2 | 6.1 | 0.57 | | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.61 | 70.3 | 21.4 | 4.3 | 1.6 | 0.9 | 1.6 | 0.73 | | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 3.57 | 36.9 | 17.0 | 9.7 | 8.0 | 16.3 | 12.0 | 1.54 | | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.51 | 60.3 | 29.9 | 6.1 | 1.6 | 0.3 | 1.7 | 0.72 | | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.32 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.11 | | |
| | | | 4.7 | 7.8 | 23.1 | 31.1 | 24.2 | 9.0 | | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.44 | 56.7 | 26.3 | 7.7 | 3.0 | 0.5 | 5.9 | 0.82 | 区分 平均値 | 4.20 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.52 | 61.7 | 30.4 | 4.9 | 1.9 | 0.5 | 0.5 | 0.73 | | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.45 | 53.2 | 36.0 | 6.4 | 0.7 | 0.5 | 3.1 | 0.70 | 全体 平均値 | 4.23 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.49 | 64.9 | 24.3 | 6.1 | 3.5 | 0.9 | 0.3 | 0.83 | | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

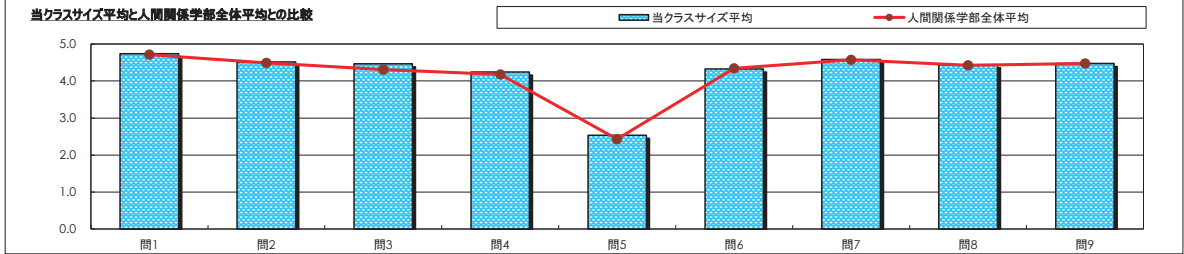


2025年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(クラスサイズ別)

大妻女子大学

| クラスサイズ | | 16~49名 | | 受講者数 | | 2,531 | | | | | |
|--------|---|--------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|------------------|------|
| | | | | 回答者数 | | 1,507 | | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | わからない/ 判断しづらい | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.74 | 75.3 | 19.4 | 1.8 | 0.3 | 0.3 | 2.9 | 0.53 | | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.52 | 63.1 | 26.9 | 5.0 | 2.4 | 0.9 | 1.7 | 0.78 | | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.47 | 64.3 | 21.1 | 6.3 | 2.8 | 2.3 | 3.2 | 0.92 | | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.25 | 47.4 | 28.7 | 10.7 | 4.2 | 1.8 | 7.2 | 0.96 | | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.54 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.14 | | |
| | | | 6.3 | 10.9 | 25.3 | 30.5 | 17.4 | 9.6 | | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.32 | 51.2 | 27.7 | 8.5 | 3.5 | 1.9 | 7.2 | 0.83 | 区分 平均値 | 4.27 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・もの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.58 | 66.5 | 27.0 | 3.4 | 1.2 | 1.1 | 0.9 | 0.72 | | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.44 | 53.9 | 33.6 | 6.6 | 1.3 | 0.7 | 3.8 | 0.75 | 全体 平均値 | 4.23 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.47 | 62.4 | 26.6 | 5.7 | 2.7 | 1.6 | 1.0 | 0.85 | | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

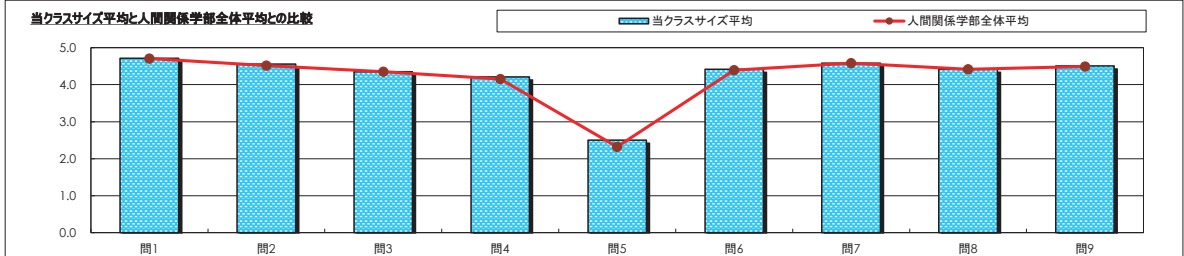


2025年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(クラスサイズ別)

大妻女子大学

| クラスサイズ | | 16~49名 | | 受講者数 | | 2,085 | | | | | |
|--------|---|--------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|------------------|------|
| | | | | 回答者数 | | 1,131 | | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | わからない/ 判断しづらい | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.72 | 74.8 | 19.5 | 2.5 | 0.8 | 0.3 | 2.2 | 0.58 | | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.56 | 65.9 | 25.6 | 4.5 | 1.9 | 0.8 | 1.4 | 0.74 | | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.35 | 62.4 | 19.7 | 6.7 | 3.7 | 4.7 | 2.7 | 1.08 | | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.21 | 47.0 | 24.6 | 15.5 | 2.9 | 2.0 | 8.0 | 0.98 | | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.50 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.15 | | |
| | | | 6.8 | 9.7 | 23.6 | 31.3 | 18.5 | 10.1 | | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.41 | 54.6 | 27.1 | 8.7 | 2.1 | 1.0 | 6.6 | 0.83 | 区分 平均値 | 4.27 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・もの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.59 | 66.8 | 26.3 | 4.6 | 1.3 | 0.4 | 0.4 | 0.68 | | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.41 | 52.6 | 34.0 | 7.8 | 1.5 | 0.6 | 3.4 | 0.76 | 全体 平均値 | 4.23 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.50 | 63.8 | 26.0 | 5.7 | 2.1 | 1.3 | 1.1 | 0.81 | | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

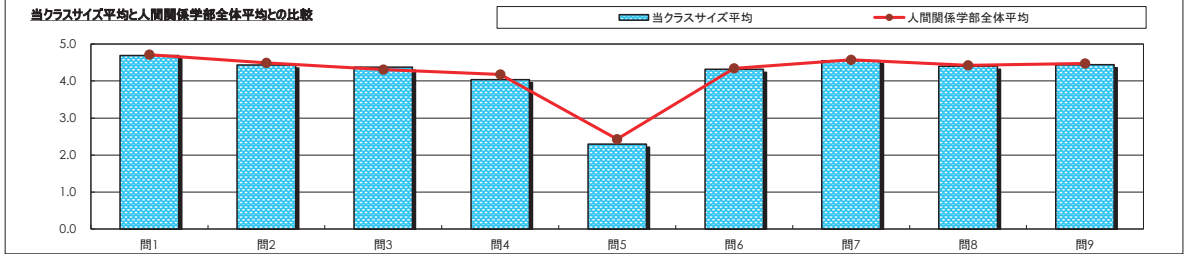


2025年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(クラスサイズ別)

大妻女子大学

| クラスサイズ | | 50~100名 | | | | | | | 受講者数 | 3,209 |
|--------|---|---------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|-----------|
| | | | | | | | | | 回答者数 | 1,800 |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.69 | 72.4 | 21.3 | 2.0 | 0.9 | 0.7 | 2.8 | 0.83 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.43 | 59.5 | 27.1 | 7.8 | 2.8 | 1.2 | 1.6 | 0.85 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.37 | 61.7 | 21.9 | 5.9 | 4.9 | 3.1 | 2.4 | 1.02 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.04 | 38.9 | 25.7 | 15.0 | 6.2 | 2.8 | 11.4 | 1.08 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.29 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.06 | |
| | | | 4.2 | 6.0 | 23.6 | 32.3 | 22.2 | 11.7 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.32 | 50.2 | 28.2 | 9.8 | 2.6 | 1.8 | 7.3 | 0.81 | 区分 平均値 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・もの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.55 | 64.8 | 27.9 | 4.4 | 2.0 | 0.5 | 0.3 | 0.72 | 全体 平均値 |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.40 | 51.4 | 33.6 | 8.2 | 1.9 | 0.5 | 4.4 | 0.77 | |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.44 | 60.1 | 28.9 | 6.3 | 2.6 | 1.5 | 0.7 | 0.84 | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

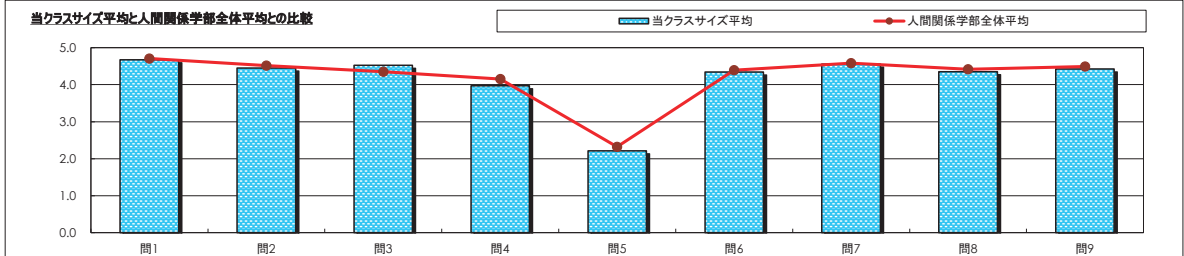


2025年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(クラスサイズ別)

大妻女子大学

| クラスサイズ | | 50~100名 | | | | | | | 受講者数 | 2,977 |
|--------|---|---------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|-----------|
| | | | | | | | | | 回答者数 | 1,421 |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.67 | 71.4 | 21.9 | 2.2 | 0.8 | 0.8 | 2.9 | 0.85 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.45 | 59.6 | 28.1 | 6.8 | 2.1 | 1.5 | 1.8 | 0.84 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.53 | 66.2 | 23.7 | 4.8 | 2.5 | 1.5 | 1.4 | 0.82 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 3.97 | 36.8 | 24.5 | 17.7 | 6.1 | 3.2 | 11.8 | 1.10 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.21 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.03 | |
| | | | 3.5 | 5.0 | 24.1 | 33.6 | 25.5 | 8.2 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.34 | 50.6 | 29.8 | 9.8 | 2.3 | 1.5 | 6.1 | 0.88 | 区分 平均値 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・もの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.56 | 64.7 | 27.7 | 4.7 | 1.5 | 0.5 | 0.8 | 0.70 | 全体 平均値 |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.35 | 47.3 | 37.6 | 8.7 | 1.5 | 0.6 | 4.3 | 0.76 | |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.43 | 58.1 | 30.6 | 6.4 | 2.5 | 1.5 | 1.0 | 0.84 | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

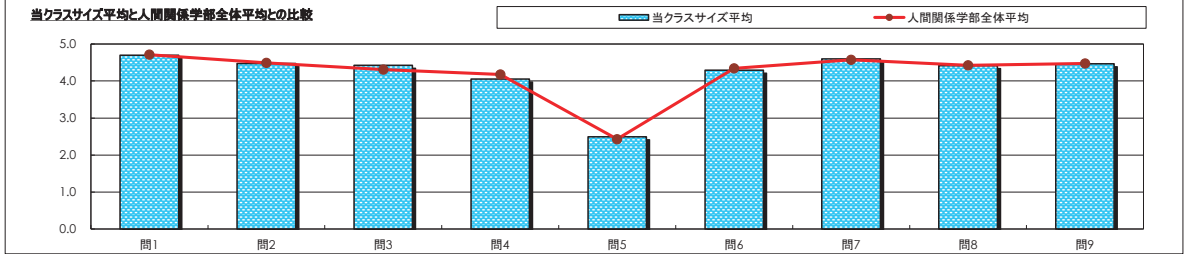


2025年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(クラスサイズ別)

大妻女子大学

| クラスサイズ | | 101名以上 | | 受講者数 | | 1,373 | | | | | |
|--------|---|--------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|------------------|------|
| | | | | 回答者数 | | 810 | | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | わからない/ 判断しづらい | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.70 | 72.0 | 23.1 | 2.0 | 0.7 | 0.0 | 2.2 | 0.54 | | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.47 | 60.2 | 28.9 | 5.9 | 2.8 | 0.6 | 1.5 | 0.79 | | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.42 | 64.8 | 21.4 | 5.2 | 4.1 | 3.2 | 1.4 | 0.99 | | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.05 | 38.5 | 27.7 | 16.0 | 4.9 | 2.7 | 10.1 | 1.05 | | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.49 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.06 | | |
| | | | 4.2 | 10.0 | 28.3 | 30.9 | 16.5 | 10.1 | | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.29 | 48.4 | 28.1 | 10.5 | 2.8 | 1.9 | 8.3 | 0.83 | 区分 平均値 | 4.23 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.60 | 66.7 | 27.9 | 3.3 | 1.1 | 0.5 | 0.5 | 0.86 | | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.42 | 50.7 | 36.2 | 6.7 | 1.7 | 0.2 | 4.4 | 0.72 | 全体 平均値 | 4.23 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.47 | 60.0 | 29.8 | 6.3 | 2.5 | 0.7 | 0.7 | 0.78 | | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

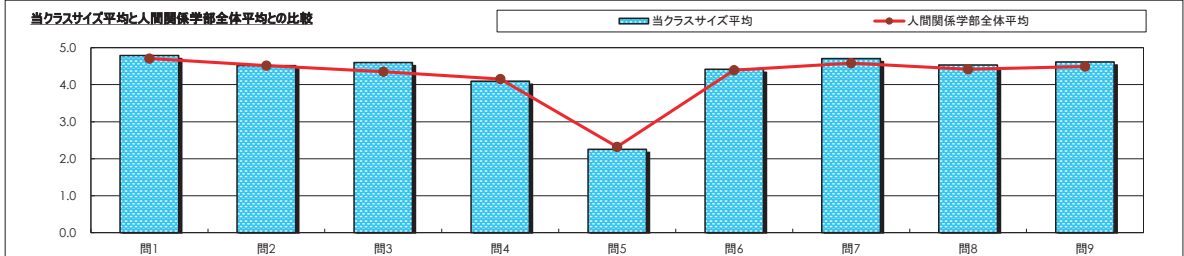


2025年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(クラスサイズ別)

大妻女子大学

| クラスサイズ | | 101名以上 | | 受講者数 | | 1,207 | | | | | |
|--------|---|--------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|------------------|------|
| | | | | 回答者数 | | 593 | | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | わからない/ 判断しづらい | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.79 | 79.3 | 17.0 | 1.3 | 0.2 | 0.2 | 2.0 | 0.48 | | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.51 | 64.2 | 21.4 | 6.9 | 2.0 | 1.3 | 4.0 | 0.83 | | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.60 | 71.3 | 20.4 | 1.9 | 2.7 | 1.9 | 1.9 | 0.82 | | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.09 | 36.9 | 24.6 | 13.7 | 4.4 | 2.4 | 18.0 | 1.04 | | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.25 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.05 | | |
| | | | 3.9 | 4.9 | 23.6 | 30.7 | 23.3 | 13.7 | | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.42 | 51.1 | 22.6 | 7.9 | 2.4 | 1.0 | 15.0 | 0.86 | 区分 平均値 | 4.31 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.70 | 72.8 | 23.9 | 2.0 | 0.5 | 0.0 | 0.7 | 0.53 | | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.53 | 57.5 | 33.2 | 5.6 | 0.2 | 0.2 | 3.4 | 0.63 | 全体 平均値 | 4.23 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.62 | 68.3 | 24.8 | 4.6 | 0.8 | 0.3 | 1.2 | 0.65 | | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

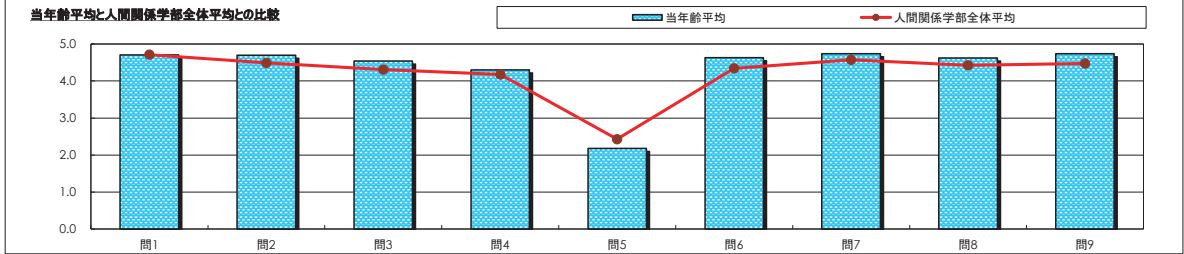


2025年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

大妻女子大学

| 年齢 | | 35歳以下 | | 受講者数 | | 134 | | | | | |
|----|---|-------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|------------------|------|
| | | | | 回答者数 | | 73 | | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | わからない/ 判断しづらい | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.71 | 71.2 | 26.0 | 1.4 | 0.0 | 0.0 | 1.4 | 0.49 | | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.70 | 74.0 | 21.9 | 4.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.54 | | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.54 | 56.2 | 39.7 | 2.7 | 0.0 | 0.0 | 1.4 | 0.56 | | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.30 | 42.5 | 41.1 | 8.2 | 2.7 | 0.0 | 5.5 | 0.75 | | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.18 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 0.90 | | |
| | | | 2.7 | 1.4 | 21.9 | 41.1 | 17.8 | 15.1 | | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.63 | 64.4 | 31.5 | 0.0 | 1.4 | 0.0 | 2.7 | 0.57 | 区分 平均値 | 4.39 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.74 | 74.0 | 26.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.44 | | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.63 | 61.6 | 37.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.4 | 0.49 | 全体 平均値 | 4.23 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.74 | 76.7 | 20.5 | 2.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.50 | | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

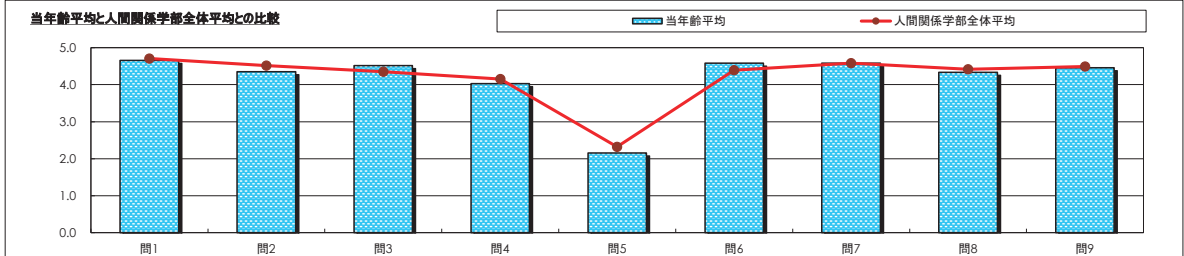


2025年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

大妻女子大学

| 年齢 | | 35歳以下 | | 受講者数 | | 186 | | | | | |
|----|---|-------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|------------------|------|
| | | | | 回答者数 | | 91 | | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | わからない/ 判断しづらい | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.65 | 72.5 | 19.8 | 3.3 | 1.1 | 1.1 | 2.2 | 0.71 | | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.35 | 56.0 | 24.2 | 12.1 | 3.3 | 1.1 | 3.3 | 0.91 | | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.52 | 63.7 | 28.6 | 1.1 | 1.1 | 3.3 | 2.2 | 0.87 | | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.02 | 38.5 | 23.1 | 18.7 | 8.8 | 0.0 | 11.0 | 1.02 | | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.15 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 0.93 | | |
| | | | 3.3 | 2.2 | 18.7 | 42.9 | 19.8 | 13.2 | | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.59 | 57.1 | 29.7 | 2.2 | 1.1 | 0.0 | 9.9 | 0.81 | 区分 平均値 | 4.21 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.58 | 60.4 | 33.0 | 2.2 | 1.1 | 0.0 | 3.3 | 0.60 | | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.33 | 47.3 | 36.3 | 8.8 | 3.3 | 0.0 | 4.4 | 0.79 | 全体 平均値 | 4.23 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.45 | 59.3 | 27.5 | 5.5 | 3.3 | 1.1 | 3.3 | 0.84 | | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

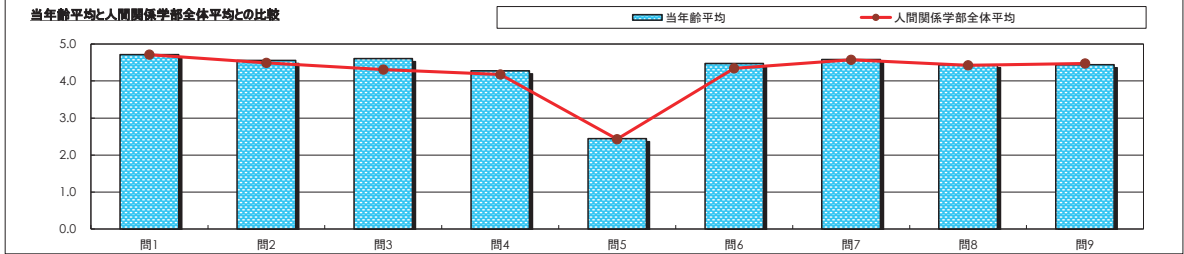


2025年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

大妻女子大学

| 年齢 | | 36～40歳 | | 受講者数 | | 319 | | | | | |
|----|---|--------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|------------------|------|
| | | | | 回答者数 | | 186 | | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | わからない/ 判断しづらい | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.71 | 69.9 | 25.8 | 1.1 | 0.0 | 0.0 | 3.2 | 0.48 | | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.56 | 62.4 | 28.5 | 4.8 | 1.6 | 0.0 | 2.7 | 0.67 | | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.61 | 68.3 | 22.6 | 4.3 | 1.6 | 0.5 | 2.7 | 0.70 | | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.27 | 44.6 | 28.0 | 11.8 | 4.3 | 0.0 | 11.3 | 0.87 | | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.44 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.08 | | |
| | | | 4.8 | 8.1 | 25.3 | 31.7 | 17.2 | 12.9 | | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.47 | 56.5 | 28.0 | 7.0 | 1.1 | 1.1 | 6.5 | 0.78 | 区分 平均値 | 4.30 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.58 | 67.2 | 25.8 | 4.3 | 1.1 | 1.1 | 0.5 | 0.73 | | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.44 | 51.6 | 36.0 | 8.1 | 0.5 | 0.0 | 3.8 | 0.67 | 全体 平均値 | 4.23 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.44 | 61.8 | 25.8 | 7.0 | 3.2 | 1.6 | 0.5 | 0.88 | | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1～9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

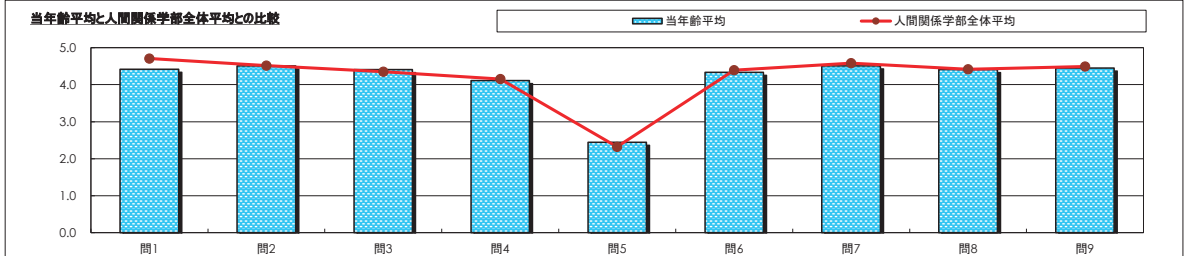


2025年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

大妻女子大学

| 年齢 | | 36～40歳 | | 受講者数 | | 352 | | | | | |
|----|---|--------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|------------------|------|
| | | | | 回答者数 | | 170 | | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | わからない/ 判断しづらい | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.42 | 61.2 | 25.3 | 4.7 | 1.8 | 4.1 | 2.9 | 0.98 | | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.50 | 62.4 | 27.1 | 5.9 | 1.8 | 1.2 | 1.8 | 0.79 | | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.41 | 59.4 | 27.1 | 5.3 | 5.3 | 1.2 | 1.8 | 0.91 | | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.11 | 38.2 | 30.6 | 14.1 | 5.3 | 1.2 | 10.6 | 0.97 | | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.44 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.10 | | |
| | | | 5.3 | 7.6 | 31.2 | 28.2 | 21.2 | 6.5 | | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.33 | 50.6 | 27.1 | 10.6 | 1.2 | 2.4 | 8.2 | 0.92 | 区分 平均値 | 4.18 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.51 | 60.0 | 30.6 | 6.5 | 0.0 | 1.2 | 1.8 | 0.73 | | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.41 | 51.2 | 32.4 | 10.6 | 0.0 | 0.6 | 5.3 | 0.74 | 全体 平均値 | 4.23 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.45 | 62.4 | 25.3 | 7.6 | 2.4 | 1.8 | 0.6 | 0.87 | | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1～9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

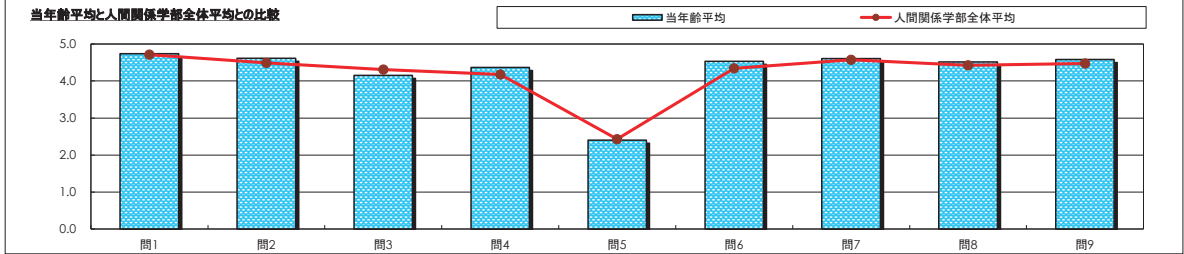


2025年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

大妻女子大学

| 年齢 | | 41～45歳 | | 受講者数 | | 1,015 | | | | | |
|----|---|--------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|------------------|------|
| | | | | 回答者数 | | 551 | | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | わからない/ 判断しづらい | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.74 | 73.9 | 22.1 | 1.5 | 0.0 | 0.2 | 2.4 | 0.50 | | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.61 | 68.1 | 25.6 | 4.7 | 0.2 | 0.7 | 0.7 | 0.66 | | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.15 | 55.7 | 16.9 | 7.3 | 4.5 | 8.5 | 7.1 | 1.30 | | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.37 | 52.1 | 29.8 | 8.7 | 3.3 | 0.7 | 5.4 | 0.85 | | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.40 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.12 | | |
| | | | 6.0 | 8.2 | 23.8 | 34.7 | 20.7 | 6.7 | | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.53 | 62.4 | 27.0 | 4.5 | 2.0 | 0.7 | 3.3 | 0.75 | 区分 平均値 | 4.29 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.60 | 67.9 | 27.6 | 2.4 | 1.5 | 0.7 | 0.0 | 0.88 | | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.51 | 57.2 | 35.0 | 4.7 | 0.5 | 0.4 | 2.2 | 0.65 | 全体 平均値 | 4.23 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.58 | 68.6 | 24.5 | 3.8 | 2.0 | 0.9 | 0.2 | 0.74 | | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1～9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

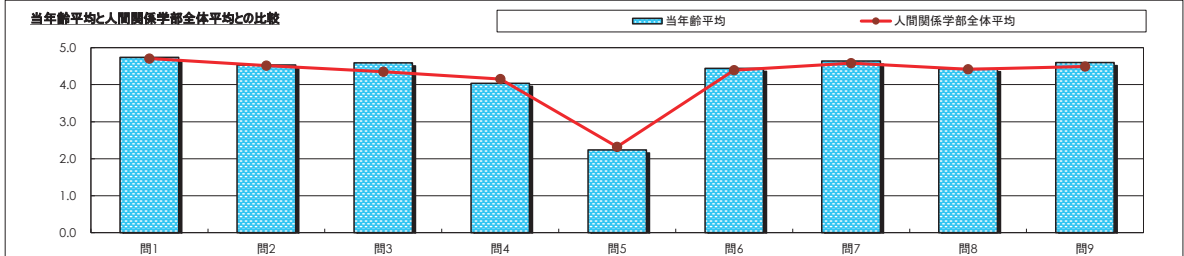


2025年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

大妻女子大学

| 年齢 | | 41～45歳 | | 受講者数 | | 1,177 | | | | | |
|----|---|--------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|------------------|------|
| | | | | 回答者数 | | 540 | | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | わからない/ 判断しづらい | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.73 | 73.7 | 22.4 | 0.9 | 0.6 | 0.0 | 2.4 | 0.50 | | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.53 | 63.1 | 26.1 | 4.8 | 2.0 | 0.9 | 3.0 | 0.77 | | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.59 | 70.0 | 22.0 | 3.1 | 1.7 | 1.9 | 1.3 | 0.80 | | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.04 | 39.1 | 22.0 | 17.0 | 4.1 | 3.5 | 14.3 | 1.10 | | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.23 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.04 | | |
| | | | 4.1 | 5.6 | 22.0 | 36.9 | 23.7 | 7.8 | | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.44 | 55.2 | 27.4 | 7.4 | 2.2 | 0.7 | 7.0 | 0.80 | 区分 平均値 | 4.26 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.64 | 69.8 | 25.0 | 3.1 | 0.9 | 0.4 | 0.7 | 0.63 | | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.43 | 51.7 | 38.0 | 6.3 | 0.7 | 0.6 | 2.8 | 0.70 | 全体 平均値 | 4.23 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.59 | 68.0 | 25.0 | 4.3 | 0.7 | 1.1 | 0.9 | 0.71 | | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1～9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



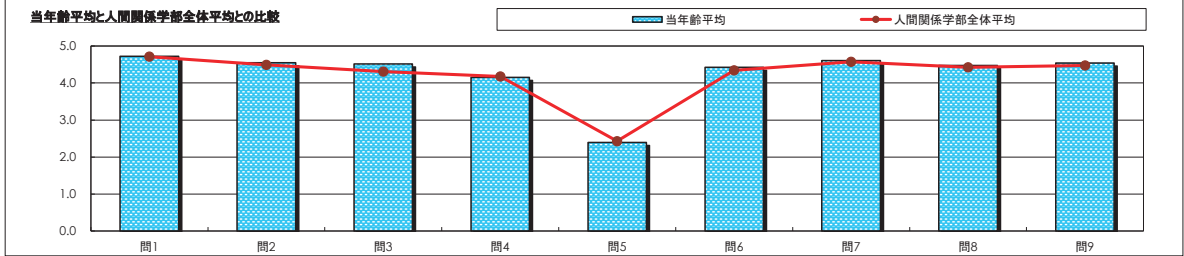
2025年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

大妻女子大学

| 年齢 | | 46～50歳 | | 受講者数 | | 1,759 | | | | | |
|----|---|--------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|------------------|------|
| | | | | 回答者数 | | 956 | | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | わからない/ 判断しづらい | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.73 | 75.5 | 19.5 | 2.1 | 0.5 | 0.4 | 2.0 | 0.57 | | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.55 | 65.0 | 26.9 | 4.7 | 1.9 | 0.6 | 0.9 | 0.73 | | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.52 | 66.1 | 21.9 | 6.1 | 2.4 | 1.6 | 2.0 | 0.84 | | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.15 | 42.7 | 29.6 | 13.2 | 4.8 | 1.9 | 7.8 | 0.99 | | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.39 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.12 | | |
| | | | 5.0 | 8.9 | 22.8 | 31.3 | 20.9 | 11.1 | | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.43 | 55.3 | 28.7 | 8.2 | 1.5 | 1.3 | 5.1 | 0.82 | 区分 平均値 | 4.29 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.61 | 66.6 | 28.7 | 2.9 | 1.0 | 0.4 | 0.3 | 0.84 | | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.47 | 53.8 | 34.9 | 4.8 | 1.5 | 0.3 | 4.7 | 0.69 | 全体 平均値 | 4.23 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.54 | 63.1 | 30.1 | 3.6 | 1.3 | 1.0 | 0.9 | 0.72 | | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1～9の平均値

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



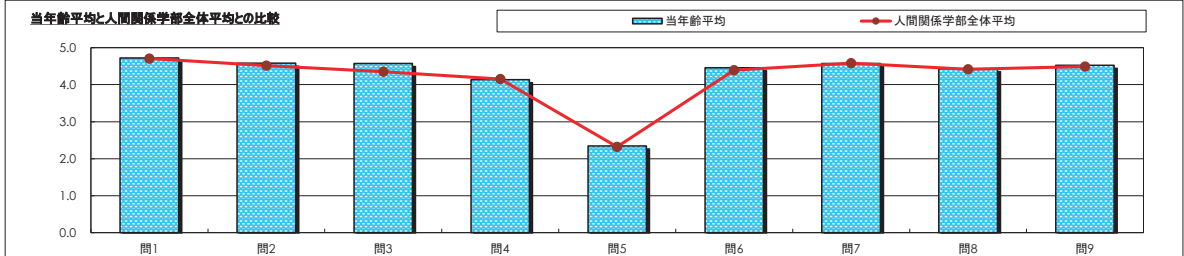
2025年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

大妻女子大学

| 年齢 | | 46～50歳 | | 受講者数 | | 969 | | | | | |
|----|---|--------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|------------------|------|
| | | | | 回答者数 | | 424 | | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | わからない/ 判断しづらい | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.72 | 74.3 | 21.9 | 1.7 | 0.5 | 0.2 | 1.4 | 0.54 | | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.58 | 64.9 | 27.8 | 4.5 | 1.2 | 0.2 | 1.4 | 0.66 | | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.57 | 67.9 | 24.3 | 4.2 | 1.9 | 0.9 | 0.7 | 0.75 | | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.13 | 40.1 | 26.4 | 16.3 | 2.8 | 2.1 | 12.3 | 0.99 | | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.34 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.22 | | |
| | | | 8.3 | 5.7 | 19.6 | 30.4 | 25.2 | 10.8 | | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.45 | 55.2 | 26.4 | 7.5 | 2.6 | 0.2 | 8.0 | 0.78 | 区分 平均値 | 4.28 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.58 | 65.1 | 28.5 | 5.2 | 1.2 | 0.0 | 0.0 | 0.65 | | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.43 | 51.7 | 37.3 | 6.4 | 1.4 | 0.2 | 3.1 | 0.70 | 全体 平均値 | 4.23 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.52 | 62.5 | 28.5 | 6.1 | 1.9 | 0.2 | 0.7 | 0.72 | | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1～9の平均値

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

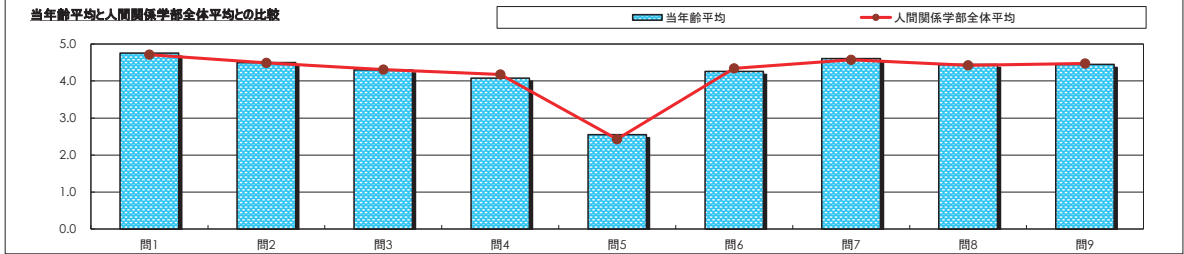


2025年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

大妻女子大学

| 年齢 | | 51～55歳 | | 受講者数 | | 1,313 | | | | | |
|----|---|--------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|------------------|------|
| | | | | 回答者数 | | 779 | | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | わからない/ 判断しづらい | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.75 | 75.5 | 20.3 | 0.9 | 0.6 | 0.0 | 2.7 | 0.49 | | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.49 | 62.9 | 26.4 | 5.3 | 3.1 | 0.9 | 1.4 | 0.81 | | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.30 | 62.5 | 17.8 | 5.3 | 6.7 | 4.9 | 2.8 | 1.16 | | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.07 | 40.7 | 25.8 | 13.6 | 6.0 | 2.8 | 11.0 | 1.08 | | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.55 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.09 | | |
| | | | 6.0 | 9.1 | 29.3 | 31.7 | 15.5 | 8.3 | | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.26 | 48.9 | 25.8 | 10.5 | 3.9 | 2.3 | 8.6 | 0.99 | 区分 平均値 | 4.23 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.60 | 67.5 | 27.0 | 3.3 | 0.9 | 0.8 | 0.5 | 0.87 | | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.45 | 54.2 | 33.8 | 6.2 | 1.4 | 0.6 | 3.9 | 0.74 | 全体 平均値 | 4.23 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.45 | 61.6 | 26.7 | 6.7 | 2.4 | 1.8 | 0.8 | 0.86 | | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1～9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

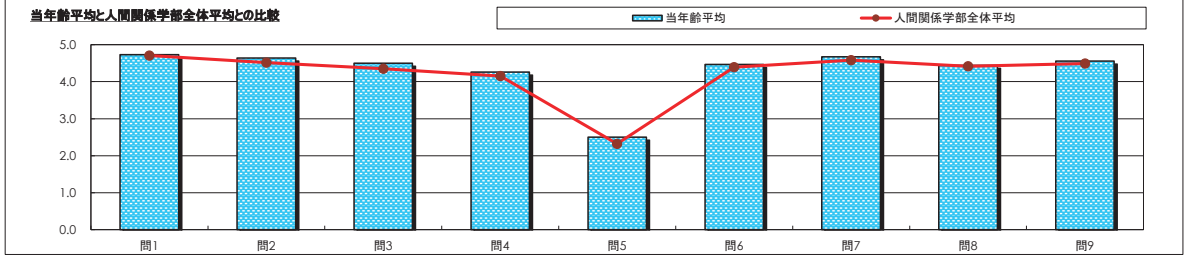


2025年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

大妻女子大学

| 年齢 | | 51～55歳 | | 受講者数 | | 986 | | | | | |
|----|---|--------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|------------------|------|
| | | | | 回答者数 | | 557 | | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | わからない/ 判断しづらい | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.73 | 77.9 | 16.3 | 2.2 | 1.1 | 0.7 | 1.8 | 0.63 | | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.64 | 70.6 | 24.1 | 2.5 | 0.9 | 1.1 | 0.9 | 0.68 | | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.50 | 68.8 | 19.2 | 4.7 | 1.8 | 3.8 | 1.8 | 0.96 | | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.26 | 48.3 | 27.1 | 13.5 | 2.9 | 1.6 | 6.6 | 0.94 | | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.50 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.12 | | |
| | | | 6.3 | 9.5 | 28.9 | 31.2 | 19.2 | 4.8 | | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.46 | 59.1 | 25.3 | 8.3 | 2.2 | 0.7 | 4.5 | 0.81 | 区分 平均値 | 4.31 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.67 | 72.4 | 23.0 | 2.9 | 0.9 | 0.4 | 0.5 | 0.61 | | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.44 | 55.1 | 32.9 | 7.4 | 1.4 | 0.5 | 2.7 | 0.74 | 全体 平均値 | 4.23 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.56 | 65.2 | 27.3 | 4.3 | 1.8 | 0.7 | 0.7 | 0.73 | | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1～9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



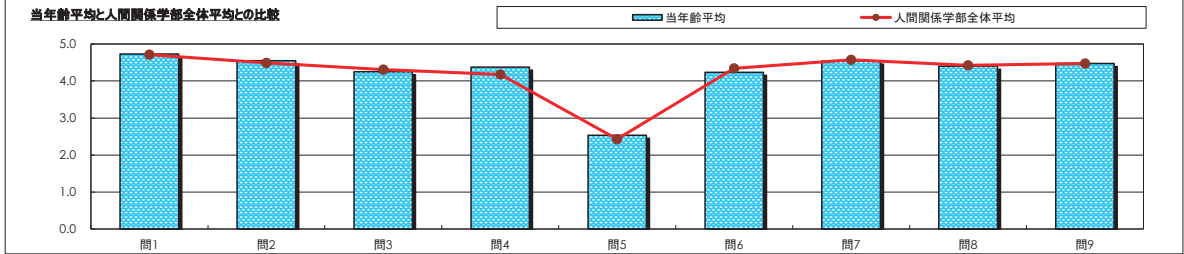
2025年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

大妻女子大学

| | | | |
|----|--------|------|-------|
| 年齢 | 56～60歳 | 受講者数 | 1,268 |
| | | 回答者数 | 769 |

| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | | 標準偏差 | | |
|----|---|------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|------------------|------|-----------|------|
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | わからない/ 判断しづらい | | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.73 | 74.5 | 19.8 | 1.4 | 0.4 | 0.7 | 3.3 | 0.58 | | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.55 | 64.4 | 27.2 | 3.9 | 2.2 | 0.8 | 1.6 | 0.75 | | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.25 | 57.3 | 20.3 | 7.4 | 4.6 | 5.6 | 4.8 | 1.16 | | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.38 | 54.5 | 27.6 | 10.0 | 1.8 | 1.6 | 4.6 | 0.87 | | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.54 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.16 | | |
| | | | 7.0 | 10.0 | 25.5 | 29.6 | 18.2 | 9.6 | | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.23 | 47.7 | 28.0 | 10.1 | 3.6 | 3.0 | 7.5 | 1.01 | 区分 平均値 | 4.25 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・もの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.54 | 64.2 | 27.0 | 4.2 | 2.2 | 0.8 | 1.6 | 0.75 | 全体 平均値 | 4.23 |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.40 | 50.6 | 36.2 | 7.4 | 1.3 | 0.8 | 3.8 | 0.76 | | |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.47 | 63.2 | 25.6 | 4.6 | 3.6 | 1.6 | 1.4 | 0.87 | | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1～9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



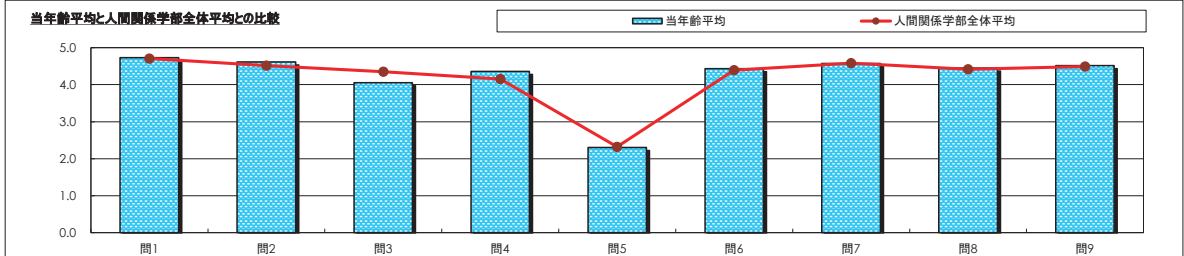
2025年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

大妻女子大学

| | | | |
|----|--------|------|-------|
| 年齢 | 56～60歳 | 受講者数 | 1,468 |
| | | 回答者数 | 763 |

| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | | 標準偏差 | | |
|----|---|------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|------------------|------|-----------|------|
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | わからない/ 判断しづらい | | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.73 | 73.8 | 17.3 | 3.0 | 0.7 | 0.0 | 5.2 | 0.55 | | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.61 | 72.1 | 19.4 | 5.2 | 1.3 | 1.2 | 0.8 | 0.75 | | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.06 | 54.5 | 15.6 | 6.7 | 5.4 | 10.6 | 7.2 | 1.39 | | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.36 | 55.2 | 25.3 | 10.1 | 3.5 | 1.2 | 4.7 | 0.90 | | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.30 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.12 | | |
| | | | 4.8 | 8.1 | 21.9 | 31.5 | 24.9 | 8.8 | | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.43 | 57.0 | 24.9 | 7.3 | 2.6 | 1.3 | 6.8 | 0.86 | 区分 平均値 | 4.24 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・もの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.57 | 67.5 | 24.6 | 5.0 | 2.1 | 0.4 | 0.4 | 0.72 | 全体 平均値 | 4.23 |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.45 | 55.3 | 31.3 | 7.7 | 1.4 | 0.5 | 3.7 | 0.75 | | |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.52 | 67.1 | 21.9 | 5.2 | 3.4 | 1.3 | 1.0 | 0.85 | | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1～9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

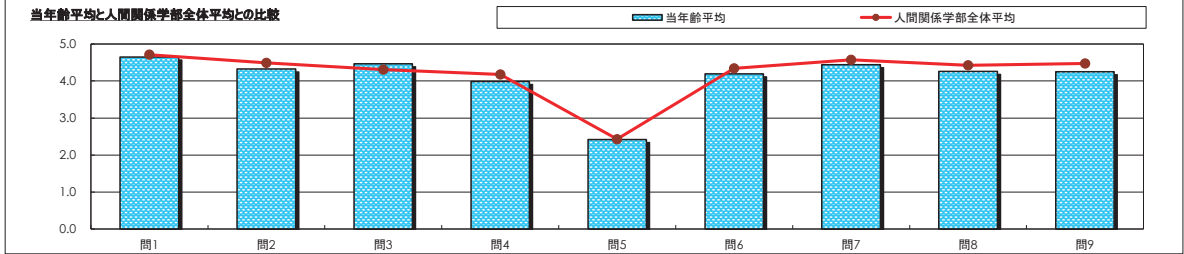


2025年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

大妻女子大学

| 年齢 | | 61～65歳 | | 受講者数 | | 907 | | | | | |
|----|---|--------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|------------------|------|
| | | | | 回答者数 | | 588 | | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | わからない/ 判断しづらい | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.65 | 70.1 | 21.4 | 3.2 | 1.0 | 0.7 | 3.6 | 0.67 | | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.33 | 54.4 | 30.3 | 8.0 | 4.9 | 1.4 | 1.0 | 0.92 | | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.46 | 64.3 | 21.9 | 6.6 | 3.1 | 2.0 | 2.0 | 0.91 | | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 3.99 | 37.8 | 25.3 | 15.6 | 5.3 | 4.3 | 11.7 | 1.13 | | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.42 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.01 | | |
| | | | 3.2 | 8.7 | 28.4 | 34.7 | 17.2 | 7.8 | | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.19 | 44.4 | 26.9 | 12.6 | 4.1 | 2.0 | 10.0 | 0.99 | 区分 平均値 | 4.12 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.44 | 59.9 | 28.4 | 6.5 | 3.1 | 1.2 | 1.0 | 0.84 | | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.26 | 45.9 | 33.3 | 11.1 | 3.7 | 0.9 | 5.1 | 0.88 | 全体 平均値 | 4.23 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.25 | 52.0 | 30.1 | 10.0 | 5.1 | 2.2 | 0.5 | 0.98 | | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1～9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

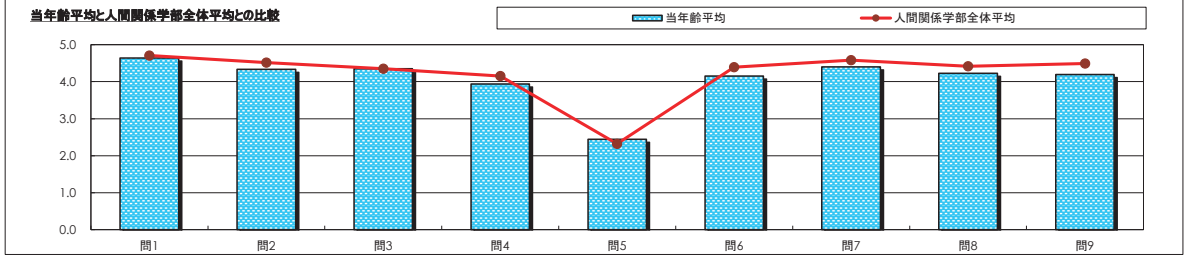


2025年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

大妻女子大学

| 年齢 | | 61～65歳 | | 受講者数 | | 866 | | | | | |
|----|---|--------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|------------------|------|
| | | | | 回答者数 | | 473 | | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | わからない/ 判断しづらい | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.64 | 67.2 | 24.9 | 2.7 | 0.6 | 0.6 | 3.8 | 0.64 | | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.33 | 52.4 | 33.4 | 7.0 | 3.0 | 2.3 | 1.9 | 0.91 | | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.35 | 59.2 | 24.3 | 6.8 | 3.0 | 4.2 | 2.5 | 1.03 | | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 3.93 | 34.9 | 27.7 | 16.3 | 5.9 | 4.2 | 11.0 | 1.13 | | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.44 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.02 | | |
| | | | 3.8 | 8.0 | 29.0 | 33.0 | 16.7 | 9.5 | | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.15 | 38.7 | 34.7 | 12.7 | 2.3 | 2.5 | 9.1 | 0.95 | 区分 平均値 | 4.09 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.40 | 53.9 | 35.3 | 6.3 | 2.1 | 1.3 | 1.1 | 0.81 | | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.23 | 37.8 | 43.1 | 9.9 | 1.5 | 1.3 | 6.3 | 0.80 | 全体 平均値 | 4.23 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.19 | 45.0 | 36.6 | 10.1 | 4.2 | 2.5 | 1.5 | 0.96 | | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1～9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

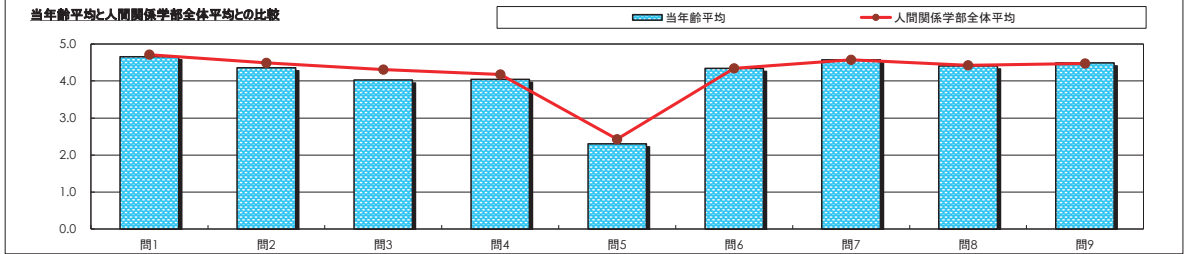


2025年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

大妻女子大学

| 年齢 | | 66歳以上 | | 受講者数 | | 1,488 | | | | | |
|----|---|-------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|------------------|------|
| | | | | 回答者数 | | 852 | | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | わからない/ 判断しづらい | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.66 | 70.8 | 20.9 | 3.2 | 1.2 | 0.6 | 3.4 | 0.66 | | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.36 | 55.9 | 27.2 | 9.0 | 3.4 | 1.8 | 2.7 | 0.92 | | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.02 | 49.1 | 22.4 | 8.7 | 8.1 | 7.3 | 4.5 | 1.28 | | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.04 | 41.3 | 24.5 | 14.0 | 7.3 | 2.9 | 10.0 | 1.11 | | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.30 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.12 | | |
| | | | 4.7 | 7.0 | 20.4 | 29.7 | 22.9 | 15.3 | | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.35 | 50.0 | 28.1 | 8.1 | 3.2 | 1.4 | 9.3 | 0.90 | 区分 平均値 | 4.16 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.57 | 66.4 | 27.2 | 3.5 | 2.0 | 0.6 | 0.2 | 0.71 | | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.40 | 52.8 | 31.3 | 8.8 | 2.0 | 0.5 | 4.6 | 0.78 | 全体 平均値 | 4.23 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.49 | 62.4 | 27.5 | 6.8 | 1.5 | 1.2 | 0.6 | 0.79 | | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

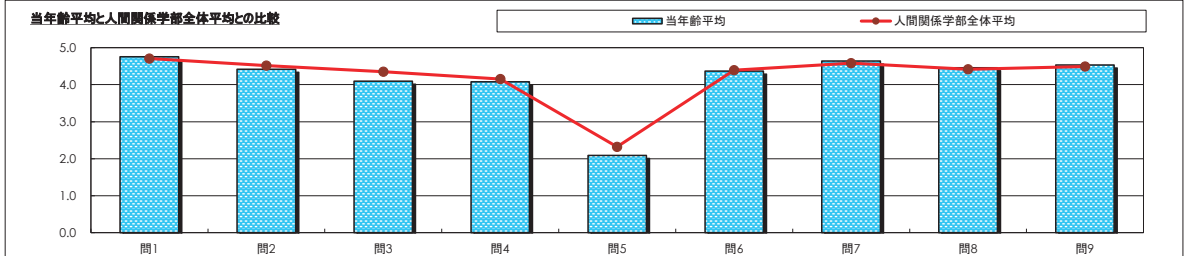


2025年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

大妻女子大学

| 年齢 | | 66歳以上 | | 受講者数 | | 1,229 | | | | | |
|----|---|-------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|-------|------|------------------|------|
| | | | | 回答者数 | | 614 | | | | | |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | 標準偏差 | | | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | | | わからない/ 判断しづらい | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.75 | 75.9 | 19.2 | 2.0 | 0.3 | 0.0 | 2.6 | 0.50 | | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.41 | 58.6 | 24.6 | 8.6 | 3.4 | 1.1 | 3.6 | 0.88 | | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.10 | 50.3 | 22.5 | 8.5 | 7.0 | 6.2 | 5.5 | 1.23 | | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.08 | 40.2 | 23.8 | 16.4 | 4.9 | 2.4 | 12.2 | 1.06 | | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.08 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.03 | | |
| | | | 2.8 | 4.4 | 18.1 | 30.0 | 28.2 | 16.6 | | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.37 | 51.1 | 28.2 | 10.7 | 2.1 | 0.7 | 7.2 | 0.83 | 区分 平均値 | 4.19 |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.64 | 69.9 | 25.1 | 3.7 | 1.1 | 0.0 | 0.2 | 0.61 | | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.46 | 53.6 | 35.0 | 7.3 | 0.8 | 0.2 | 3.1 | 0.69 | 全体 平均値 | 4.23 |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.54 | 63.4 | 28.8 | 5.2 | 1.5 | 0.7 | 0.5 | 0.72 | | |

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値
 ※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



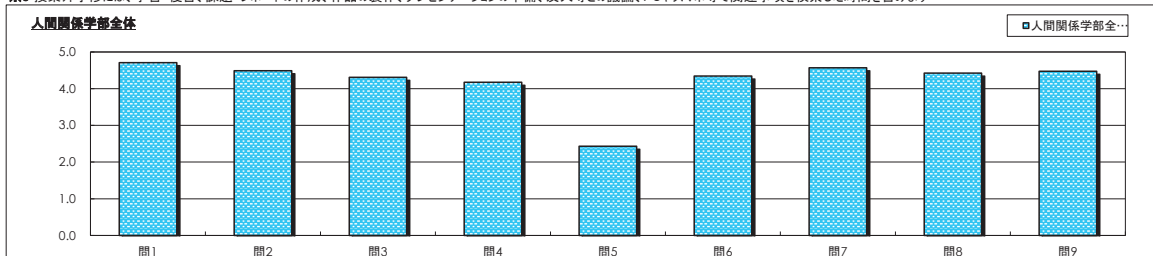
2025年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(全体)

大妻女子大学

| 集計 | | 人間関係学部全体 | | | | | | | 受講者数 | 8,263 |
|----|---|----------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|------------------|-----------|-------|
| | | | | | | | | | 回答者数 | 4,779 |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | | 標準偏差 | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | わからない/ 判断しづらい | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.71 | 73.4 | 20.7 | 2.0 | 0.6 | 0.4 | 2.8 | 0.58 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.49 | 62.1 | 27.1 | 5.8 | 2.5 | 1.0 | 1.5 | 0.80 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.31 | 59.6 | 20.8 | 6.7 | 4.7 | 4.6 | 3.6 | 1.10 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.17 | 44.6 | 27.4 | 12.5 | 4.8 | 2.2 | 8.5 | 1.01 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.43 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.11 | |
| | | | 5.3 | 8.5 | 24.8 | 31.7 | 19.3 | 10.4 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.35 | 51.9 | 27.5 | 8.8 | 2.9 | 1.7 | 7.2 | 0.91 | |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・もの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.57 | 65.9 | 27.5 | 3.7 | 1.7 | 0.7 | 0.6 | 0.71 | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.43 | 52.7 | 34.1 | 6.9 | 1.6 | 0.5 | 4.1 | 0.75 | |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.48 | 62.3 | 27.3 | 5.7 | 2.5 | 1.4 | 0.8 | 0.83 | |
| | | | | | | | | | 全体 平均値 | 4.23 |

※1 選択肢0:わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



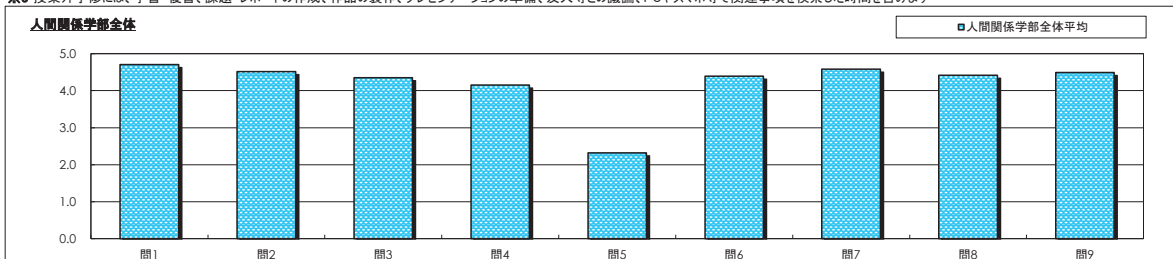
2025年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(全体)

大妻女子大学

| 集計 | | 人間関係学部全体 | | | | | | | 受講者数 | 7,464 |
|----|---|----------|--------|----------------|----------------|----------------|--------|------------------|-----------|-------|
| | | | | | | | | | 回答者数 | 3,720 |
| 問. | 設問文 | 平均値 | 回答率(%) | | | | | | 標準偏差 | |
| | | | そう思う | やや そう思う | どちらとも いえない | あまり そう思わない | そう思わない | わからない/ 判断しづらい | | |
| 1 | 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1 | 4.71 | 73.5 | 20.1 | 2.2 | 0.7 | 0.5 | 3.0 | 0.59 | |
| 2 | 教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クイズ、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。 | 4.52 | 63.9 | 25.2 | 5.7 | 1.9 | 1.2 | 2.0 | 0.79 | |
| 3 | 授業においてmanabaは活用されましたか。 | 4.35 | 61.3 | 20.9 | 5.7 | 3.7 | 4.8 | 3.5 | 1.08 | |
| 4 | 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 | 4.16 | 43.6 | 25.4 | 14.6 | 4.1 | 2.3 | 10.1 | 1.02 | |
| 5 | この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3 | 2.32 | 3時間以上 | 2時間以上 3時間未満 | 1時間以上 2時間未満 | 30分以上 1時間未満 | 30分未満 | していない | 1.09 | |
| | | | 4.8 | 6.9 | 23.7 | 32.1 | 22.8 | 9.8 | | |
| 6 | 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。 | 4.39 | 52.8 | 27.3 | 8.8 | 2.4 | 1.1 | 7.6 | 0.85 | |
| 7 | この授業によって、新しい知識・技能・もの見方や考え方を習得できましたか。 | 4.58 | 66.2 | 27.1 | 4.3 | 1.3 | 0.4 | 0.6 | 0.68 | |
| 8 | この授業の到達目標を達成しましたか。 | 4.42 | 51.5 | 35.6 | 7.6 | 1.2 | 0.5 | 3.7 | 0.73 | |
| 9 | あなたは授業に満足しましたか。 | 4.49 | 62.5 | 27.3 | 5.8 | 2.3 | 1.2 | 0.9 | 0.80 | |
| | | | | | | | | | 全体 平均値 | 4.23 |

※1 選択肢0:わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった ※問1~9の平均値

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



| 大妻女子大学 人間関係学部 教職員 ◆:FD委員 | | |
|--|---|--|
| 人間関係学科 | | 人間福祉学科 |
| 社会学専攻 | 社会・臨床心理学専攻 | |
| 伊藤 美登里 牛山 美穂 ◆ 久保田 滋 小谷 敏 齊藤 豊 ◆[学部長] 田中 俊之 干川 剛史 牧野 智和 | 春日 文 香月 菜々子 田中 優 福島 哲夫 ◆[学科長] 古田 雅明 堀 洋元 本田 周二 三好 真 ◆[委員長] 八城 薫 | 井上 修一 上野 優子 ◆[学科長] 小川 浩 尾久 裕紀 金 美辰 藏野 ともみ 嶋貴 真人 丹野 真紀子 原野 かおり ◆ 飛田 和樹 山本 真知子 |
| 共同研究室 | | |
| 大豆生田 知美 鈴木 暁子 | 小野 聡士 千田 紗織 山崎 有望 | 飛鳥 千鶴子 大坪 千夏 蘇 暁娜 古市 孝義 |
| スポーツ教育研究室:山崎 なる美 人間関係学部長室:井上 純子 | | |

令和7(2025)年度 人間関係学部FD報告書

令和8(2026)年5月発行

発行 大妻女子大学 人間関係学部
206-8540 東京都多摩市唐木田2-7-1

著作・編集 大妻女子大学 人間関係学部 FD委員会
ningenfd@ml.otsuma.ac.jp

印刷・製本 株式会社 相模プリント
252-0114 神奈川県相模原市緑区東橋本1-14-17

